

**令和6年度  
那須町の福祉に関するアンケート調査  
【結果報告書】**

**令和7年3月  
那須町**



# 目次

I	調査結果の総括	3
	1. 福祉に関する認知度調査について	3
	2. 福祉に関する住民意識調査について	3
	3. 福祉サービス利用者の意識調査について	4
	4. 障がい者の意識調査について	4
	5. 中学生の意識調査について	4
	6. ボランティアの意識調査について	5
	7. 子育て中の方の意識調査について	5
	8. 民生委員・児童委員の意識調査について	5
	9. シニアクラブの意識調査について	5
II	調査の概要	9
III	調査結果 福祉に関する認知度調査	13
IV	調査結果 福祉に関する住民意識調査	21
V	調査結果 福祉サービス利用者の意識調査	81
VI	調査結果 障がい者の意識調査	87
VII	調査結果 中学生の意識調査	93
VIII	調査結果 ボランティアの意識調査	97
IX	調査結果 子育て中の方の意識調査	101
X	調査結果 民生委員・児童委員の意識調査	107
XI	調査結果 シニアクラブの意識調査	113
XII	資料編（使用した調査票）	117



## I 調査結果の総括



# I 調査結果の総括

---

## 1. 福祉に関する認知度調査について

---

本調査では、那須町における福祉計画、制度、施設、サービスの認知度を測定し、地域福祉計画の改善や策定の参考とすることを目的としています。調査の結果、那須町地域福祉計画や小地域福祉活動計画について、多くの住民が十分に認知していない状況が明らかになりました。具体的には、地域福祉計画について「よく知っている」と回答した人は7.9%、小地域福祉活動計画については5.7%にとどまりました。「聞いたことはあるが詳しく知らない」との回答も少なく、計画自体の周知が不十分であることが分かります。一方、特定の施設や施策の認知度は徐々に向上している様子が見受けられました。地域包括支援センターについては「よく知っている」という回答が20.4%に増加し、前回調査より5.5ポイントの向上が見られました。子育て支援センターも同様に10.7ポイント増加して23.2%となりました。しかし、那須町ボランティアセンターやフードドライブBOX、ミニフードバンク事業といった新しい取り組みは依然として認知度が低く、さらなる広報活動が必要です。特に「成年後見制度」や「市民後見人」などの福祉に関連する制度についての認知度は、成年後見制度が25.7%、市民後見人が6.8%にとどまり、情報共有や啓発活動が今後の課題となります。

これらの結果を踏まえ、福祉資源やサービスの情報発信を強化し、住民が関与しやすい仕組みづくりを進める必要があります。特に地域福祉計画や小地域福祉活動計画については、住民がその重要性を理解できるよう、分かりやすく親しみやすい形での情報提供が不可欠です。

## 2. 福祉に関する住民意識調査について

---

本調査では、住民の福祉に対する関心度や課題意識、地域活動に対する姿勢を包括的に把握することを目的としています。調査の結果、住民の70.3%が福祉に「とても関心がある」または「関心がある」と回答し、前回調査より4.2ポイントの増加が見られました。特に70歳代(78.0%)や60歳代(72.9%)など高齢者層の関心が高く、40歳代や50歳代でも71.4%と幅広い年齢層で関心が高いことが分かりました。

住民が挙げた「福祉」に関連するキーワードは、「高齢者」が83.4%、「障がい者」が74.5%、「生活困窮」が33.4%であり、経年比較で「高齢者」への認識が21.9ポイント、「障がい者」への認識が30.3ポイント、「生活困窮」への認識が22.4ポイント増加しており、福祉の多様な側面に対する住民の視点が広がっていることが確認されました。

福祉に関する考え方として、「自己の努力や公の制度だけでなく、住民が協力して支えあうことが重要」と回答した人は61.7%、一方で「すべて国や地方自治体の責任で行うこと」と答えた人は24.5%でした。これらの結果は、住民が福祉の担い手として自ら積極的な役割を果たすべきだと考えている意識が広く浸透していることを示しています。

また、地域の課題について住民が挙げた意見では、「災害時支援・防災対策」が最も多く、次いで「高齢者・障がい者等の見守り・支援」や「地域交流・情報提供」が重要とされています。

地域活動への参加意欲については、「現在は参加していないが今後参加したい」と回答した住民が49.0%を占め、前向きな姿勢が確認されました。一方で、「地域活動には参加したくない」とする意見も18.3%見られました。

これらを踏まえ、那須町の福祉計画においては住民の主体的な参加を促し、防災対策や高齢者支援などの明確な課題解決に向け、実効性のある具体的な施策を構築することが求められます。

生活の中で困ったことについての相談先は、孤立感が増すにつれて「相談するところがない」「相談するところがない」という回答が増加する傾向が見られました。また、今後、財産管理や契約等が難しくなる心配や不安についても、孤立感が増すにつれて、不安が「ある」と回答した人が増加する傾向が見られました。さらに、災害時の避難場所についても、孤立感が増すにつれて、避難場所を「知らない」と回答した人の割合が増加する傾向が見られました。したがって、孤立感を感じている人が安心して相談できる場や必要な情報提供を受けられる場を提供し、その存在を周知していくことが必要です。

### 3. 福祉サービス利用者の意識調査について

---

本調査では、福祉サービスを利用している住民が日常的に直面している課題やその解決策、福祉サービスへの期待について調査を行いました。調査の結果、利用者の多くは「体力の衰え」や「災害時の避難」に不安を感じており、一方で「特に困っていない」との回答も一定数見られました。困っていること、不便に感じることを解決するために最も多く寄せられた要望は、「施設・介護サービスの充実」や「医療費・介護費用等の経済的支援」の強化でした。

また、利用者の孤立感については、「全くない」または「ほとんどない」との回答が66.7%を占めたものの、一部に孤立感を抱える人もおり、そのための見守りやサポートが今後の課題として挙げられています。

### 4. 障がい者の意識調査について

---

障がい者やその家族に対する意識調査では、困っていること、不便に感じていることとして「将来に対する不安」を最大の課題として挙げるとともに、「移動手段」や「介護者の高齢化」も懸念事項として示されています。これらの問題解決に向け、具体的な施策が必要であることが分かりました。

提案された支援として、「交通手段の充実」や「雇用の充実」、「サービスの充実・切れ目のない支援」などが挙げられ、これらが障がい者の生活環境改善において重要であるとされています。

さらに、町内で障がい者が暮らしやすい環境を整えるため、「障がい福祉サービスの充実」や「障がいに対する町民の理解促進」が求められています。

### 5. 中学生の意識調査について

---

地域の次世代を担う中学生を対象に、地域活動や家庭での生活、福祉に対する意識を把握するために調査を行いました。多くの回答者が地域の行事に興味を持ち、「地域のお祭り」や「ゴミ拾い・清掃活動」に参加したいと感じていますが、「何をしたらいいかわからない」という意見もあり、積極的に地域活動に関わるためのきっかけ作りが求められます。

また、家庭内での家事や兄弟等の世話が学業や自分の時間に影響を与えているとの回答もあり、家庭内での役割分担や支援が課題となっています。

## 6. ボランティアの意識調査について

---

ボランティア活動に対する住民の意識調査では、「情報不足」や「交流機会の不足」がボランティア活動をするにあたり課題となっていることが分かりました。また、課題を解決するためには活動内容や参加者間の交流に関する情報提供が重要であり、広報活動の強化やボランティア活動を支援する資金面でのサポートが求められています。

那須町ボランティアセンターに対しては、「ボランティア活動者の交流会」の開催や「町内ボランティア情報の周知」「活動先の紹介」など、具体的な取組を期待する声が多く挙がっています。

## 7. 子育て中の方の意識調査について

---

子育て家庭に焦点を当てた調査では、子どもの遊び場が不足しているとの回答が最も多く、次いで預かり体制が整備されていないという指摘も見られました。これらは、子育て世代が抱える日常的な困難を示しています。町の暮らしやすさを向上させるために、遊び場の整備や子どもの預かり体制の充実、公共交通機関の充実が重要であるという意見が寄せられています。

また、回答者の大部分は孤立感を感じていないとしています。一部には孤立感を抱える保護者もおり、地域コミュニティでの交流を促進する施策が必要です。

## 8. 民生委員・児童委員の意識調査について

---

民生委員や児童委員を対象にした調査では、活動の中で寄せられる相談として「健康・病気」が最も多く、次いで「道路や公共交通」、「経済状況」となっています。民生委員・児童委員の活動は訪問や連絡を通じて支援を行うことが重要な役割を果たしていますが、活動には負担も多く、行政からの支援体制の強化や自治会等との協力・連携が改善点として挙げられています。

## 9. シニアクラブの意識調査について

---

シニアクラブに参加する高齢者を対象とした調査では、助け合い活動が必要だと感じている人が86.7%と高い割合を占めており、交流の場で相談できることや生活支援が必要な高齢者がいるという意見が多く寄せられています。

また、地域の方が安心して暮らし続けていくためには、シニアクラブの活動として「居場所づくりの運営」が求められています。



## Ⅱ 調査の概要



## II 調査の概要

### 1. 調査の目的

那須町では令和8年度から令和12年度までを計画期間とする「第5期那須町地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定に向けて、福祉について町民の皆様の認知度およびご意見を把握し、計画策定の基礎資料とするためアンケート調査を実施しました。

### 2. 調査対象

町内在住で下記の条件に該当する方を対象に実施しました。

調査区分	調査対象者
福祉に関する認知度調査	20歳～74歳の方より無作為抽出
福祉に関する住民意識調査	20歳～74歳の方より無作為抽出
福祉サービス利用者の意識調査	福祉サービスの利用者またはその家族
障がい者の意識調査	障がい者またはその家族
中学生の意識調査	中学3年生
ボランティアの意識調査	ボランティアに参加している方
子育て中の方の意識調査	3歳児および6歳児の保護者
民生委員・児童委員の意識調査	民生委員・児童委員
シニアクラブの意識調査	シニアクラブに参加している方

### 3. 実施方法

- 調査地域：那須町全域
- 調査形式：アンケート調査
- 調査方法：直接配付・直接回収、郵送配付・郵送回収、WEB回答
- 調査期間：令和6年9月24日～令和6年10月18日

## 4. 回収結果

調査区分	配布数	回収数	回収率
福祉に関する認知度調査	1,000 件	280 件	28.0%
福祉に関する住民意識調査	1,000 件	290 件	29.0%
福祉サービス利用者の意識調査	80 件	75 件	93.8%
障がい者の意識調査	80 件	49 件	61.3%
中学生の意識調査	149 件	87 件	58.4%
ボランティアの意識調査	40 件	26 件	65.0%
子育て中の方の意識調査	176 件	92 件	52.3%
民生委員・児童委員の意識調査	51 件	42 件	82.4%
シニアクラブの意識調査	36 件	15 件	41.7%

## 5. 報告書を見る際の留意点

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、比率が0.05未満の場合には0.0と表記しています。また、合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表しています。
- クロス集計については、属性情報を得られなかった回答があったため、全体の回答数と属性別の回答数の合計が一致しません。

### Ⅲ 調査結果 福祉に関する認知度調査

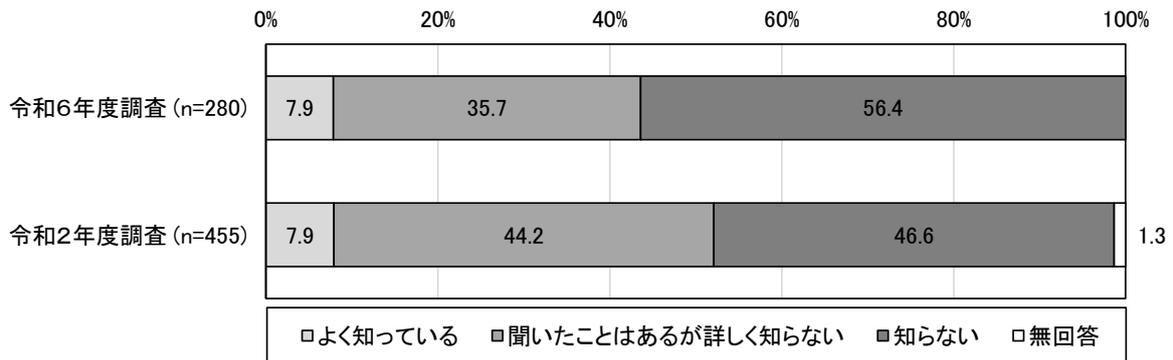


### Ⅲ 調査結果 福祉に関する認知度調査

問1 那須町地域福祉計画・地域福祉活動計画を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

那須町地域福祉計画・地域福祉活動計画の認知度については、「よく知っている」が7.9%、「聞いたことはあるが詳しく知らない」が35.7%、「知らない」が56.4%となっています。

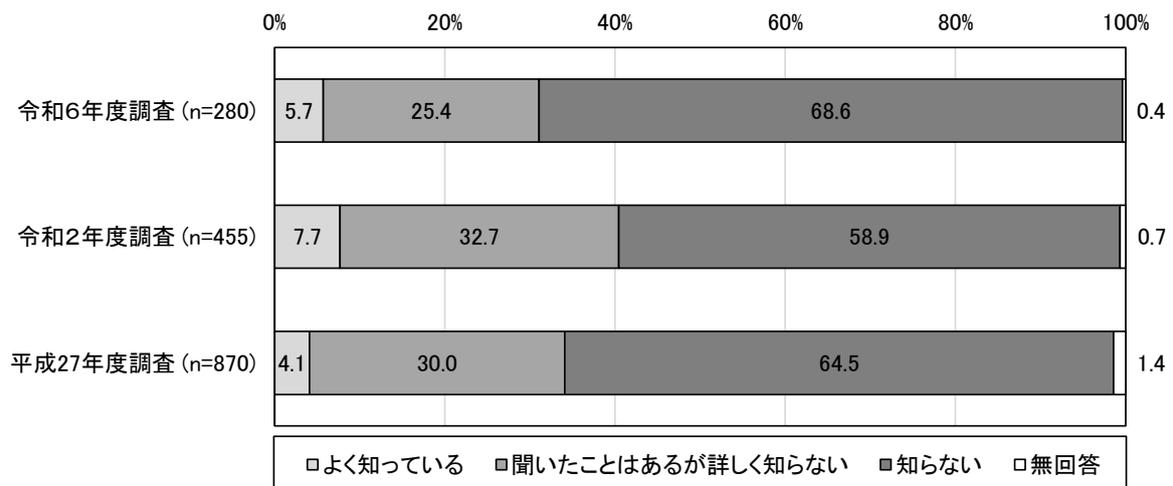
経年比較では、前回調査と比較して「よく知っている」は増減なしとなっています。



問2 小地域福祉活動計画を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

小地域福祉活動計画の認知度については、「よく知っている」が5.7%、「聞いたことはあるが詳しく知らない」が25.4%、「知らない」が68.6%となっています。

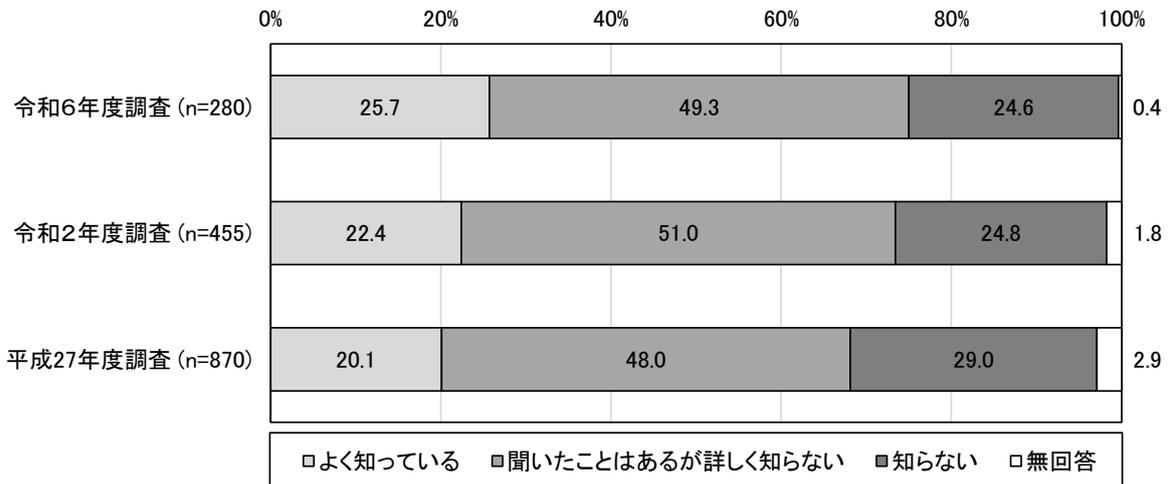
経年比較では、前回調査と比較して「よく知っている」が2.0ポイント減少しています。



**問3 那須町社会福祉協議会を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。**

那須町社会福祉協議会の認知度については、「よく知っている」が25.7%、「聞いたことはあるが詳しく知らない」が49.3%、「知らない」が24.6%となっています。

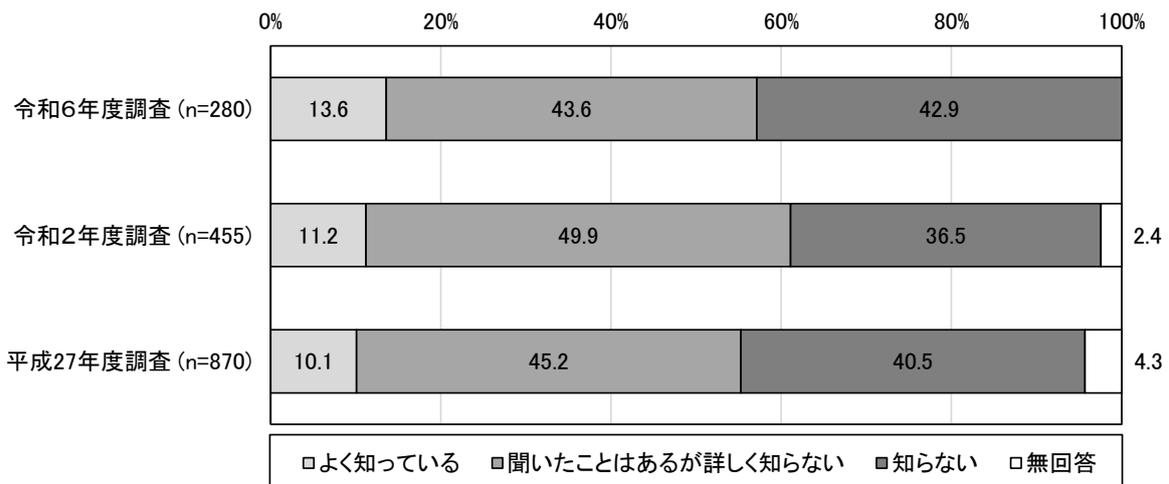
経年比較では、前回調査と比較して「よく知っている」が3.3ポイント増加しています。



**問4 那須町ボランティアセンターを知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。**

那須町ボランティアセンターの認知度については、「よく知っている」が13.6%、「聞いたことはあるが詳しく知らない」が43.6%、「知らない」が42.9%となっています。

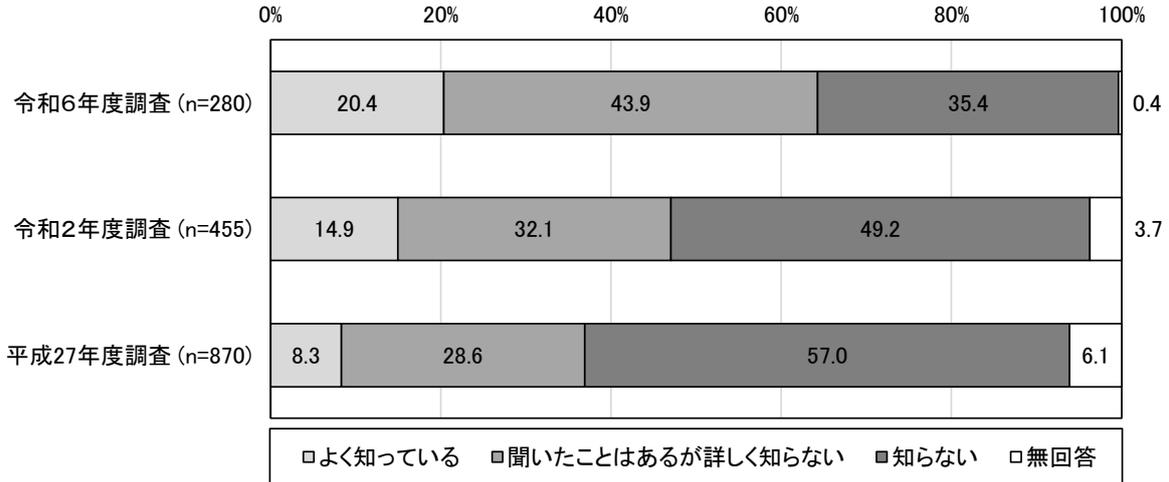
経年比較では、前回調査と比較して「よく知っている」が2.4ポイント増加しています。



**問5 那須町の地域包括支援センターを知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。**

那須町の地域包括支援センターの認知度については、「よく知っている」が20.4%、「聞いたことはあるが詳しく知らない」が43.9%、「知らない」が35.4%となっています。

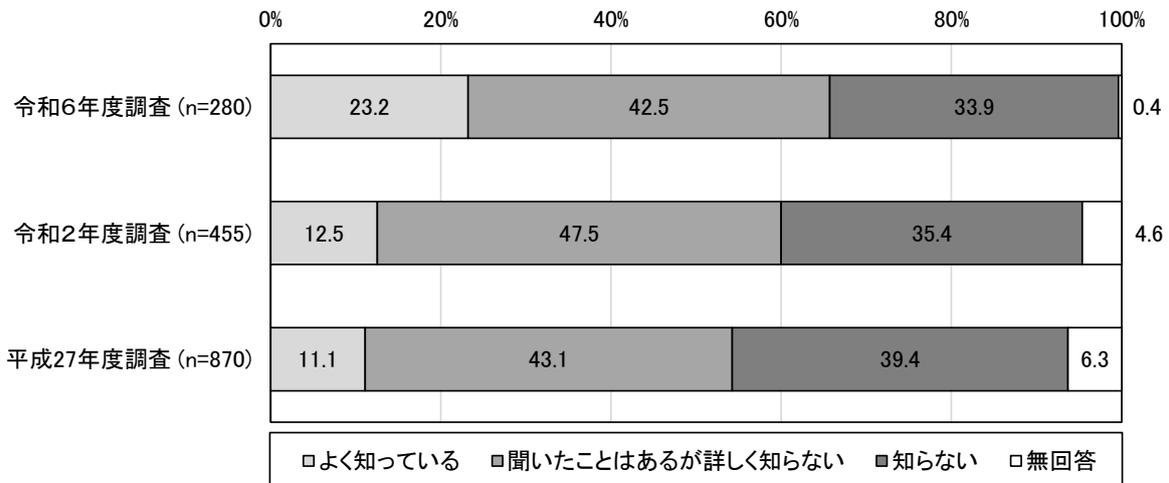
経年比較では、前回調査と比較して「よく知っている」が5.5ポイント増加しています。



**問6 那須町子育て支援センターを知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。**

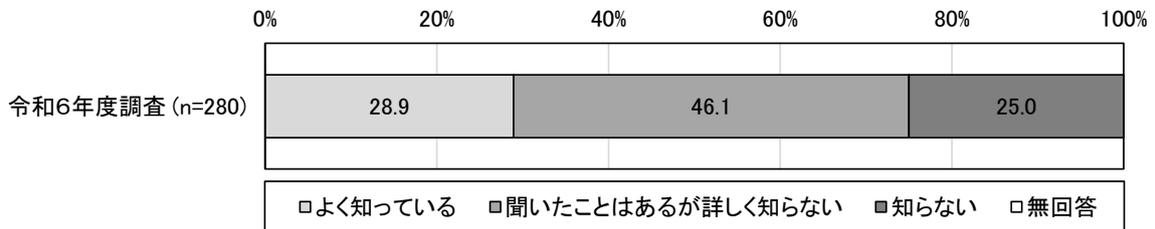
那須町子育て支援センターの認知度については、「よく知っている」が23.2%、「聞いたことはあるが詳しく知らない」が42.5%、「知らない」が33.9%となっています。

経年比較では、前回調査と比較して「よく知っている」が10.7ポイント増加しています。



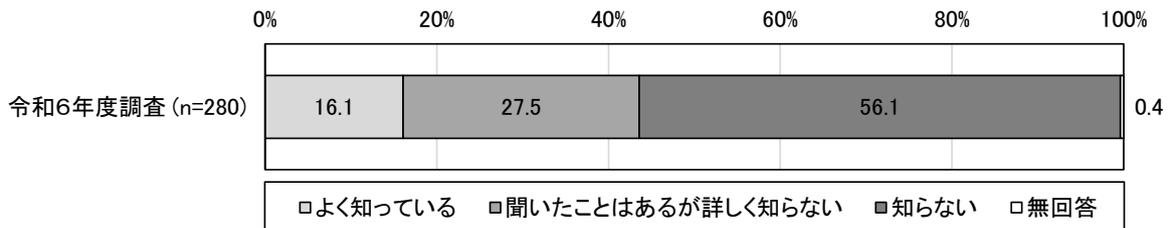
**問7 民生委員・児童委員を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。**

民生委員・児童委員の認知度については、「よく知っている」が28.9%、「聞いたことはあるが詳しく知らない」が46.1%、「知らない」が25.0%となっています。



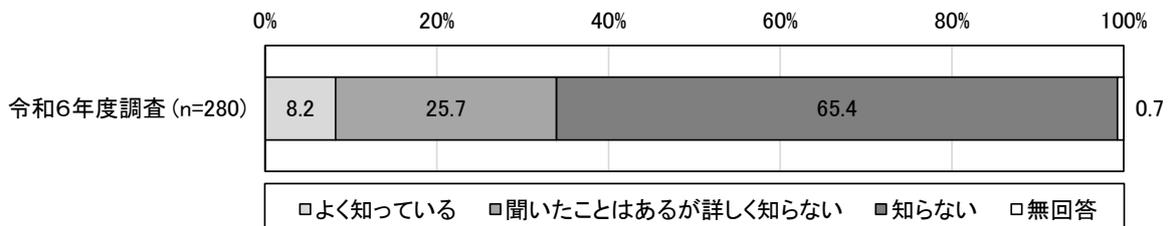
**問8 フードドライブBOXを知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。**

フードドライブBOXの認知度については、「よく知っている」が16.1%、「聞いたことはあるが詳しく知らない」が27.5%、「知らない」が56.1%となっています。



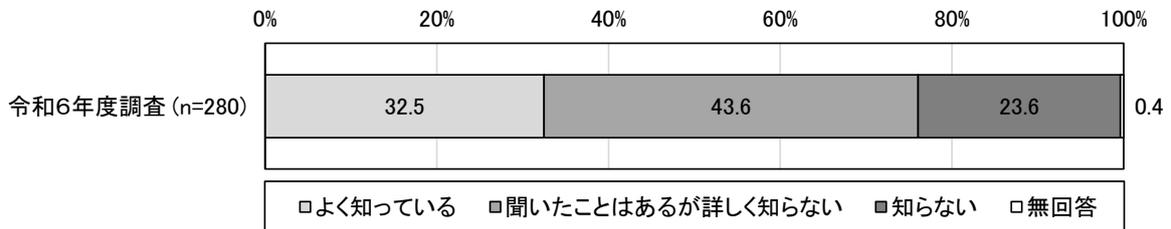
**問9 ミニフードバンク事業を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。**

ミニフードバンク事業の認知度については、「よく知っている」が8.2%、「聞いたことはあるが詳しく知らない」が25.7%、「知らない」が65.4%となっています。



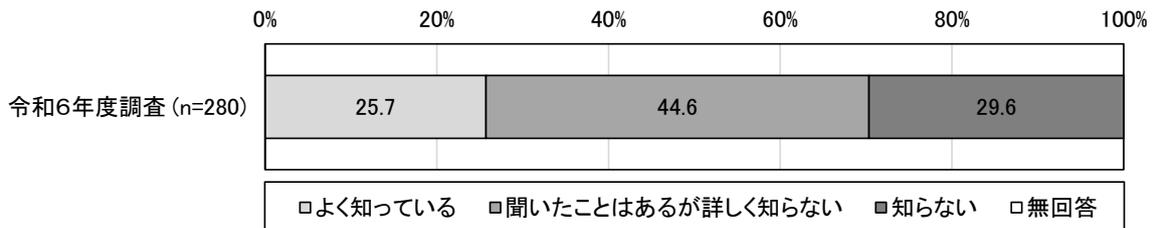
**問 10 ケアラーという言葉を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。**

ケアラーという言葉の認知度については、「よく知っている」が32.5%、「聞いたことはあるが詳しく知らない」が43.6%、「知らない」が23.6%となっています。



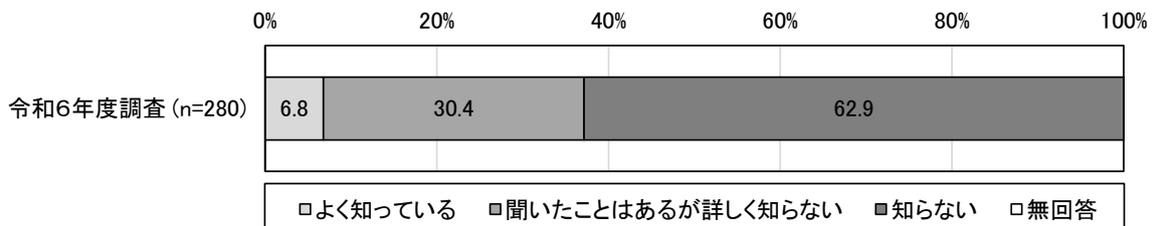
**問 11 成年後見制度を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。**

成年後見制度の認知度については、「よく知っている」が25.7%、「聞いたことはあるが詳しく知らない」が44.6%、「知らない」が29.6%となっています。



**問 12 市民後見人という言葉を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。**

市民後見人という言葉の認知度については、「よく知っている」が6.8%、「聞いたことはあるが詳しく知らない」が30.4%、「知らない」が62.9%となっています。





## IV 調査結果 福祉に関する住民意識調査



## IV 調査結果 福祉に関する住民意識調査

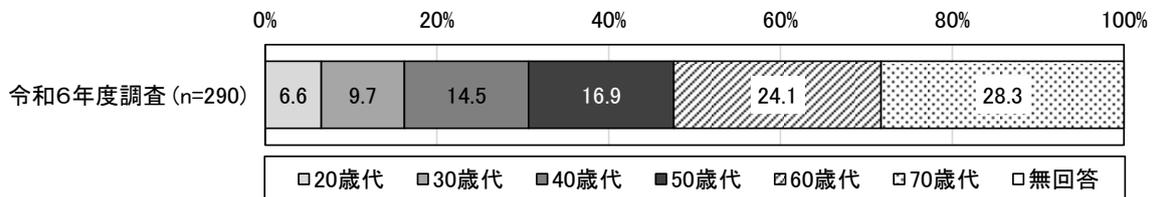
### 1. 回答者について

問1 あなたの年齢について、あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

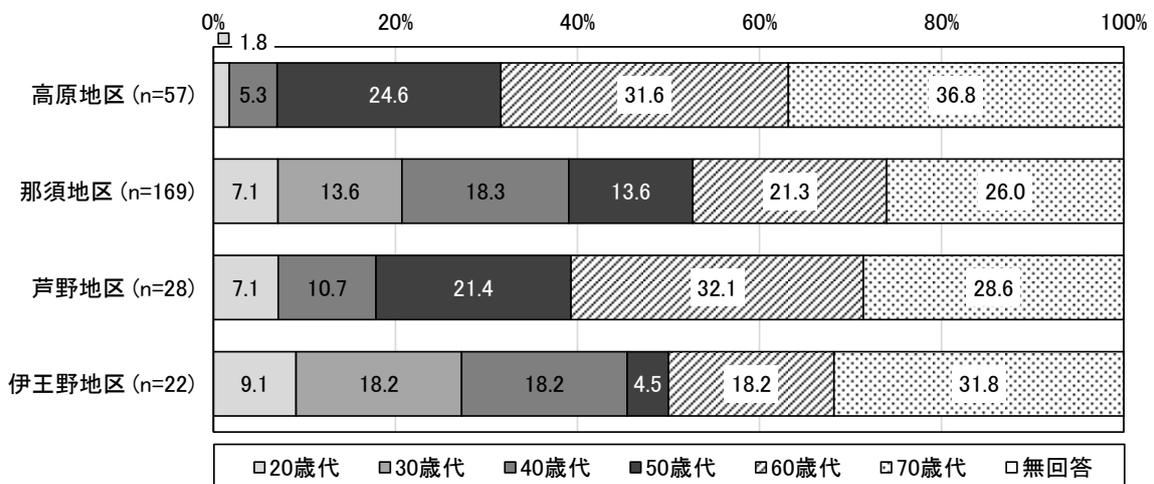
年齢については、「70歳代」が28.3%で最も高く、次いで「60歳代」が24.1%、「50歳代」が16.9%となっています。

地区別では、「70歳代」が高原地区は36.8%、那須地区は26.0%、伊王野地区は31.8%で最も高く、「60歳代」が芦野地区は32.1%で最も高くなっています。

【全体】



【地区別】

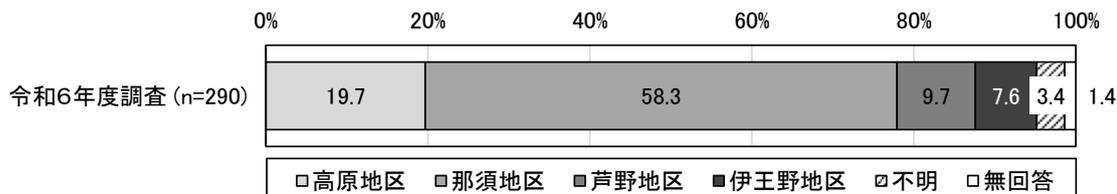


問2 あなたのお住まいの地区について、あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

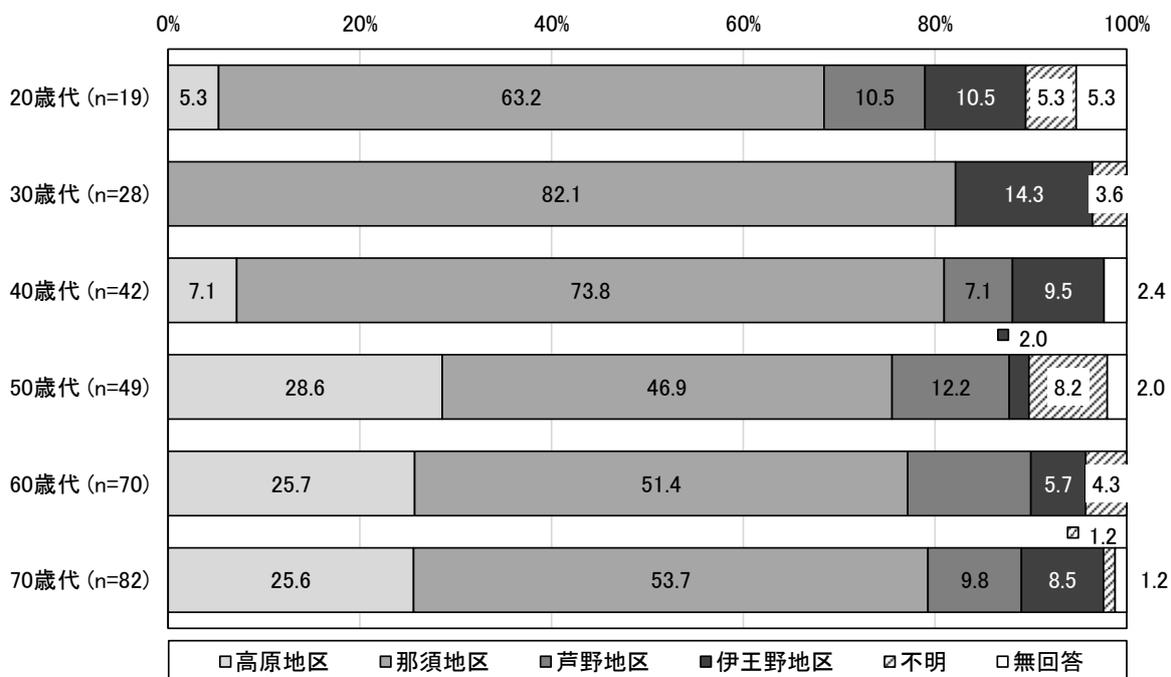
居住地区については、「那須地区」が58.3%で最も高く、次いで「高原地区」が19.7%、「芦野地区」が9.7%、「伊王野地区」が7.6%となっています。

年齢別では、「那須地区」がすべての年齢で最も高くなっています。

【全体】



【年齢別】



## 2. 福祉に関することがらについて

問3 あなたは「福祉」に関心がありますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

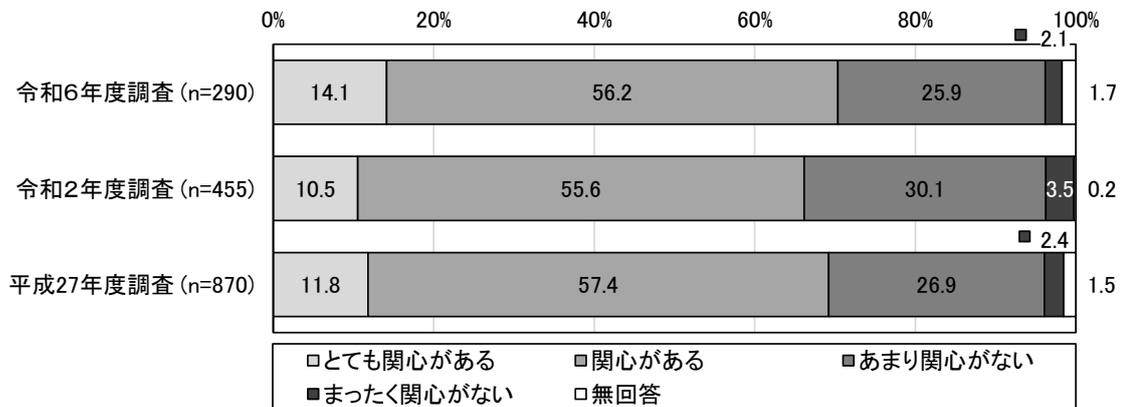
「福祉」への関心の有無については、「とても関心がある」「関心がある」を合算した『関心がある』は70.3%、「あまり関心がない」「まったく関心がない」を合算した『関心がない』は28.0%と『関心がある』が42.3ポイント高くなっています。

経年比較では、前回調査と比較して『関心がある』が4.2ポイント増加しています。

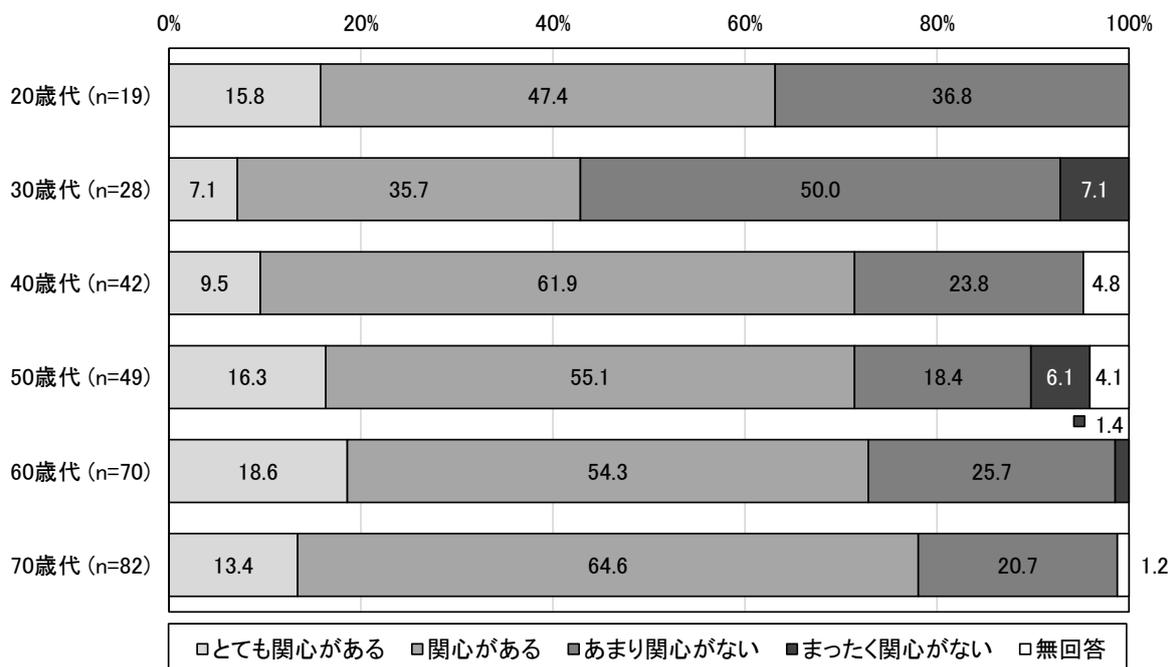
年齢別では、『関心がある』は70歳代が78.0%で最も高く、次いで60歳代が72.9%、40歳代・50歳代がともに71.4%となっています。

地区別では、『関心がある』は高原地区が75.5%で最も高く、次いで伊王野地区が72.7%、芦野地区が71.5%となっています。

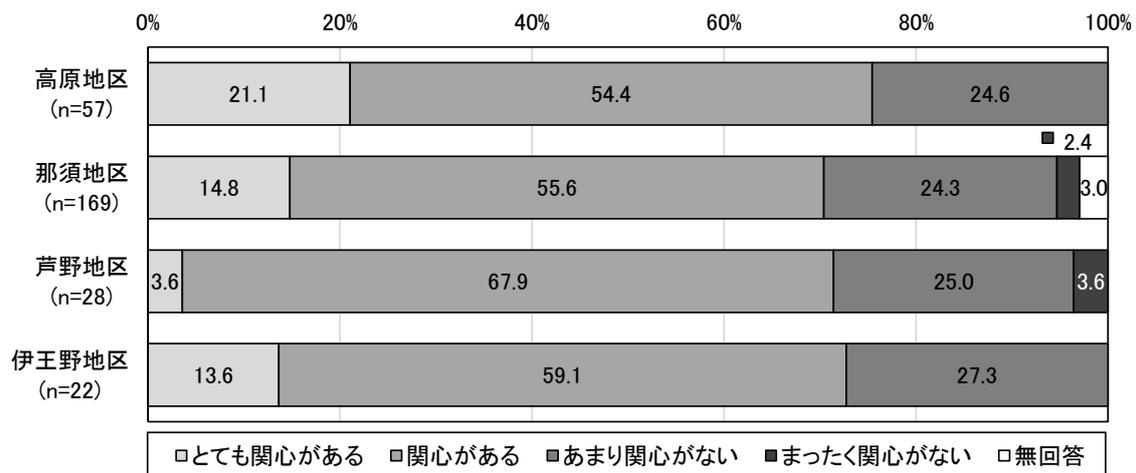
【全体（経年比較）】



【年齢別】



【地区別】



問4 あなたは「福祉」と聞いて何を連想しますか。特にあてはまるものを3つまで○で囲んで下さい。  
(一つでもかまいません)

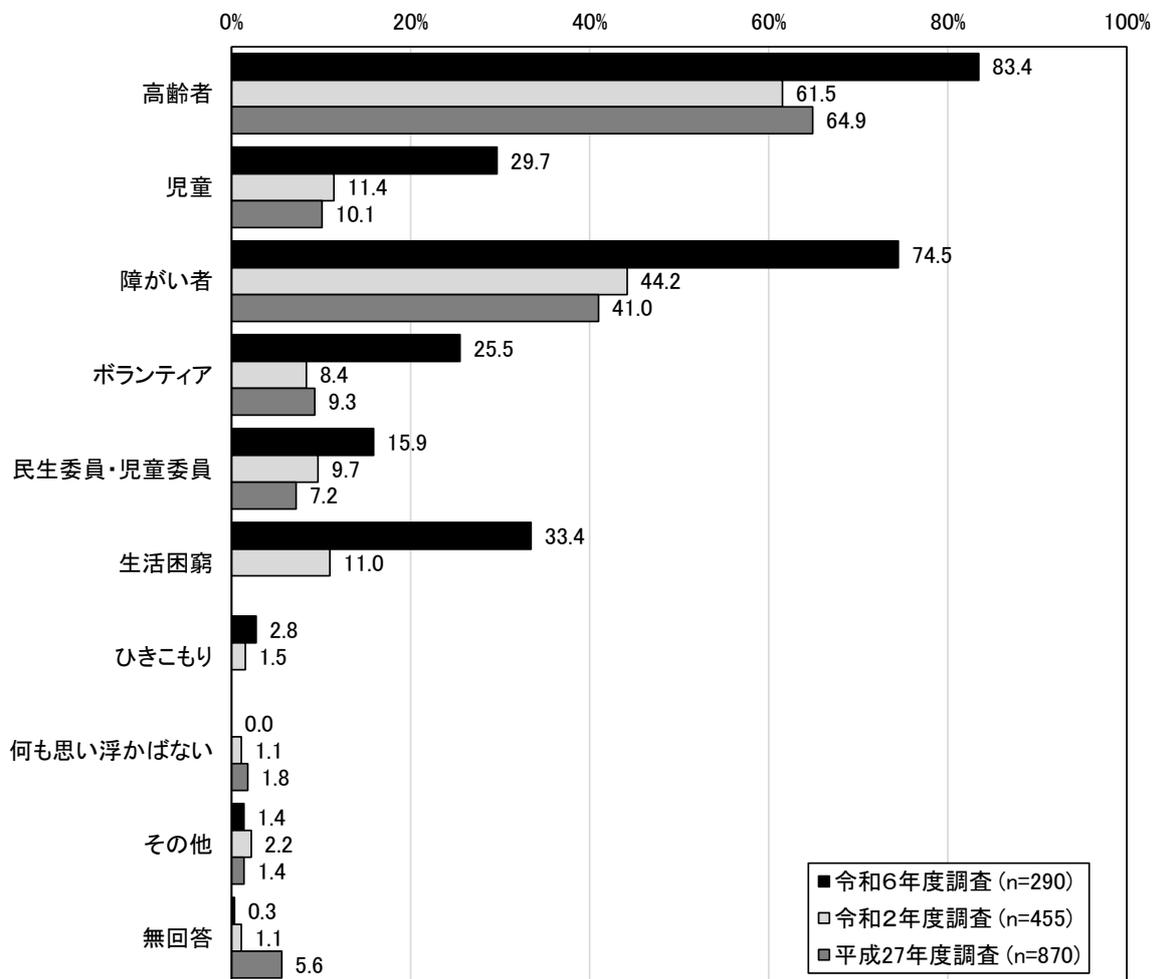
「福祉」と聞いて何を連想するかについては、「高齢者」が83.4%で最も高く、次いで「障がい者」が74.5%、「生活困窮」が33.4%となっています。

経年比較では、前回調査と比較して「高齢者」が21.9ポイント増加、「障がい者」が30.3ポイント増加、「生活困窮」が22.4ポイント増加しています。

年齢別では、「高齢者」が20歳代は94.7%、30歳代は82.1%、40歳代は90.5%、50歳代は89.8%、70歳代は76.8%で最も高く、60歳代は「高齢者」「障がい者」がともに80.0%で最も高くなっています。

地区別では、「高齢者」がすべての地区で最も高くなっています。

【全体（経年比較）】



【年齢別】

	高齢者	児童	障がい者	ボランティア	民生委員・児童委員	生活困窮	ひきこもり
20歳代 (n=19)	94.7	52.6	84.2	15.8	5.3	26.3	5.3
30歳代 (n=28)	82.1	50.0	75.0	17.9	3.6	28.6	0.0
40歳代 (n=42)	90.5	31.0	76.2	31.0	21.4	19.0	2.4
50歳代 (n=49)	89.8	30.6	75.5	16.3	10.2	40.8	4.1
60歳代 (n=70)	80.0	32.9	80.0	22.9	17.1	37.1	1.4
70歳代 (n=82)	76.8	13.4	65.9	35.4	22.0	36.6	3.7
	何も思い浮かばない	その他	無回答				
20歳代 (n=19)	0.0	0.0	0.0				
30歳代 (n=28)	0.0	0.0	0.0				
40歳代 (n=42)	0.0	2.4	0.0				
50歳代 (n=49)	0.0	0.0	0.0				
60歳代 (n=70)	0.0	1.4	0.0				
70歳代 (n=82)	0.0	2.4	1.2				

【地区別】

	高齢者	児童	障がい者	ボランティア	民生委員・児童委員	生活困窮	ひきこもり
高原地区 (n=57)	86.0	31.6	77.2	22.8	14.0	36.8	1.8
那須地区 (n=169)	82.8	27.2	75.7	24.3	13.0	33.7	3.0
芦野地区 (n=28)	75.0	28.6	71.4	32.1	25.0	39.3	3.6
伊王野地区 (n=22)	90.9	40.9	72.7	22.7	27.3	22.7	0.0
	何も思い浮かばない	その他	無回答				
高原地区 (n=57)	0.0	3.5	0.0				
那須地区 (n=169)	0.0	0.6	0.6				
芦野地区 (n=28)	0.0	0.0	0.0				
伊王野地区 (n=22)	0.0	4.5	0.0				

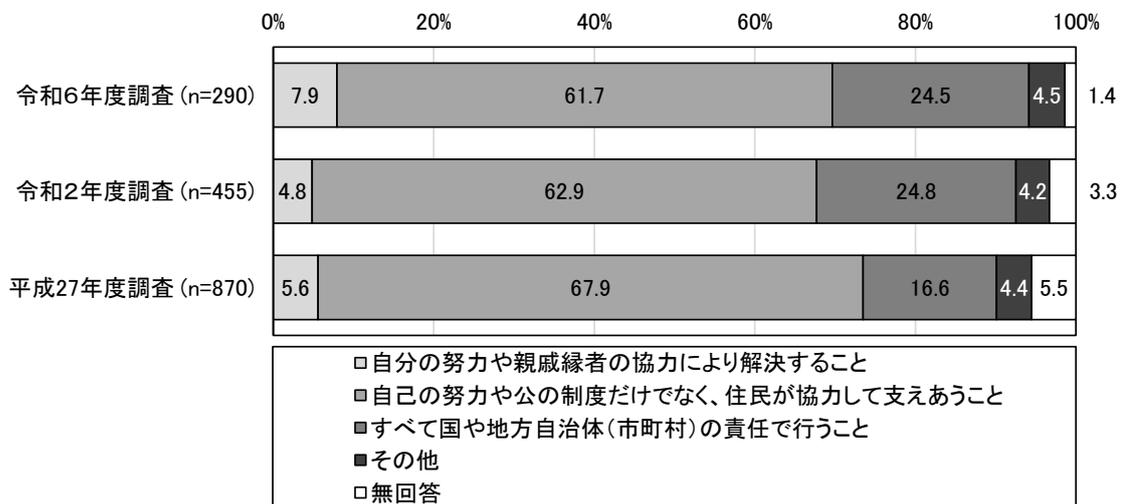
問5 あなたは「福祉」に関してどのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで○で囲んで下さい。

「福祉」についての考え方については、「自分の努力や親戚縁者の協力により解決すること」が7.9%、「自己の努力や公の制度だけでなく、住民が協力して支えあうこと」が61.7%、「すべて国や地方自治体（市町村）の責任で行うこと」が24.5%となっています。

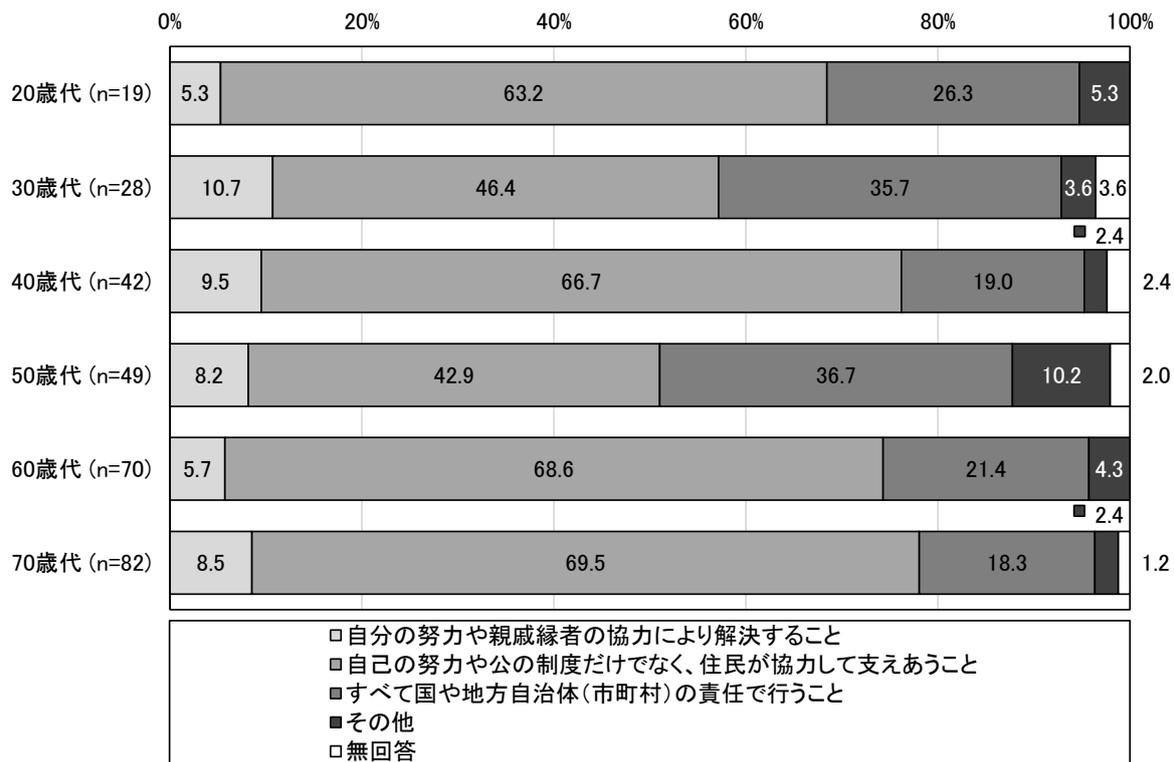
経年比較では、前回調査と比較して「自分の努力や親戚縁者の協力により解決すること」が3.1ポイント増加、「自己の努力や公の制度だけでなく、住民が協力して支えあうこと」が1.2ポイント減少、「すべて国や地方自治体（市町村）の責任で行うこと」が0.3ポイント減少しています。

年齢別・地区別ともに、「自己の努力や公の制度だけでなく、住民が協力して支えあうこと」がすべての年齢または地区で最も高くなっています。

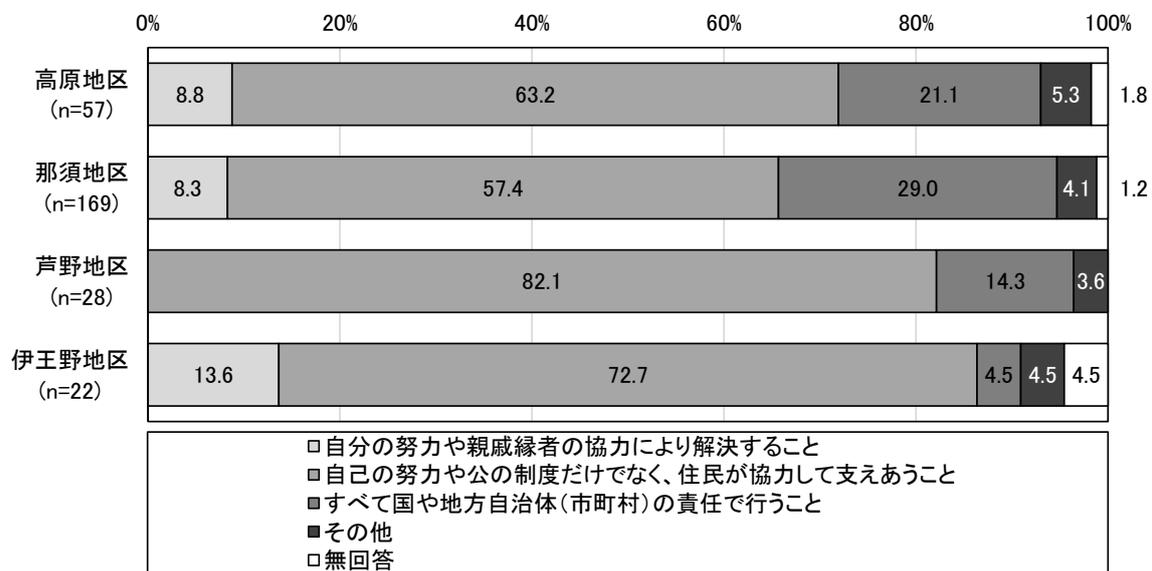
【全体（経年比較）】



【年齢別】



【地区別】



### 3. 地域に関することがらについて

問6 あなたは継続的に助け合いの活動ができる「地域」とはどこまでを指すと思われますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

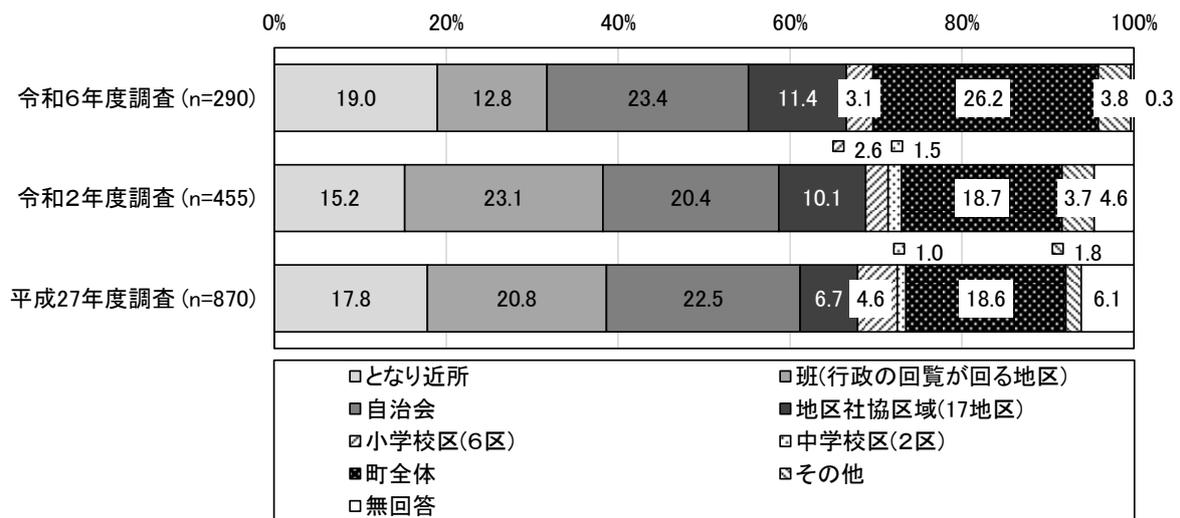
継続的に助け合いの活動ができる「地域」の範囲については、「町全体」が26.2%で最も高く、次いで「自治会」が23.4%、「となり近所」が19.0%となっています。

経年比較では、前回調査と比較して「町全体」が7.5ポイント増加、「自治会」が3.0ポイント増加、「となり近所」が3.8ポイント増加しています。

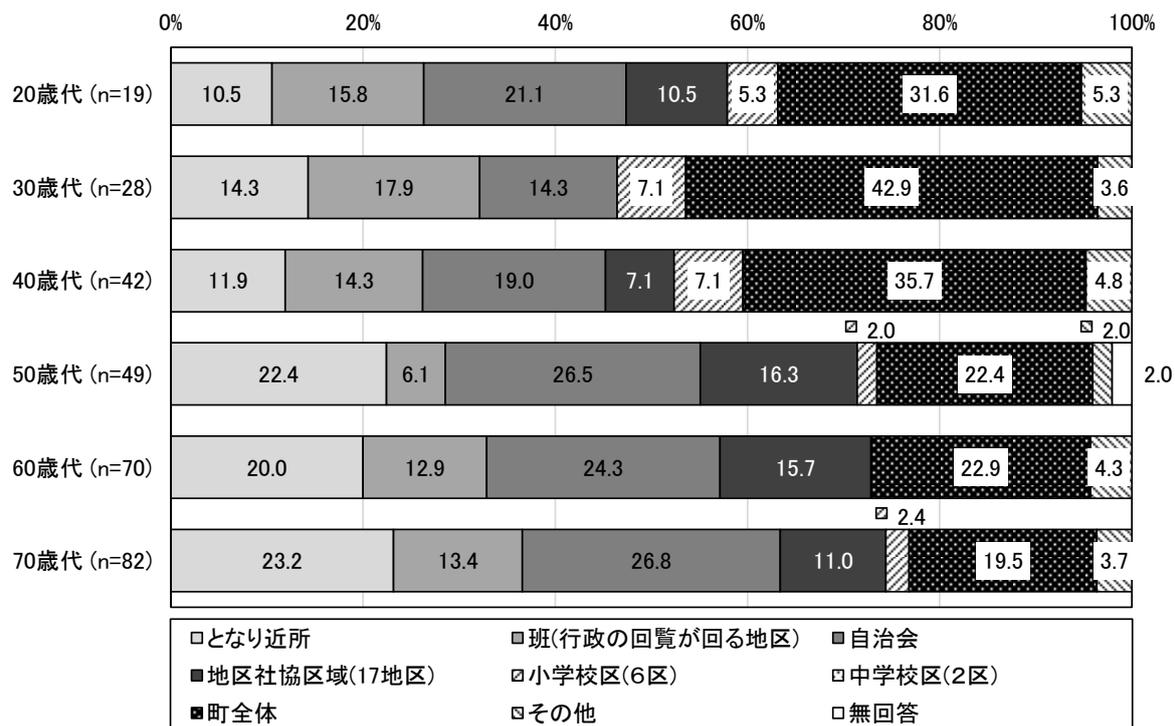
年齢別では、「町全体」が20歳代は31.6%、30歳代は42.9%、40歳代は35.7%で最も高く、「自治会」が50歳代は26.5%、60歳代は24.3%、70歳代は26.8%で最も高くなっています。

地区別では、「となり近所」が高原地区は26.3%、「町全体」が那須地区は28.4%、「自治会」が芦野地区は35.7%、伊王野地区は40.9%で最も高くなっています。

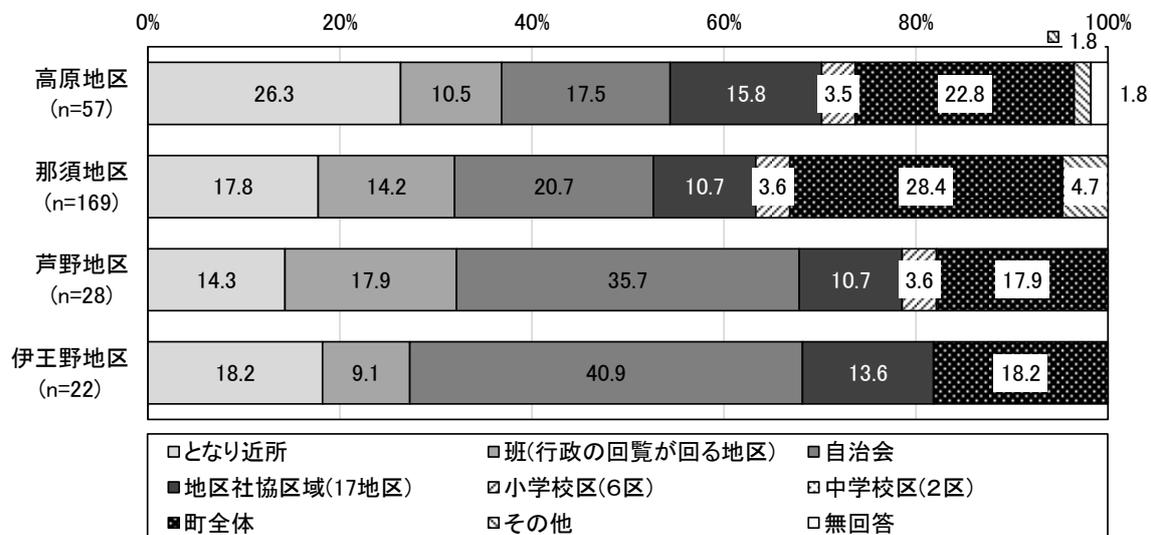
【全体（経年比較）】



【年齢別】



【地区別】



問7 あなたは「地域」との関わりについて、どのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで○で囲んで下さい。

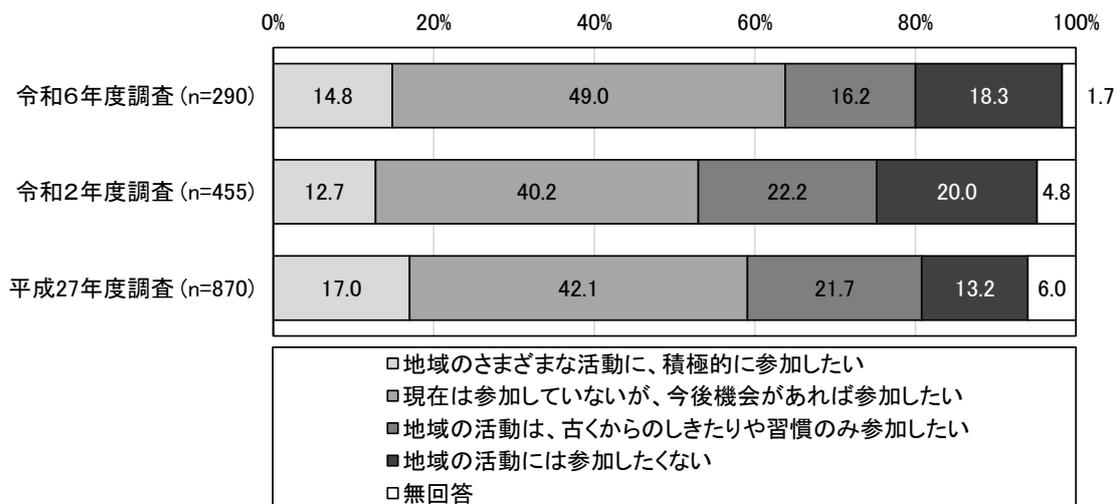
「地域」との関わりについては、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が49.0%で最も高く、次いで「地域の活動には参加したくない」が18.3%、「地域の活動は、古くからのしきたりや習慣のみ参加したい」が16.2%となっています。

経年比較では、前回調査と比較して「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が8.8ポイント増加、「地域の活動には参加したくない」が1.7ポイント減少、「地域の活動は、古くからのしきたりや習慣のみ参加したい」が6.0ポイント減少しています。

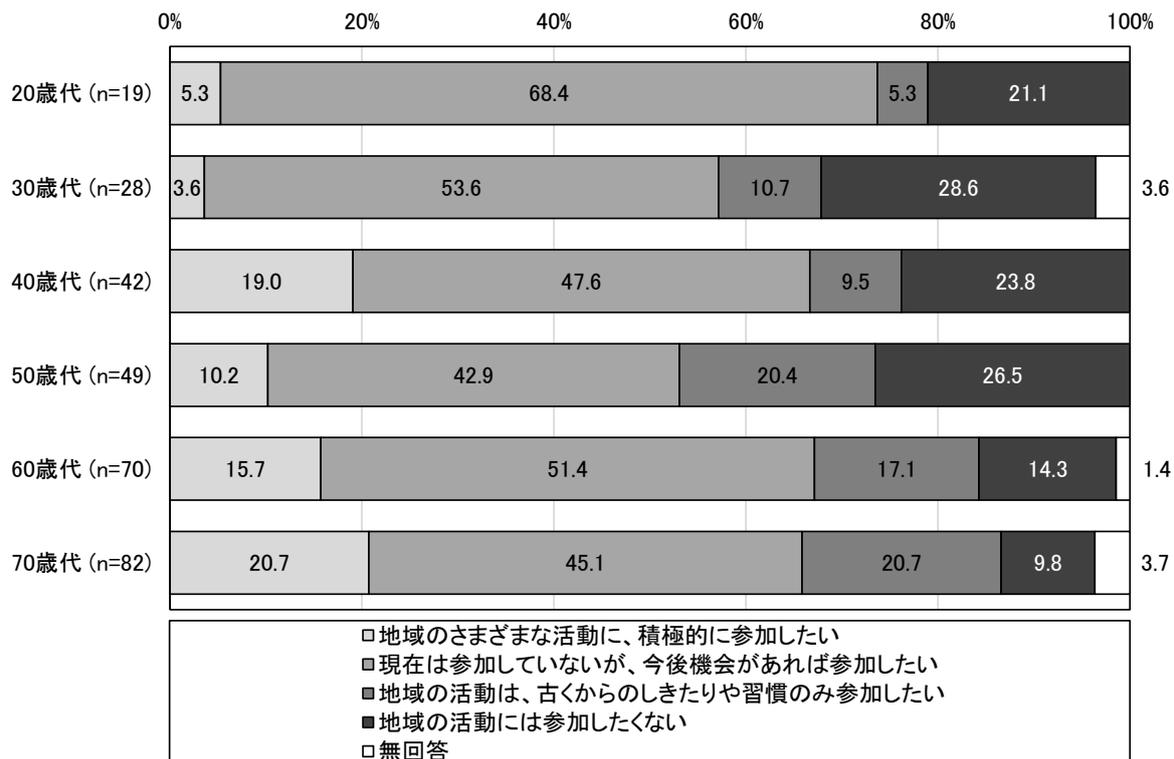
年齢別では、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」がすべての年齢で最も高くなっています。

地区別では、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が高原地区は54.4%、那須地区は52.1%、芦野地区は35.7%で最も高く、伊王野地区は「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」「地域の活動は、古くからのしきたりや習慣のみ参加したい」がともに31.8%で最も高くなっています。

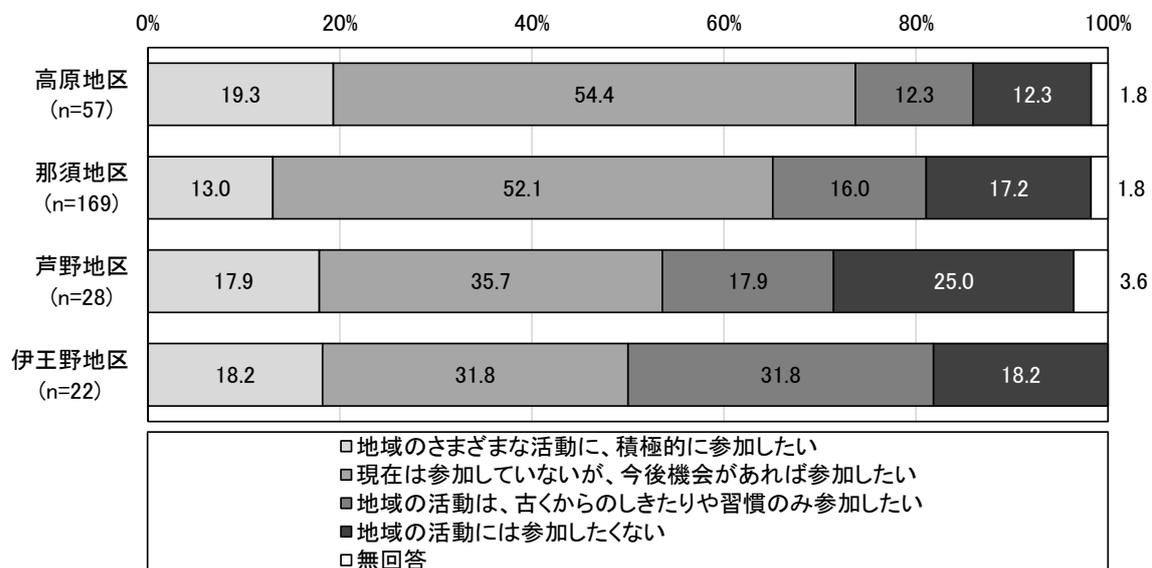
【全体（経年比較）】



【年齢別】



【地区別】



問8 あなたは、地域の人たちが協力して取り組んでいくことが必要な課題は何だと思えますか。
--

地域の人たちが協力して取り組んでいくことが必要な課題については、全体で170件の意見があり、「災害時支援・防災対策」が57件で最も多く、次いで「高齢者・障がい者等の見守り・支援」が50件、「地域交流・情報提供」が23件となっています。

協力して取り組む課題	件数
災害時支援・防災対策	57
高齢者・障がい者等の見守り・支援	50
地域交流・情報提供	23
交通・施設整備等、町の活性化	8
子育て支援	7
生活に課題をもっている方の見守りや支援	6
美化・環境整備	4
家族介護者やヤングケアラーへの支援	3
地域活動内容の見直し	3
歴史・文化財の継承	2
わからない・思いつかない	7
合計	170

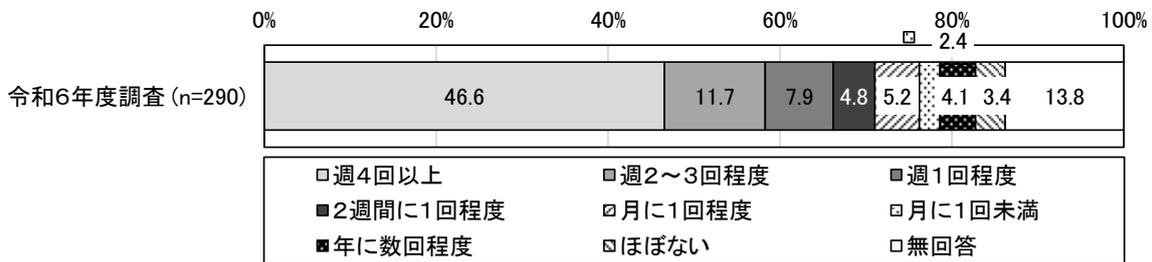
## 4. 人々のつながりについて

問9 あなたと家族や友人たちとのコミュニケーション(直接会って会話するほかに、電話やビデオ通話、電子メールでのやりとりを含みます) 頻度について、あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

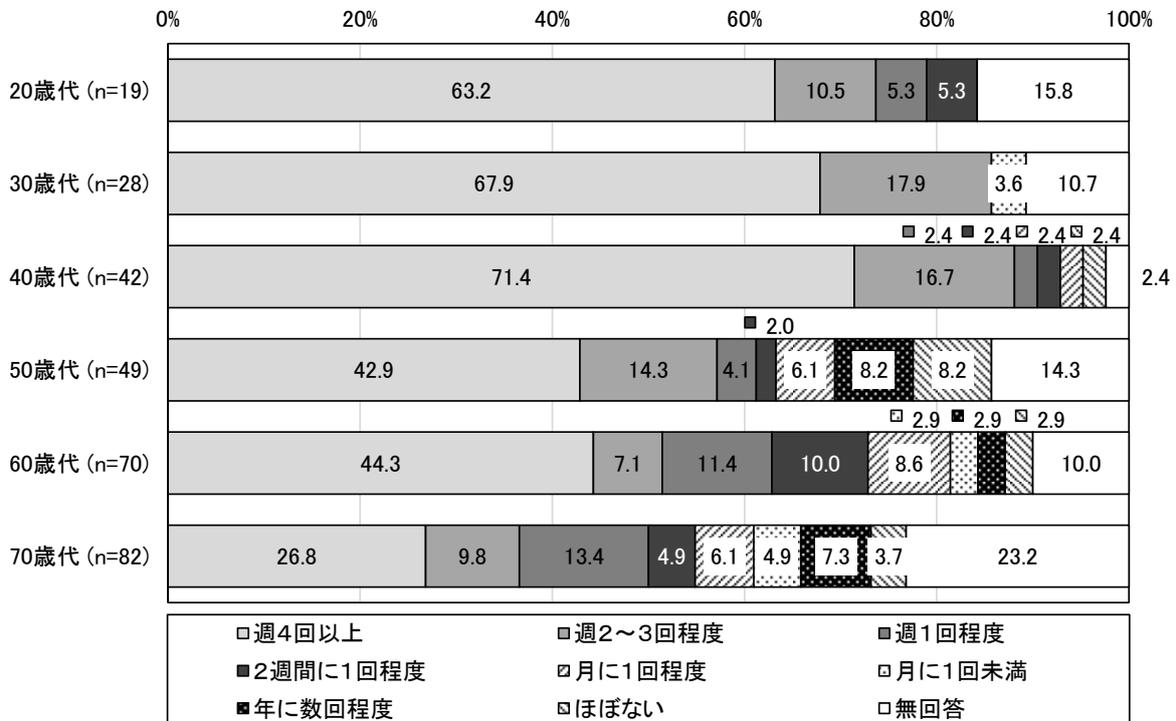
家族や友人たちとのコミュニケーション頻度については、「週4回以上」が46.6%で最も高く、次いで「週2～3回程度」が11.7%、「週1回程度」が7.9%となっています。

年齢別・地区別・孤立感別いずれも「週4回以上」がすべての年齢、地区または孤立感で最も高くなっています。

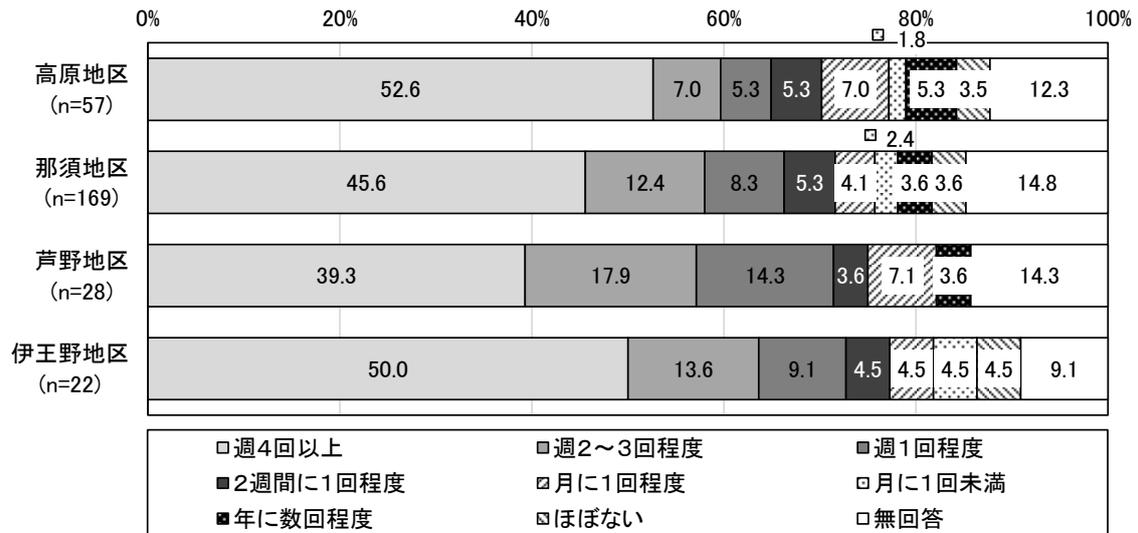
### 【全体】



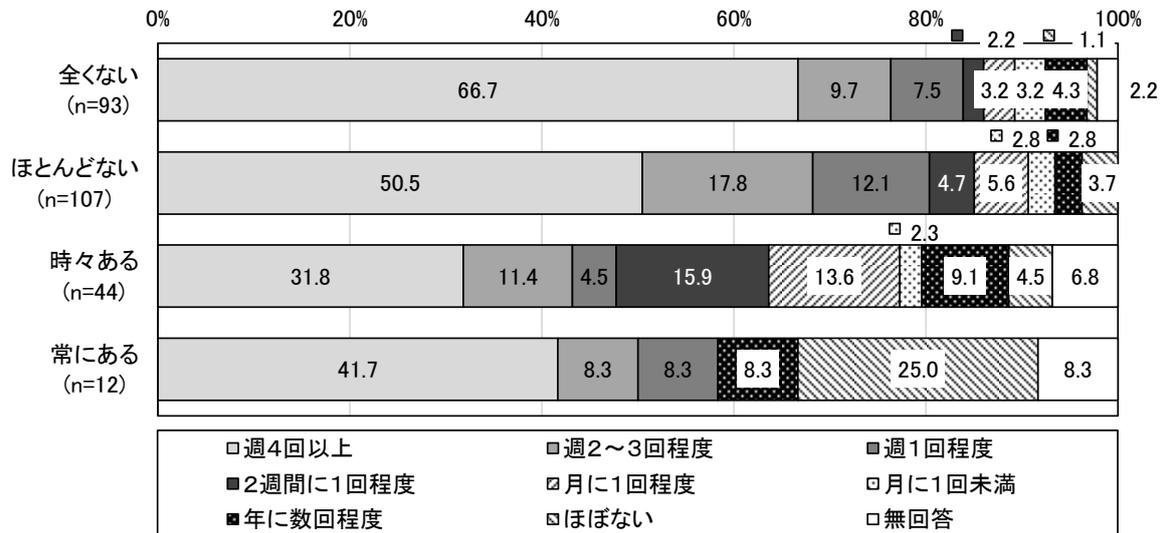
### 【年齢別】



【地区別】



【孤立感別 (問 11)】



問 10 あなたは、人との付き合いがないと感じることがありますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

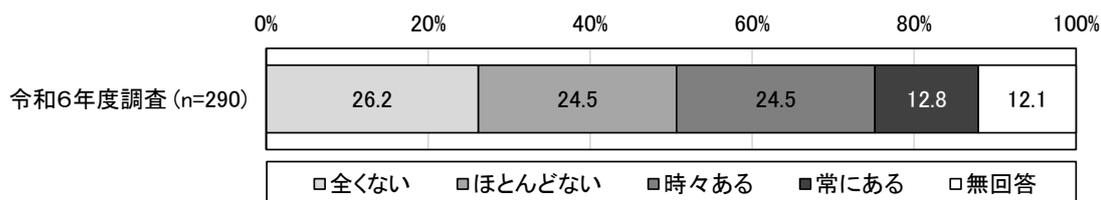
人との付き合いがないと感じることがあるかについては、「全くない」「ほとんどない」を合算した『人との付き合いがないと感じることがない』は50.7%、「時々ある」「常にある」を合算した『人との付き合いがないと感じることがある』は37.3%と『人との付き合いがないと感じることがない』が13.4ポイント高くなっています。

年齢別では、『人との付き合いがないと感じることがある』は、70歳代が40.3%で最も高く、次いで60歳代は40.0%、50歳代は38.7%となっています。

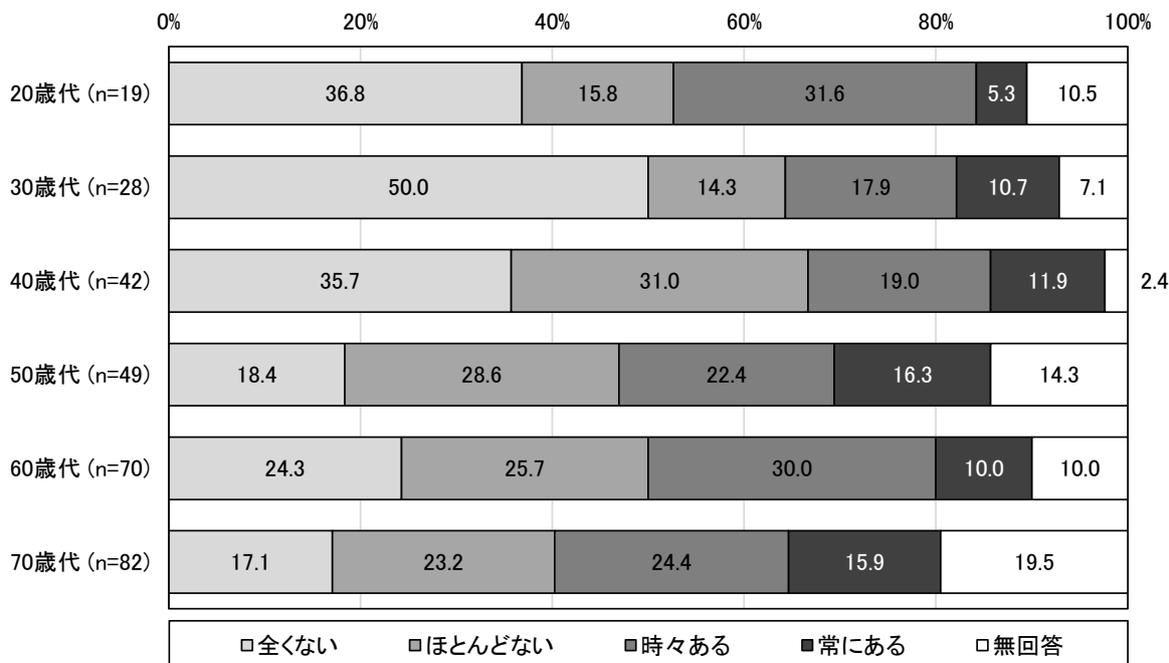
地区別では、『人との付き合いがないと感じることがある』は、高原地区が43.9%で最も高く、次いで那須地区が35.5%、芦野地区が32.1%となっています。

孤立感別では、『人との付き合いがないと感じることがある』は、孤立感が「常にある」が100.0%で最も高く、次いで「時々ある」が81.8%、「ほとんどない」が39.2%となっています。

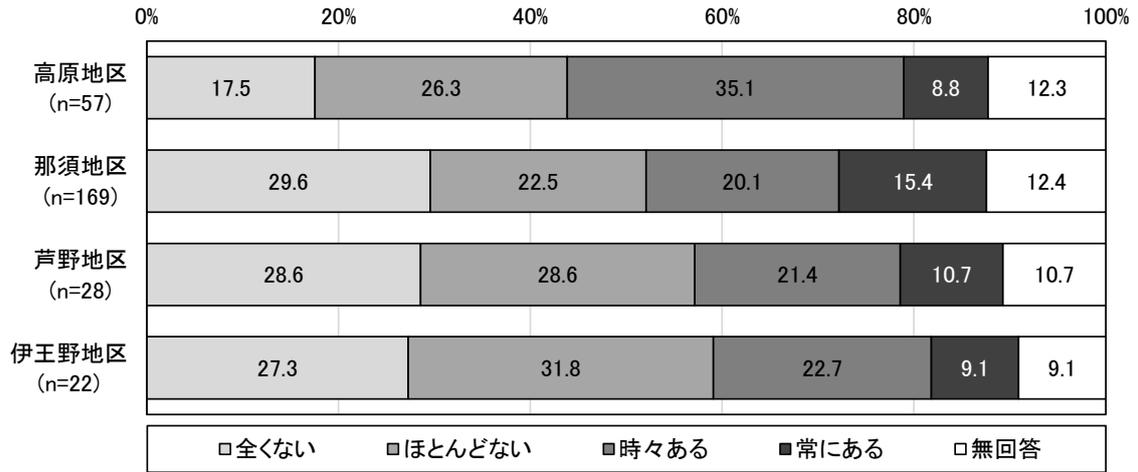
【全体】



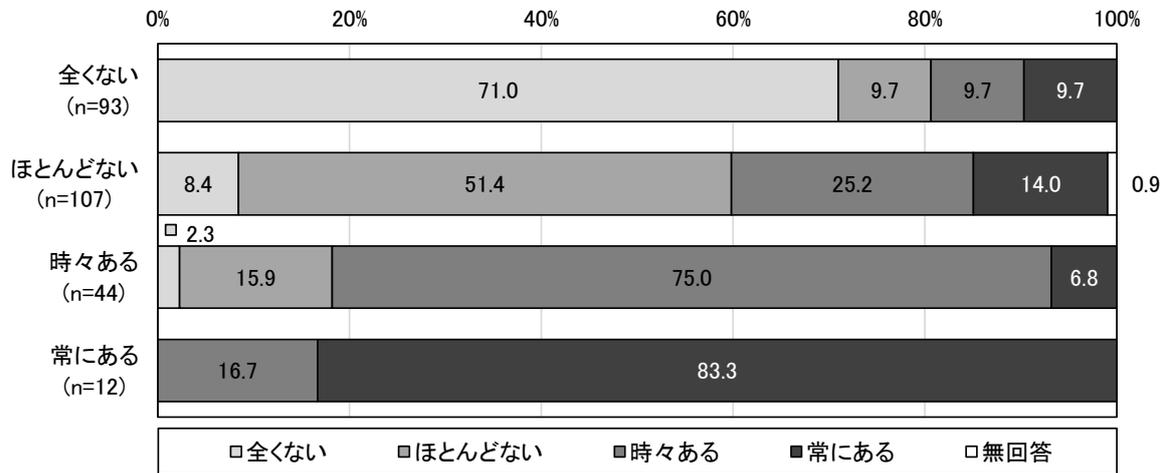
【年齢別】



【地区別】



【孤立感別（問 11）】



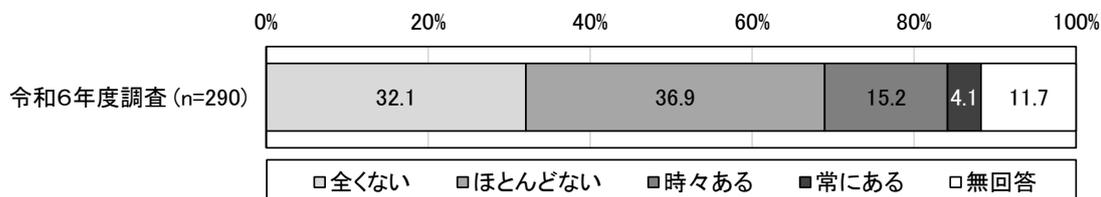
問 11 あなたは、他の人たちから孤立していると感じることがありますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

他の人たちから孤立していると感じることがあるかについては、「全くない」「ほとんどない」を合算した『孤立していると感じることがない』は69.0%、「時々ある」「常にある」を合算した『孤立していると感じることがある』は19.3%と『孤立していると感じることがない』が49.7ポイント高くなっています。

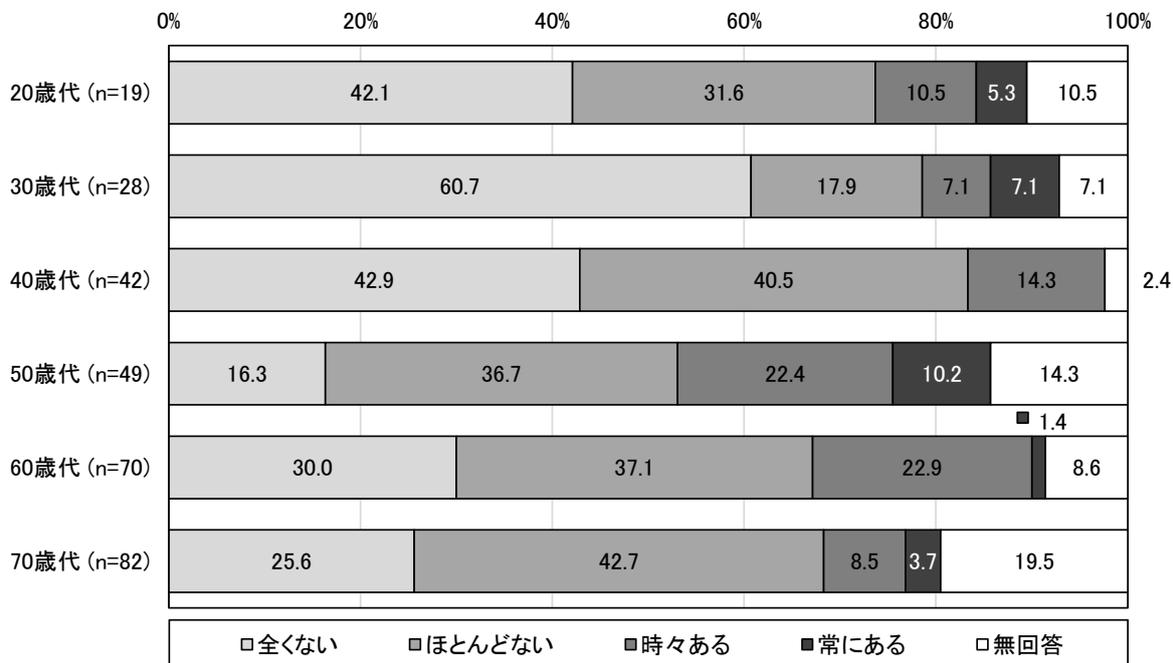
年齢別では、『孤立していると感じることがある』は、50歳代が32.6%で最も高く、次いで60歳代が24.3%、20歳代が15.8%となっています。

地区別では、『孤立していると感じることがある』は、高原地区が19.3%で最も高く、次いで伊王野地区が18.2%、芦野地区が17.9%となっています。

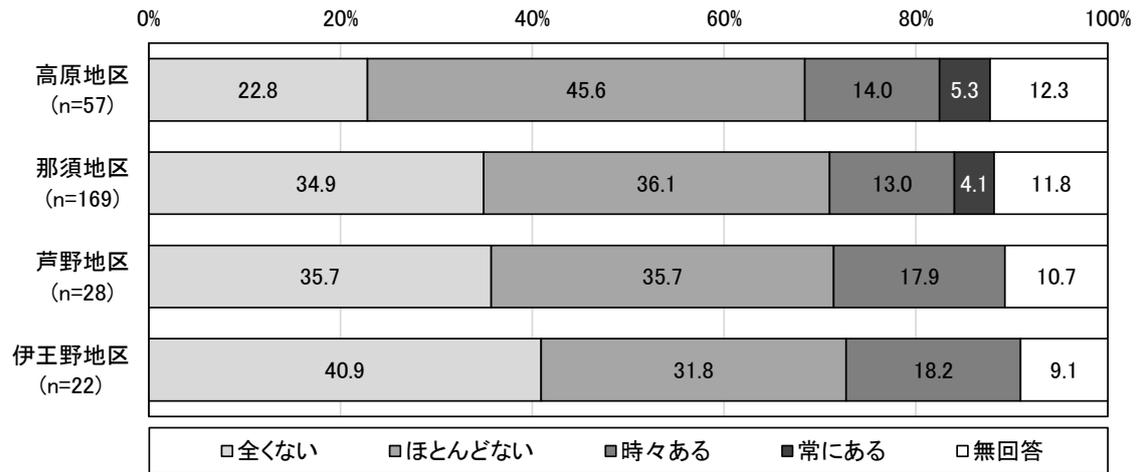
【全体】



【年齢別】



## 【地区別】



## 5. ボランティア活動について

問 12 あなたはボランティア活動についてどう思いますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

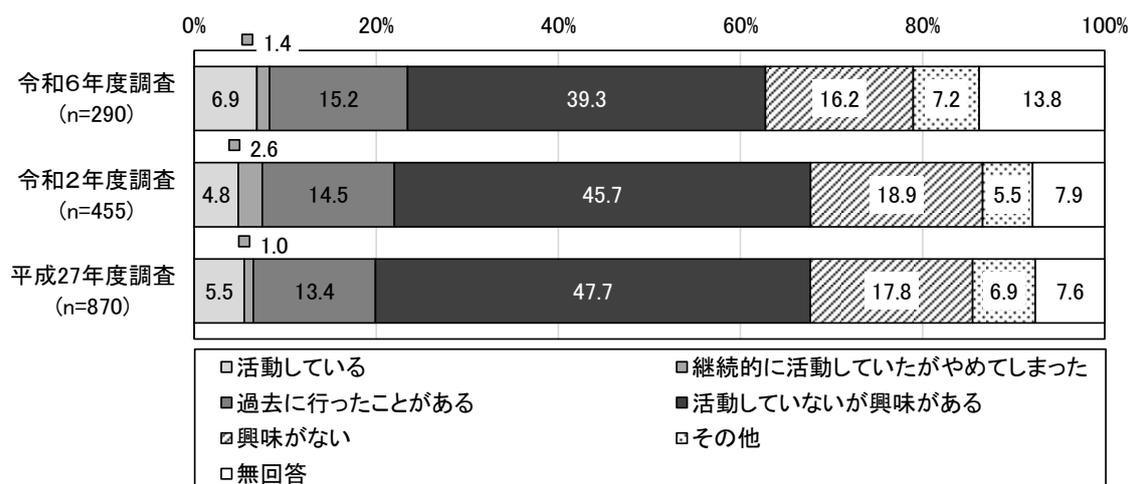
ボランティア活動についてどう思うかについては、「活動していないが興味がある」が 39.3%で最も高く、次いで「興味がない」が 16.2%、「過去に行ったことがある」が 15.2%となっています。

経年比較では、前回調査と比較して「活動していないが興味がある」が6.4ポイント減少、「興味がない」が2.7ポイント減少、「過去に行ったことがある」が0.7ポイント増加しています。

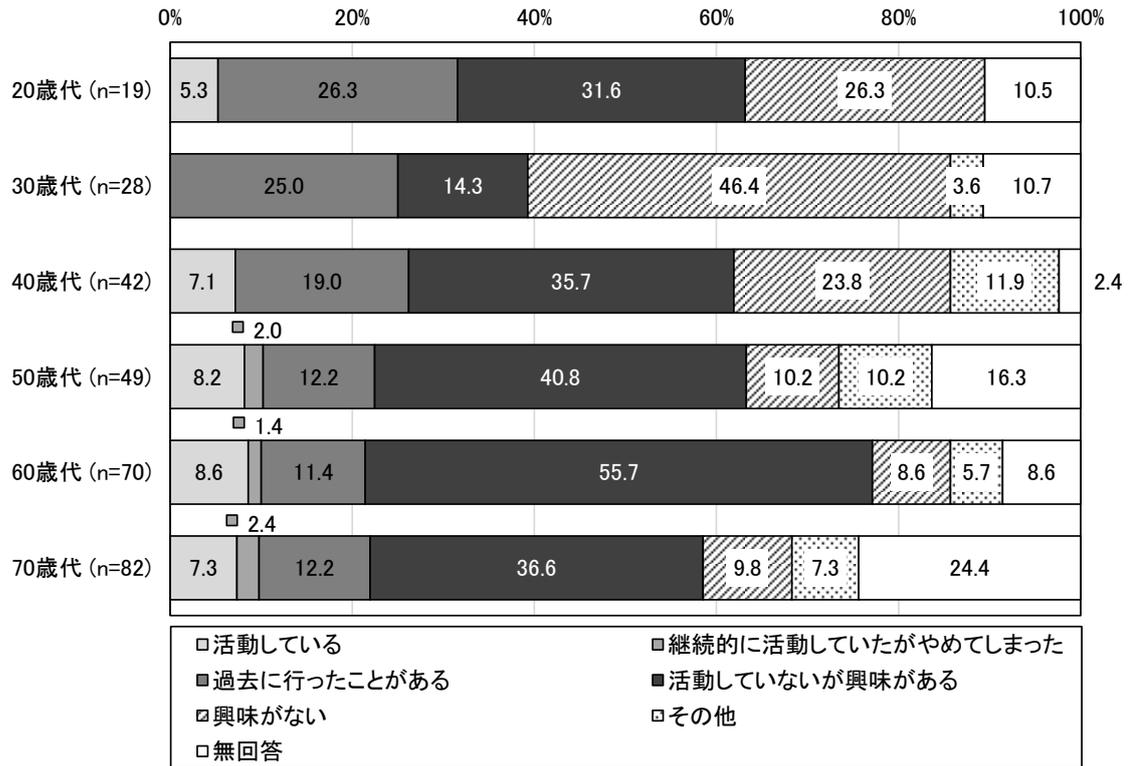
年齢別では、「活動していないが興味がある」が20歳代は31.6%、40歳代は35.7%、50歳代は40.8%、60歳代は55.7%、70歳代は36.6%で最も高く、「興味がない」が30歳代は46.4%で最も高くなっています。

地区別では、「活動していないが興味がある」が高原地区は56.1%、那須地区は36.1%、芦野地区は50.0%で最も高く、「過去に行ったことがある」が伊王野地区は36.4%で最も高くなっています。

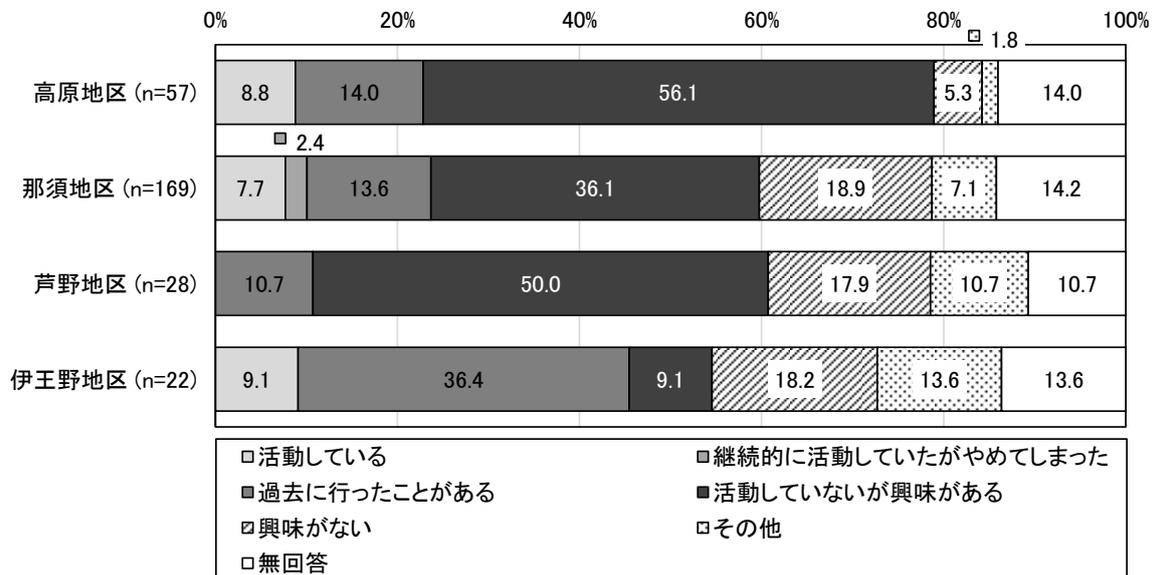
【全体（経年比較）】



【年齢別】



【地区別】



問 13 あなたは那須町におけるボランティア活動の活性化を図るためには何が必要だと思いますか。  
あてはまるものをすべて○で囲んで下さい。

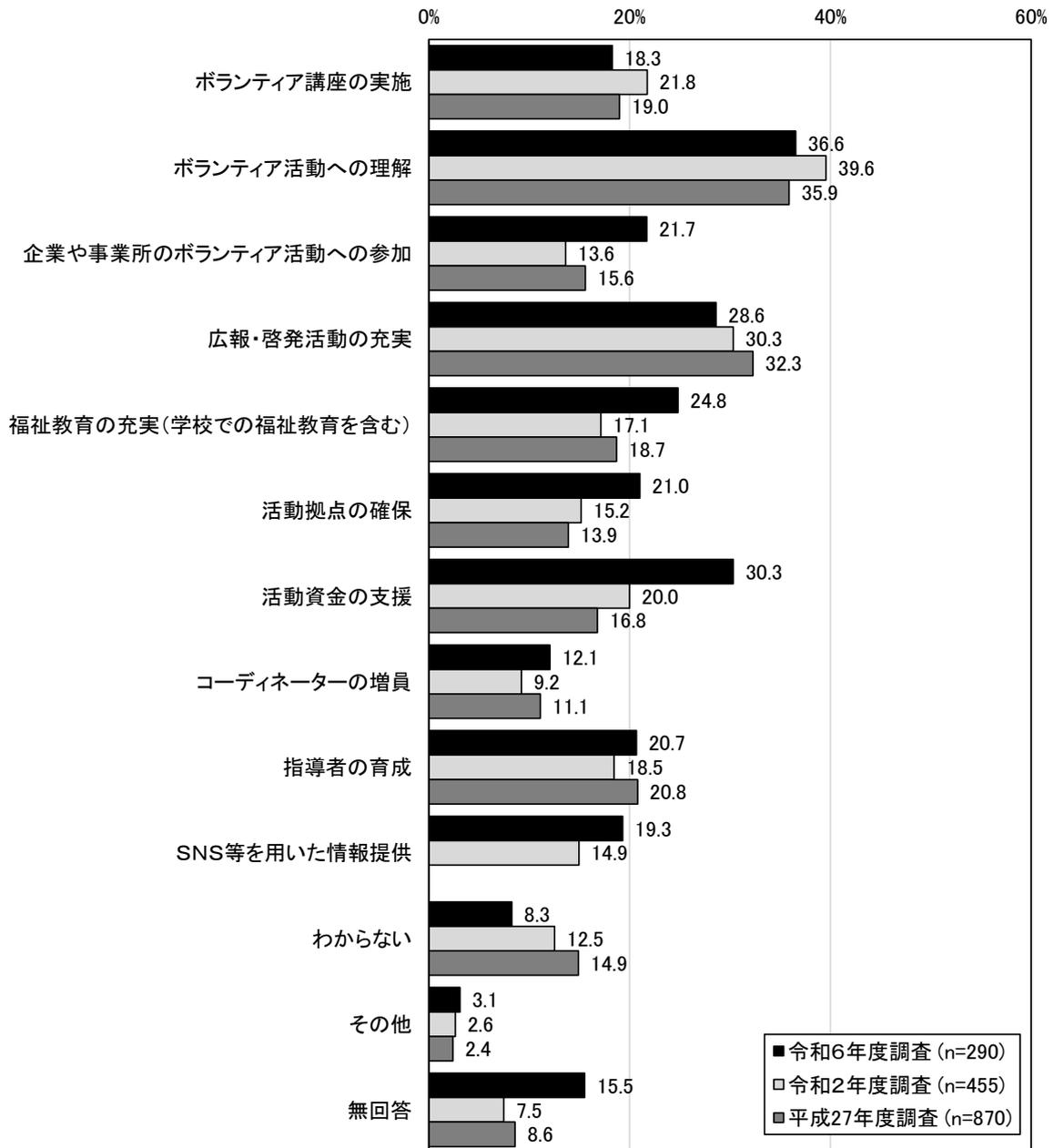
那須町におけるボランティア活動の活性化を図るために必要なことについては、「ボランティア活動への理解」が36.6%で最も高く、次いで「活動資金の支援」が30.3%、「広報・啓発活動の充実」が28.6%となっています。

経年比較では、前回調査と比較して「ボランティア活動への理解」が3.0ポイント減少、「活動資金の支援」が10.3ポイント増加、「広報・啓発活動の充実」が1.7ポイント減少しています。

年齢別では、20歳代は「企業や事業所のボランティア活動への参加」「広報・啓発活動の充実」がともに36.8%で最も高く、30歳代は「SNS等を用いた情報提供」が50.0%、40歳代は「ボランティア活動への理解」が50.0%、50歳代は「活動資金の支援」が34.7%、60歳代は「ボランティア活動への理解」が42.9%、70歳代は「ボランティア活動への理解」が37.8%で最も高くなっています。

地区別では、高原地区は「ボランティア活動への理解」「広報・啓発活動の充実」がともに40.4%で最も高く、那須地区は「ボランティア活動への理解」が34.9%、芦野地区は「ボランティア活動への理解」が46.4%、伊王野地区は「ボランティア活動への理解」「広報・啓発活動の充実」「福祉教育の充実（学校での福祉教育を含む）」「SNS等を用いた情報提供」がいずれも27.3%で最も高くなっています。

【全体（経年比較）】



【年齢別】

	ボランティア講座の実施	ボランティア活動への理解	企業や事業所のボランティア活動への参加	広報・啓発活動の充実	福祉教育の充実(学校での福祉教育を含む)	活動拠点の確保	活動資金の支援
20歳代 (n=19)	15.8	31.6	36.8	36.8	31.6	21.1	26.3
30歳代 (n=28)	0.0	21.4	25.0	14.3	21.4	32.1	14.3
40歳代 (n=42)	19.0	50.0	38.1	31.0	42.9	19.0	40.5
50歳代 (n=49)	26.5	24.5	26.5	30.6	24.5	26.5	34.7
60歳代 (n=70)	22.9	42.9	14.3	28.6	27.1	17.1	34.3
70歳代 (n=82)	15.9	37.8	12.2	29.3	13.4	18.3	25.6
	コーディネーターの増員	指導者の育成	SNS等を用いた情報提供	わからない	その他	無回答	
20歳代 (n=19)	10.5	26.3	31.6	10.5	5.3	10.5	
30歳代 (n=28)	14.3	7.1	50.0	10.7	3.6	10.7	
40歳代 (n=42)	9.5	28.6	31.0	4.8	7.1	2.4	
50歳代 (n=49)	16.3	22.4	10.2	14.3	2.0	16.3	
60歳代 (n=70)	15.7	21.4	17.1	8.6	2.9	10.0	
70歳代 (n=82)	7.3	18.3	7.3	4.9	1.2	29.3	

【地区別】

	ボランティア講座の実施	ボランティア活動への理解	企業や事業所のボランティア活動への参加	広報・啓発活動の充実	福祉教育の充実(学校での福祉教育を含む)	活動拠点の確保	活動資金の支援
高原地区 (n=57)	31.6	40.4	21.1	40.4	21.1	17.5	36.8
那須地区 (n=169)	14.8	34.9	23.7	26.0	26.6	24.9	33.1
芦野地区 (n=28)	28.6	46.4	25.0	28.6	32.1	17.9	25.0
伊王野地区 (n=22)	9.1	27.3	13.6	27.3	27.3	18.2	18.2
	コーディネーターの増員	指導者の育成	SNS等を用いた情報提供	わからない	その他	無回答	
高原地区 (n=57)	14.0	22.8	21.1	3.5	1.8	14.0	
那須地区 (n=169)	10.7	21.3	20.1	7.1	2.4	16.6	
芦野地区 (n=28)	21.4	25.0	7.1	17.9	7.1	10.7	
伊王野地区 (n=22)	4.5	9.1	27.3	9.1	9.1	18.2	

## 6. 福祉サービスについて

問 14 あなたが那須町における施策・サービスで、今後充実させたいものは何ですか。

那須町における施策・サービスで、今後充実させたいものについては、全体で 145 件の意見があり、「子ども・子育て支援」が 30 件で最も多く、次いで「交通・移動手段の充実」「高齢者が集える居場所づくり」が 23 件、「地域住民の交流の場づくり」が 11 件となっています。

充実を希望する施策・サービス	件数
子ども・子育て支援	30
交通・移動手段の充実	23
高齢者が集える居場所づくり	23
地域住民の交流の場づくり	11
高齢者の見守り・支援	9
医療・介護の充実	8
イベント・講座の充実	7
地域の活性化	5
障がい者等へのボランティア活動	4
家族介護者や問題を抱える家族への支援	4
経済的支援	3
町政による支援・取組	3
施設の整備・バリアフリー化	2
学校生活の充実	2
その他	4
わからない	5
特になし	2
合計	145

問 15-1 あなたは生活の中で困ったことがありますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

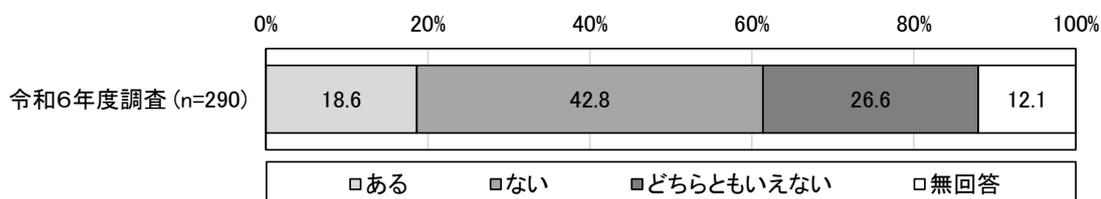
生活の中で困ったことがあるかについては、「ある」が18.6%、「ない」が42.8%、「どちらともいえない」が26.6%となっています。

年齢別では、「ある」は、30歳代が32.1%で最も高く、次いで50歳代が26.5%、40歳代が26.2%となっています。

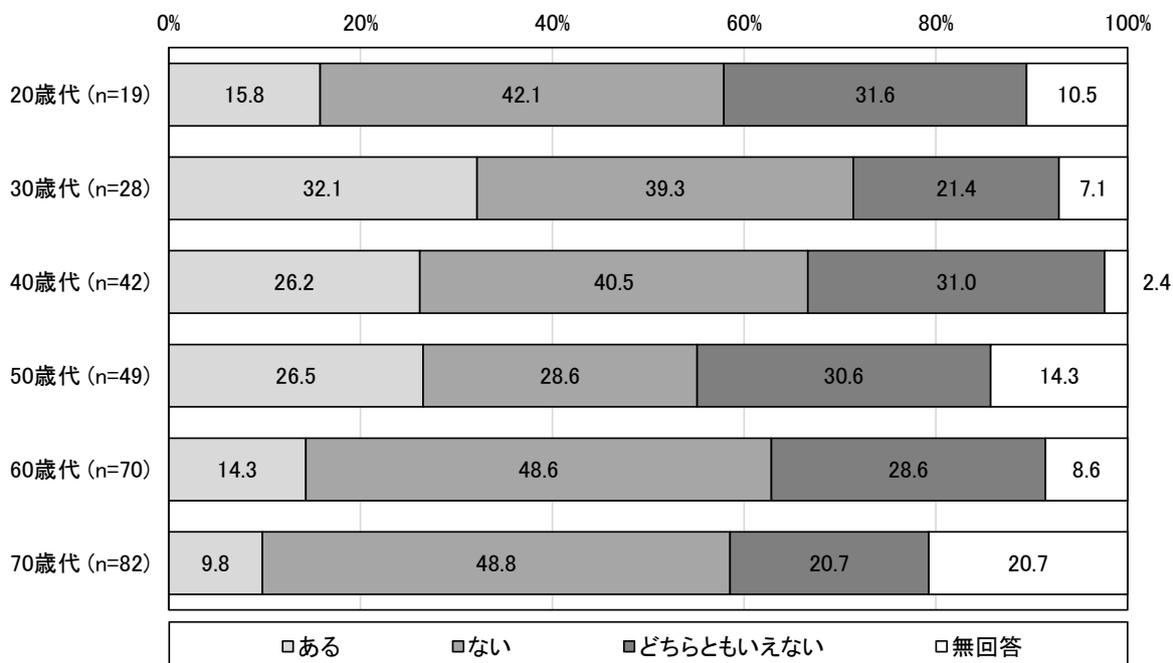
地区別では、「ある」は、那須地区が20.7%で最も高く、次いで伊王野地区が18.2%、高原地区が14.0%となっています。

孤立感別では、「ある」は、孤立感が「常にある」が41.7%で最も高く、次いで「時々ある」が25.0%、「全くない」が20.4%となっています。

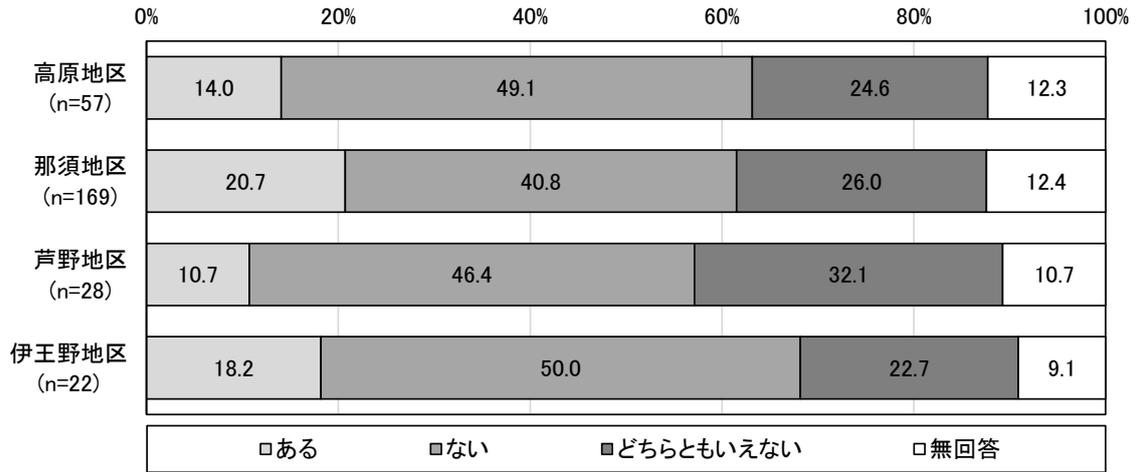
【全体】



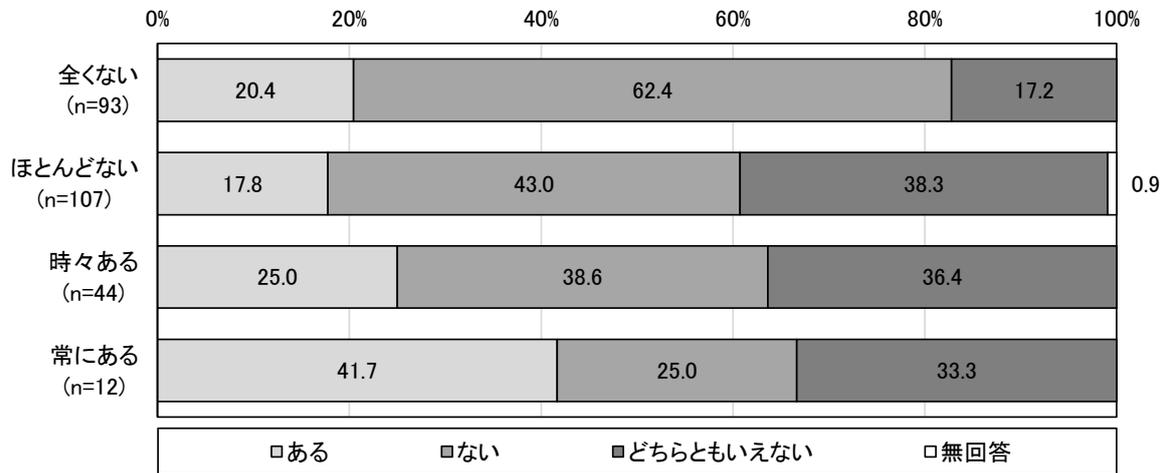
【年齢別】



【地区別】



【孤立感別（問 11）】



問 15-1 で「ある」と回答した方にお聞きします。

問 15-2 あなたは生活の中で困ったことについて、どこに相談しますか。あてはまるものをすべて○で囲んで下さい。

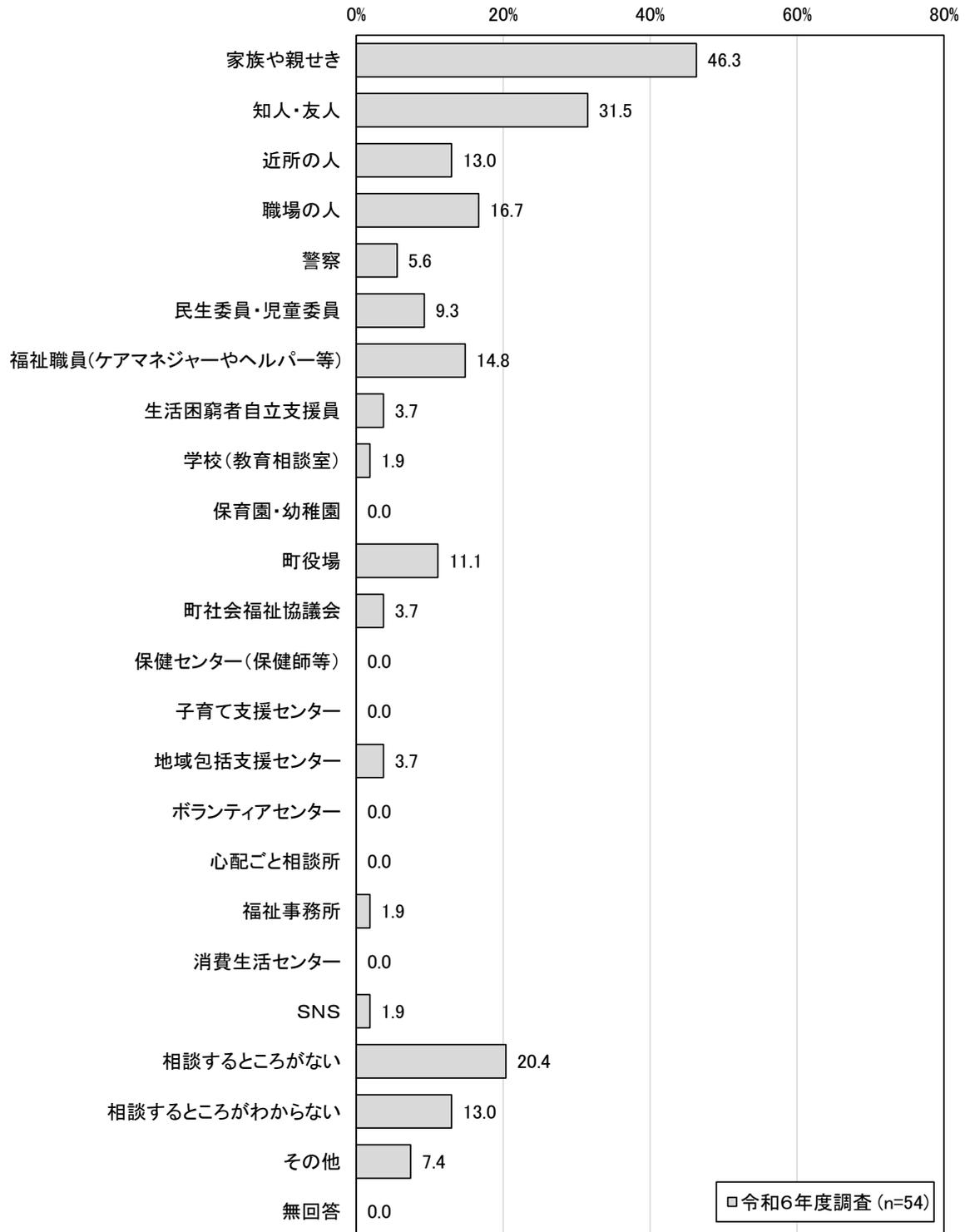
生活の中で困ったことについて、どこに相談するかについては、「家族や親せき」が 46.3%で最も高く、次いで「知人・友人」が 31.5%、「相談するところがない」が 20.4%となっています。

年齢別では、20 歳代は「家族や親せき」「知人・友人」、30 歳代は「家族や親せき」、40 歳代は「家族や親せき」、50 歳代は「相談するところがない」、60 歳代は「福祉職員（ケアマネジャーやヘルパー等）」、70 歳代は「家族や親せき」が最も高くなっています。

地区別では、高原地区は「福祉職員（ケアマネジャーやヘルパー等）」「町役場」、那須地区は「家族や親せき」、芦野地区は「相談するところがない」「相談するところがわからない」、伊王野地区は「家族や親せき」が最も高くなっています。

孤立感別では、孤立感が「全くない」と回答した人は「家族や親せき」、「ほとんどない」と回答した人は「家族や親せき」、「時々ある」と回答した人は「福祉職員（ケアマネジャーやヘルパー等）」、「常にある」と回答した人は「相談するところがない」「相談するところがわからない」が最も高くなっています。

【全体】



【年齢別】

	家族や親せき	知人・友人	近所の人	職場の人	警察	民生委員・児童委員	福祉職員(ケアマネジャーやヘルパー等)
20歳代 (n=3)	100.0	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
30歳代 (n=9)	55.6	22.2	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0
40歳代 (n=11)	63.6	54.5	18.2	36.4	9.1	18.2	9.1
50歳代 (n=13)	30.8	30.8	7.7	7.7	7.7	0.0	15.4
60歳代 (n=10)	30.0	20.0	20.0	10.0	10.0	20.0	40.0
70歳代 (n=8)	37.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	生活困窮者自立支援員	学校(教育相談室)	保育園・幼稚園	町役場	町社会福祉協議会	保健センター(保健師等)	子育て支援センター
20歳代 (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代 (n=9)	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
40歳代 (n=11)	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
50歳代 (n=13)	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0
60歳代 (n=10)	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0
70歳代 (n=8)	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0
	地域包括支援センター	ボランティアセンター	心配ごと相談所	福祉事務所	消費生活センター	SNS	相談するところがない
20歳代 (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代 (n=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
40歳代 (n=11)	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2
50歳代 (n=13)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.5
60歳代 (n=10)	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0
70歳代 (n=8)	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	相談するところがない	その他	無回答				
20歳代 (n=3)	0.0	0.0	0.0				
30歳代 (n=9)	22.2	0.0	0.0				
40歳代 (n=11)	18.2	0.0	0.0				
50歳代 (n=13)	7.7	0.0	0.0				
60歳代 (n=10)	0.0	20.0	0.0				
70歳代 (n=8)	25.0	25.0	0.0				

## 【地区別】

	家族や親せき	知人・友人	近所の人	職場の人	警察	民生委員・児童委員	福祉職員(ケアマネジャーやヘルパー等)
高原地区 (n=8)	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	37.5
那須地区 (n=35)	51.4	40.0	17.1	22.9	0.0	14.3	5.7
芦野地区 (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
伊王野地区 (n=4)	100.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0
	生活困窮者自立支援員	学校(教育相談室)	保育園・幼稚園	町役場	町社会福祉協議会	保健センター(保健師等)	子育て支援センター
高原地区 (n=8)	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0
那須地区 (n=35)	5.7	0.0	0.0	8.6	2.9	0.0	0.0
芦野地区 (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
伊王野地区 (n=4)	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	地域包括支援センター	ボランティアセンター	心配ごと相談所	福祉事務所	消費生活センター	SNS	相談するところがない
高原地区 (n=8)	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5
那須地区 (n=35)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
芦野地区 (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
伊王野地区 (n=4)	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	相談するところがわからない	その他	無回答				
高原地区 (n=8)	25.0	25.0	0.0				
那須地区 (n=35)	11.4	2.9	0.0				
芦野地区 (n=3)	33.3	33.3	0.0				
伊王野地区 (n=4)	0.0	0.0	0.0				

【孤立感別（問 11）】

	家族や親せき	知人・友人	近所の人	職場の人	警察	民生委員・児童委員	福祉職員(ケアマネジャーやヘルパー等)
全くない (n=19)	57.9	42.1	26.3	31.6	5.3	21.1	10.5
ほとんどない (n=19)	57.9	36.8	5.3	15.8	0.0	5.3	10.5
時々ある (n=11)	27.3	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	36.4
常にある (n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	生活困窮者自立支援員	学校(教育相談室)	保育園・幼稚園	町役場	町社会福祉協議会	保健センター(保健師等)	子育て支援センター
全くない (n=19)	5.3	5.3	0.0	21.1	5.3	0.0	0.0
ほとんどない (n=19)	5.3	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0
時々ある (n=11)	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
常にある (n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	地域包括支援センター	ボランティアセンター	心配ごと相談所	福祉事務所	消費生活センター	SNS	相談するところがない
全くない (n=19)	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	21.1
ほとんどない (n=19)	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5
時々ある (n=11)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3
常にある (n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	相談するところがわからない	その他	無回答				
全くない (n=19)	5.3	5.3	0.0				
ほとんどない (n=19)	10.5	0.0	0.0				
時々ある (n=11)	18.2	27.3	0.0				
常にある (n=5)	40.0	0.0	0.0				

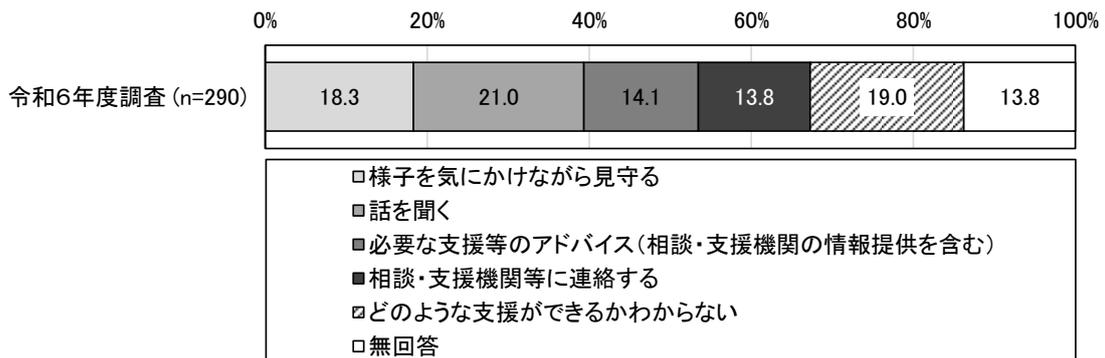
問 16 あなたは介護で困っている人がいた場合、どのような支援等ができると思いますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

介護で困っている人がいた場合、どのような支援等ができると思うかについては、「話を聞く」が21.0%で最も高く、次いで「どのような支援ができるかわからない」が19.0%、「様子を気にかけてながら見守る」が18.3%となっています。

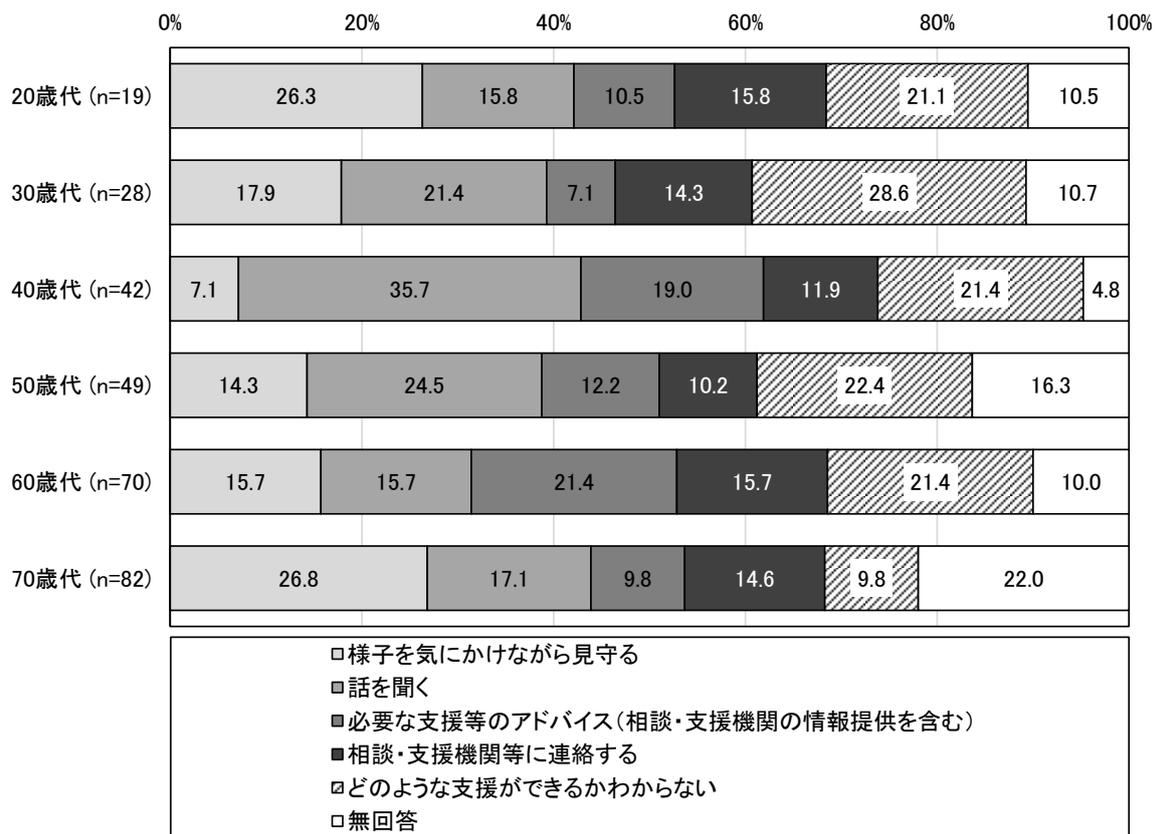
年齢別では、20歳代は「様子を気にかけてながら見守る」が26.3%、30歳代は「どのような支援ができるかわからない」が28.6%、40歳代は「話を聞く」が35.7%、50歳代は「話を聞く」が24.5%、60歳代は「必要な支援等のアドバイス（相談・支援機関の情報提供を含む）」「どのような支援ができるかわからない」がともに21.4%、70歳代は「様子を気にかけてながら見守る」が26.8%で最も高くなっています。

地区別では、高原地区は「必要な支援等のアドバイス（相談・支援機関の情報提供を含む）」が22.8%、那須地区は「様子を気にかけてながら見守る」が21.3%、芦野地区は「話を聞く」が32.1%で最も高く、伊王野地区は「様子を気にかけてながら見守る」「どのような支援ができるかわからない」がともに27.3%で最も高くなっています。

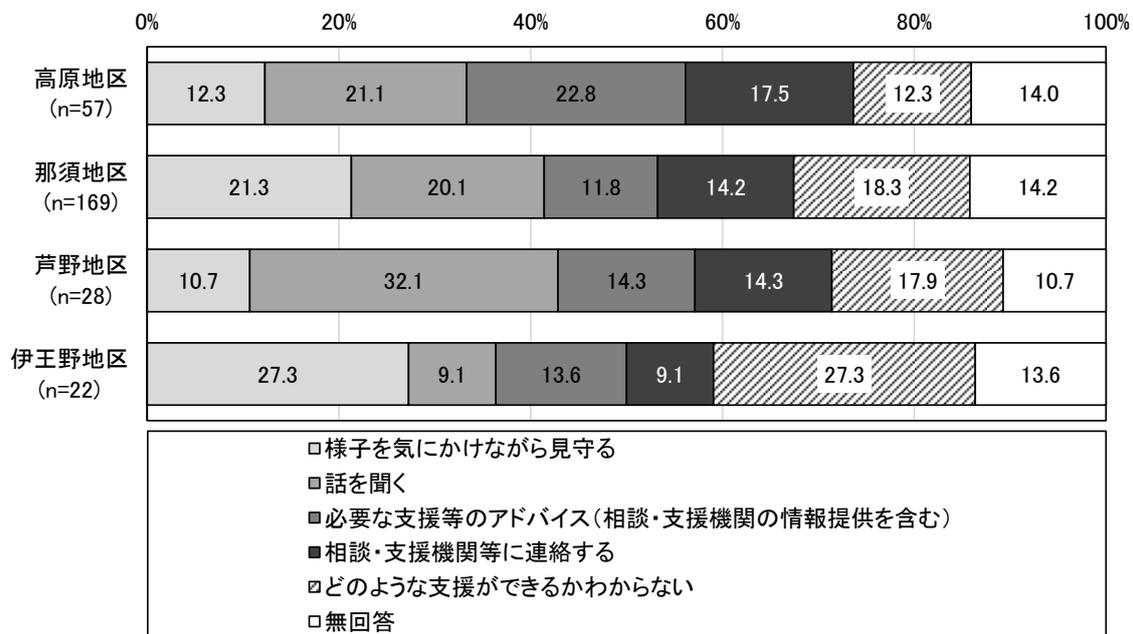
【全体】



【年齢別】



【地区別】



問 17 あなたの家族に介護が必要になった方がいた場合、どうすると思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで○で囲んで下さい。

家族に介護が必要になった方がいた場合、どうすると思うかについては、「できるだけサービスを利用し、家族の負担を少なくしたい」が39.3%で最も高く、次いで「できるだけ家族で介護し、必要に応じてサービスを利用したい」が31.4%、「施設への入所を考える」が14.5%となっています。

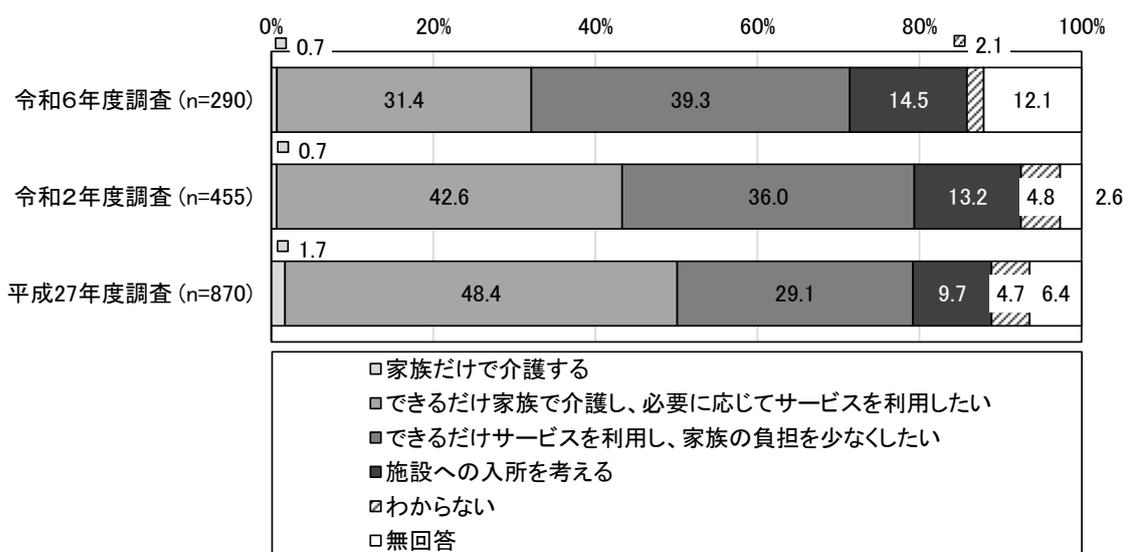
経年比較では、前回調査と比較して「できるだけサービスを利用し、家族の負担を少なくしたい」が3.3ポイント増加、「できるだけ家族で介護し、必要に応じてサービスを利用したい」が11.2ポイント減少、「施設への入所を考える」が1.3ポイント増加しています。

年齢別では、「できるだけ家族で介護し、必要に応じてサービスを利用したい」「施設への入所を考える」が20歳代はともに31.6%で最も高く、「できるだけサービスを利用し、家族の負担を少なくしたい」が30歳代は42.9%、40歳代は64.3%、50歳代は40.8%、60歳代は41.4%で最も高く、「できるだけ家族で介護し、必要に応じてサービスを利用したい」が70歳代は39.0%で最も高くなっています。

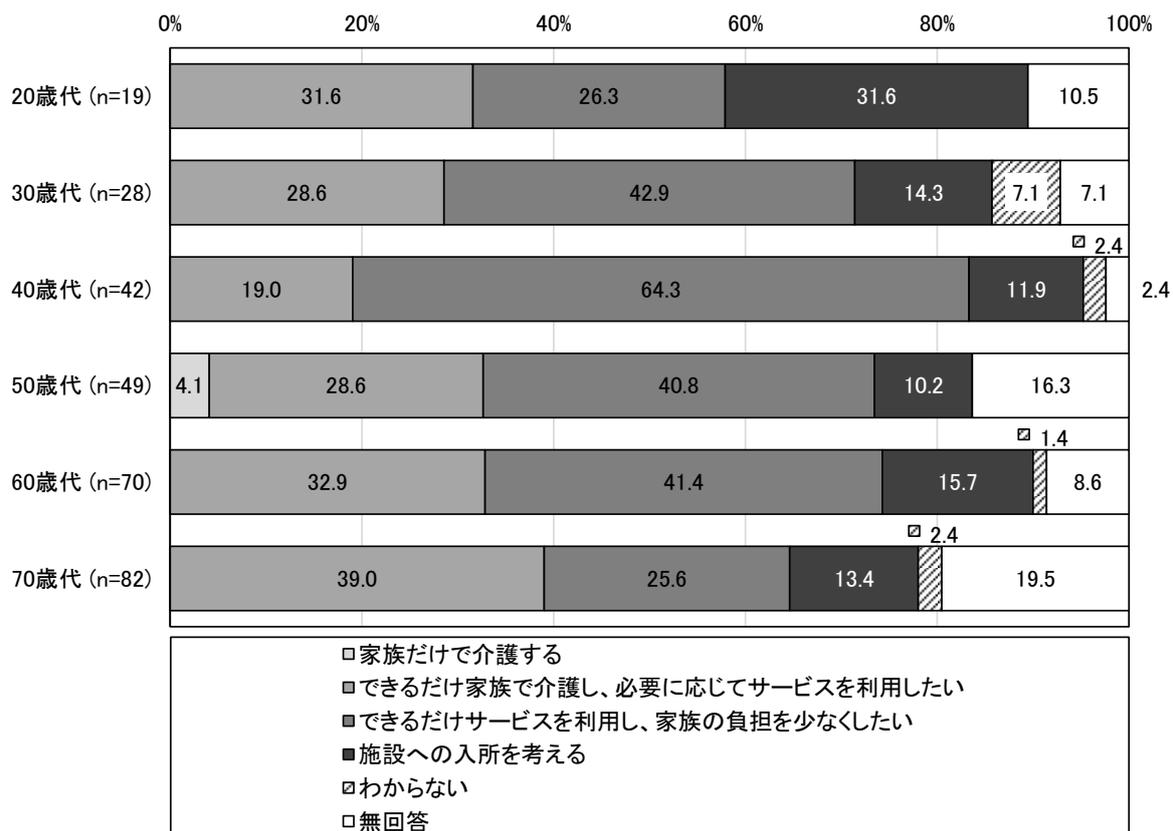
地区別では、「できるだけ家族で介護し、必要に応じてサービスを利用したい」が高原地区は40.4%、伊王野地区は40.9%で最も高く、「できるだけサービスを利用し、家族の負担を少なくしたい」が那須地区は39.1%、芦野地区は35.7%で最も高くなっています。

福祉への視点別では、「自分の努力や親戚縁者の協力により解決すること」が福祉であると考えている方の中では、「できるだけ家族で介護し、必要に応じてサービスを利用したい」が34.8%、「自己の努力や公の制度だけでなく、住民が協力して支えあうこと」が福祉であると考えている方の中では、「できるだけサービスを利用し、家族の負担を少なくしたい」が41.3%、「すべて国や地方自治体（市町村）の責任で行うこと」が福祉であると考えている方の中では、「できるだけサービスを利用し、家族の負担を少なくしたい」が38.0%で最も高くなっています。

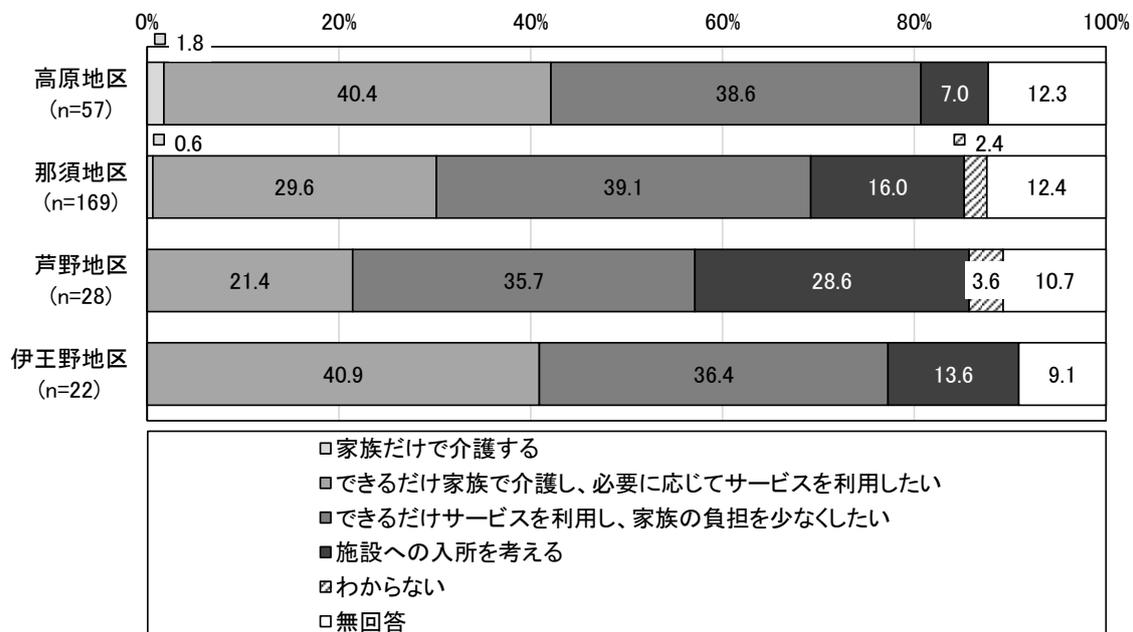
【全体（経年比較）】



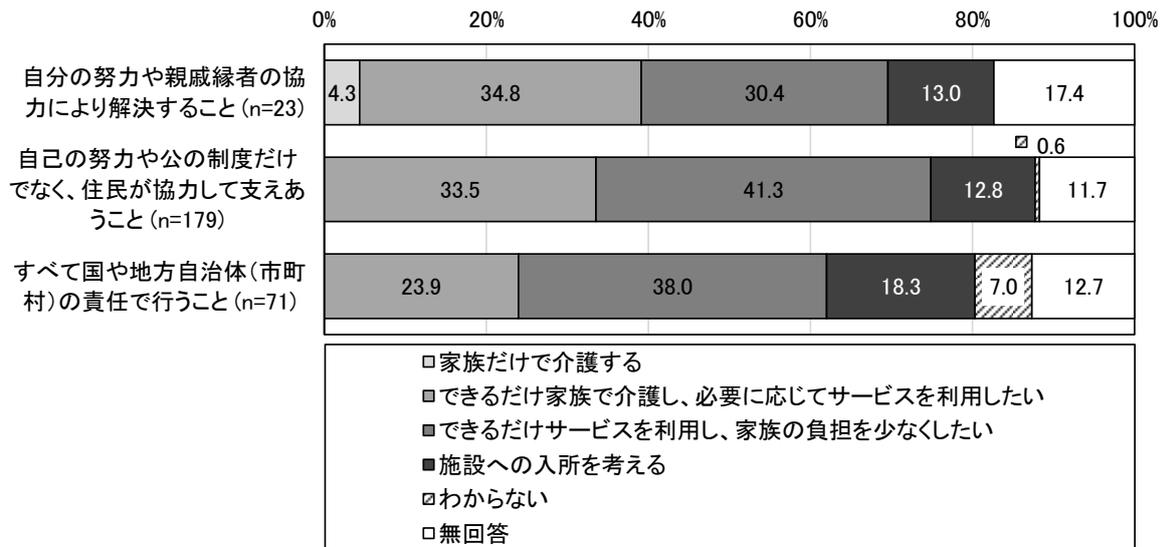
【年齢別】



【地区別】



【福祉への視点別（問5）】



問 18 あなたは福祉サービスが必要となったとき、抵抗なく利用できますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで○で囲んで下さい。

福祉サービスが必要となったとき、抵抗なく利用できるかについては、「抵抗なく利用できる」が36.9%で最も高く、次いで「抵抗はあるが利用する」が35.9%、「わからない」が11.0%となっています。

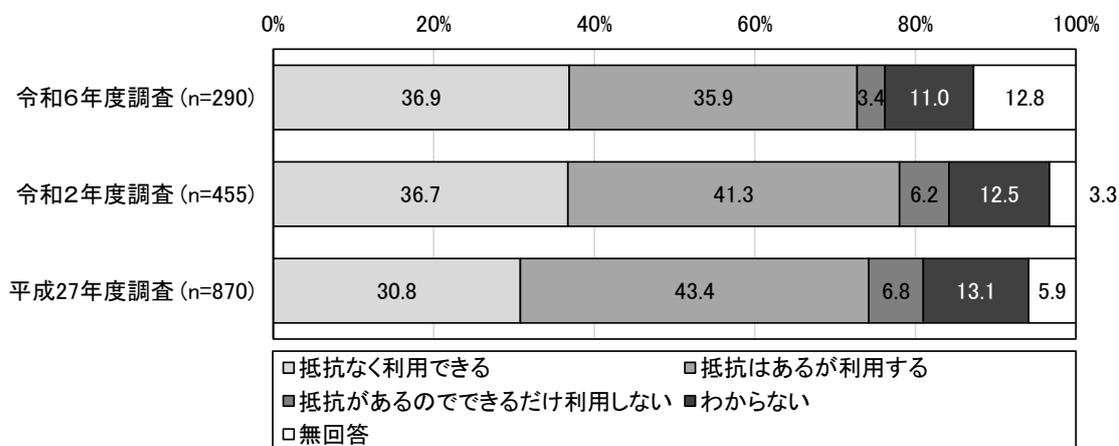
経年比較では、前回調査と比較して「抵抗なく利用できる」が0.2ポイント増加、「抵抗はあるが利用する」が5.4ポイント減少、「わからない」が1.5ポイント減少しています。

年齢別では、「抵抗なく利用できる」が20歳代は47.4%、30歳代は46.4%、40歳代は45.2%、50歳代は38.8%で最も高く、「抵抗はあるが利用する」が60歳代は47.1%、70歳代は35.4%で最も高くなっています。

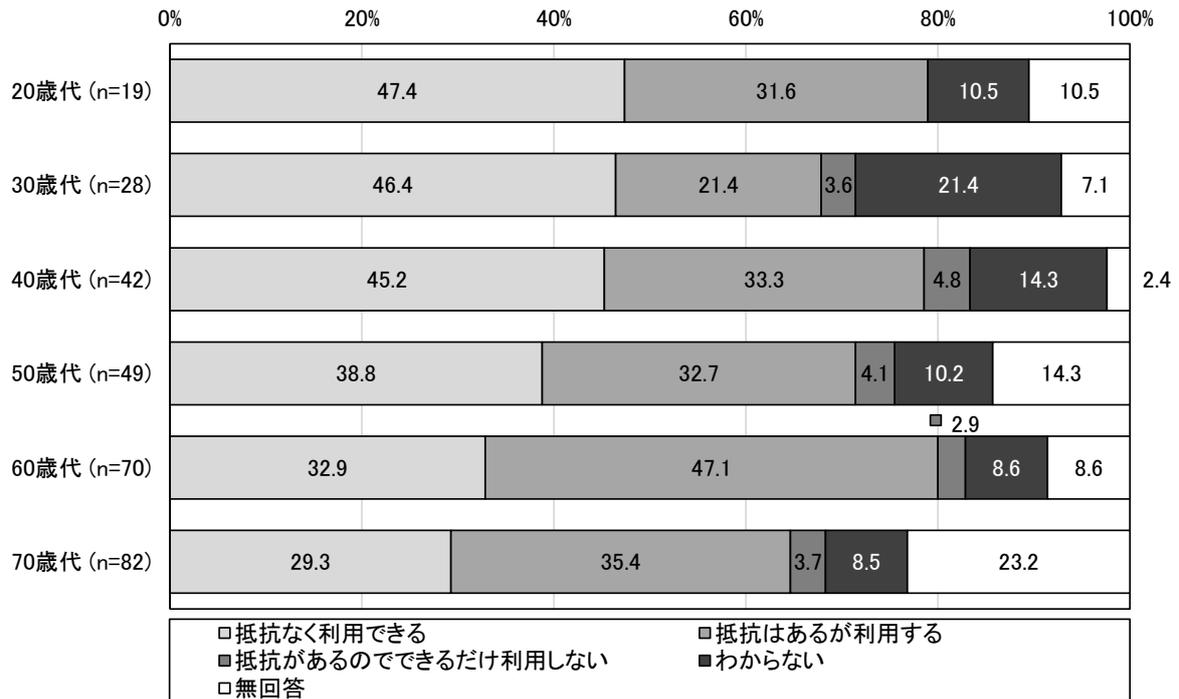
地区別では、「抵抗なく利用できる」が高原地区は42.1%、那須地区は38.5%、伊王野地区は36.4%で最も高く、「抵抗はあるが利用する」が芦野地区は50.0%で最も高くなっています。

福祉への視点別では、「自分の努力や親戚縁者の協力により解決すること」が福祉であると考えている方の中では、「抵抗はあるが利用する」が39.1%、「自己の努力や公の制度だけでなく、住民が協力して支えあうこと」が福祉であると考えている方の中では、「抵抗はあるが利用する」が39.7%、「すべて国や地方自治体（市町村）の責任で行うこと」が福祉であると考えている方の中では、「抵抗なく利用できる」が39.4%で最も高くなっています。

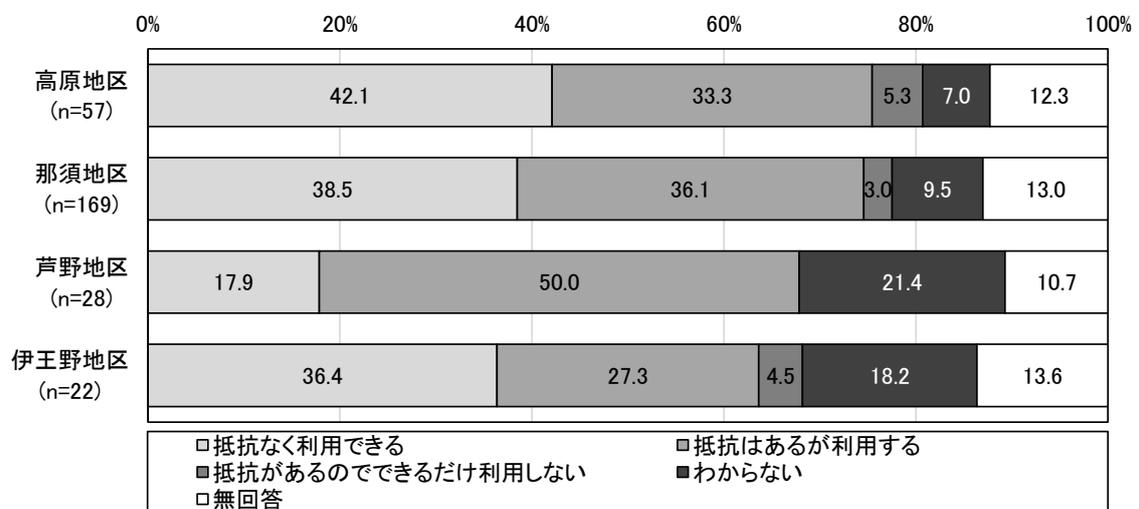
【全体（経年比較）】



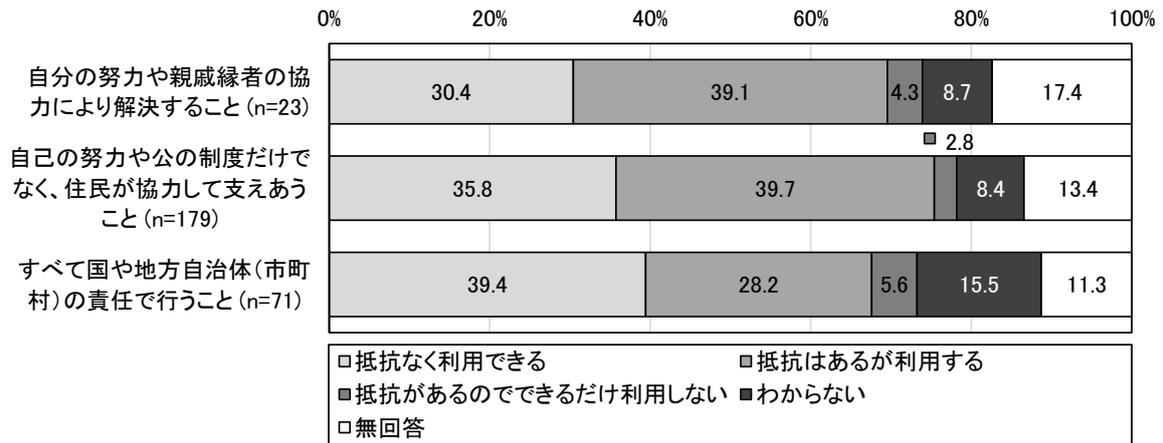
【年齢別】



【地区別】



【福祉への視点別（問5）】



問 19 あなたが今後、財産管理や契約等が難しくなる心配や不安はありますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

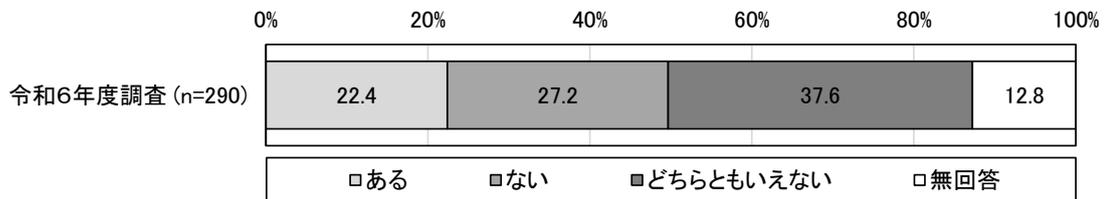
今後、財産管理や契約等が難しくなる心配や不安はあるかについては、「ある」が22.4%、「ない」が27.2%、「どちらともいえない」が37.6%となっています。

年齢別では、「ある」は、20歳代が47.4%で最も高く、次いで50歳代が26.5%、40歳代が26.2%となっており、比較的若い世代が財産管理等に不安を感じている傾向が見られました。

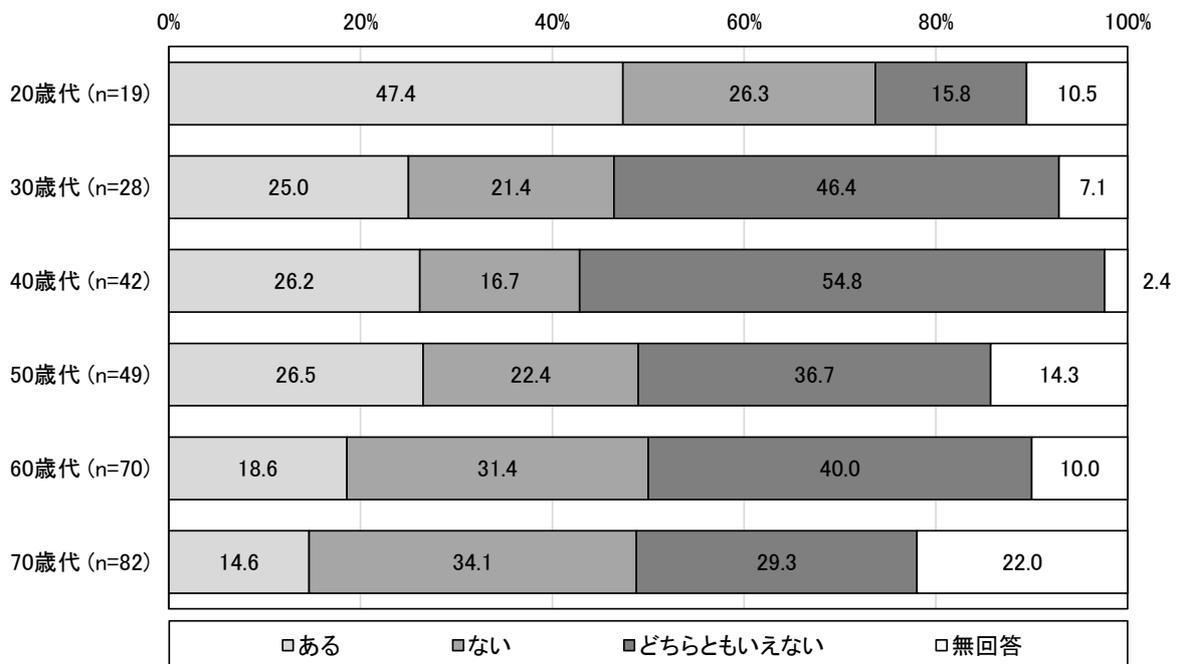
地区別では、「ある」は、芦野地区が32.1%で最も高く、次いで那須地区が24.9%、伊王野地区が18.2%となっています。

孤立感別では、「ある」は、孤立感が「常にある」が41.7%で最も高く、次いで「時々ある」が31.8%、「ほとんどない」が29.9%となっており、孤立感を感じている人ほど、財産管理等に不安を感じている傾向が見られました。

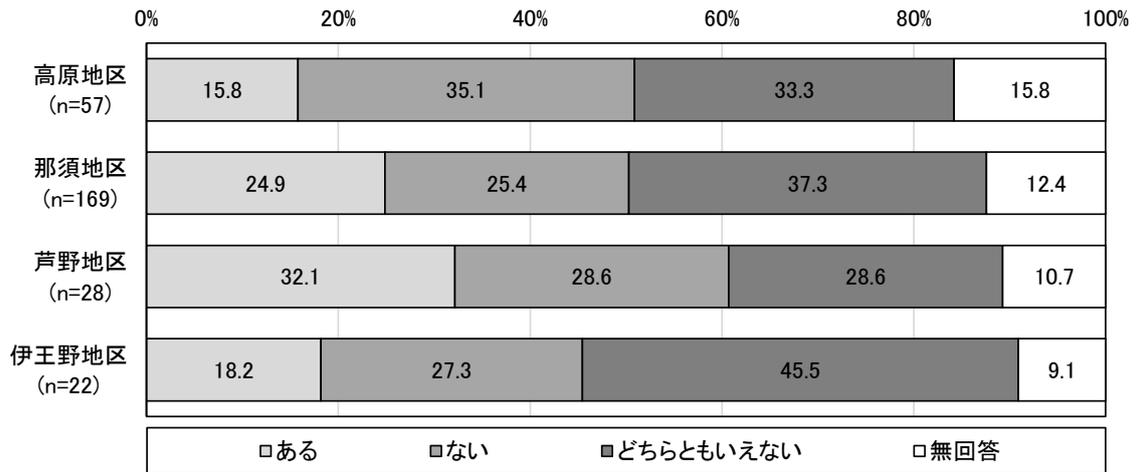
#### 【全体】



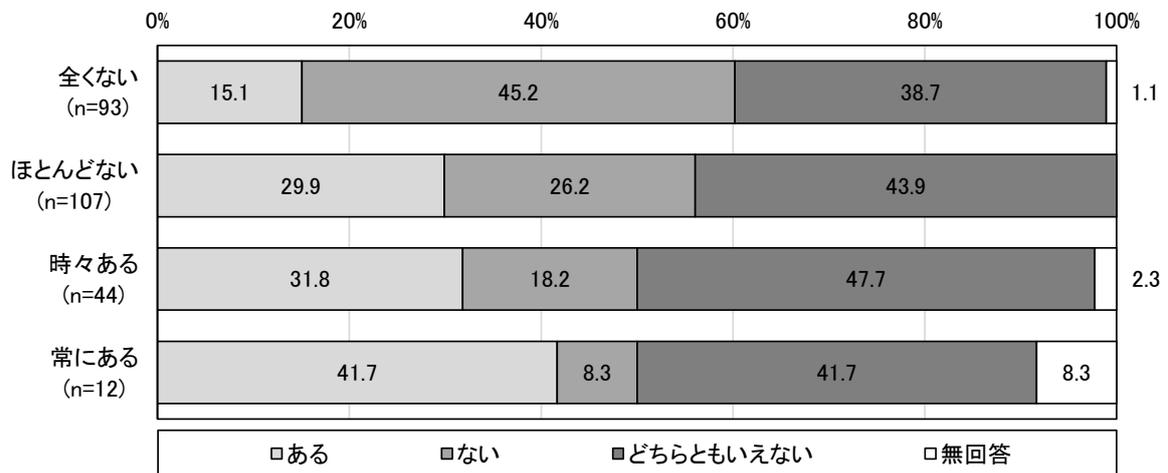
#### 【年齢別】



【地区別】



【孤立感別（問 11）】



問 20 あなたの周りで財産管理や契約等が自分ひとりで判断することが難しくなった方がいた場合、どこに相談すると思いますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

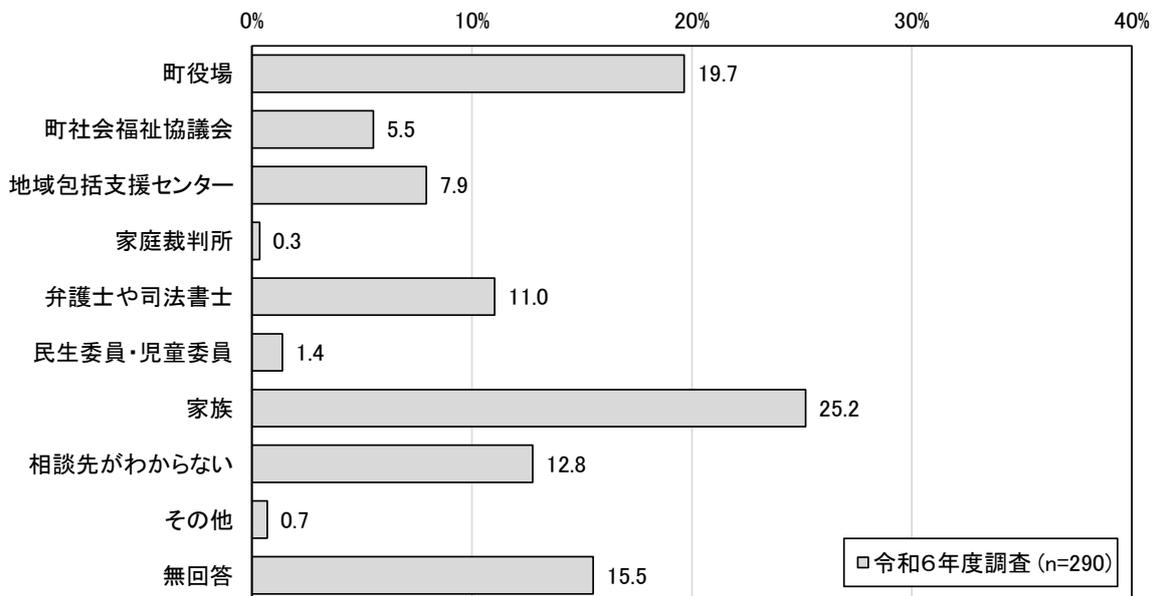
周りで財産管理や契約等が自分ひとりで判断することが難しくなった方がいた場合、どこに相談すると思うかについては、「家族」が25.2%で最も高く、次いで「町役場」が19.7%、「相談先がわからない」が12.8%となっています。

年齢別では、「家族」が20歳代は36.8%、30歳代は35.7%、40歳代は31.0%、50歳代は22.4%、60歳代は22.9%で最も高く、「町役場」が70歳代は22.0%で最も高くなっています。

地区別では、「町役場」が高原地区は21.1%で最も高く、「家族」が那須地区は27.2%、芦野地区は21.4%、伊王野地区は36.4%で最も高くなっています。

また、「家族」と回答した方は、20歳代が36.8%、70歳代が19.5%となっており、高齢になるほど家族に相談しづらくなる傾向が見られました。

【全体】



【年齢別】

	町役場	町社会福祉協議会	地域包括支援センター	家庭裁判所	弁護士や司法書士	民生委員・児童委員	家族
20歳代 (n=19)	10.5	5.3	0.0	0.0	10.5	0.0	36.8
30歳代 (n=28)	25.0	3.6	3.6	0.0	7.1	0.0	35.7
40歳代 (n=42)	14.3	2.4	9.5	0.0	21.4	0.0	31.0
50歳代 (n=49)	20.4	4.1	6.1	0.0	6.1	4.1	22.4
60歳代 (n=70)	20.0	7.1	14.3	0.0	14.3	1.4	22.9
70歳代 (n=82)	22.0	7.3	6.1	1.2	7.3	1.2	19.5
	相談先がわからない	その他	無回答				
20歳代 (n=19)	21.1	0.0	15.8				
30歳代 (n=28)	17.9	0.0	7.1				
40歳代 (n=42)	16.7	0.0	4.8				
50歳代 (n=49)	12.2	4.1	20.4				
60歳代 (n=70)	7.1	0.0	12.9				
70歳代 (n=82)	12.2	0.0	23.2				

【地区別】

	町役場	町社会福祉協議会	地域包括支援センター	家庭裁判所	弁護士や司法書士	民生委員・児童委員	家族
高原地区 (n=57)	21.1	7.0	10.5	0.0	7.0	3.5	19.3
那須地区 (n=169)	20.1	5.3	6.5	0.6	13.0	0.6	27.2
芦野地区 (n=28)	17.9	3.6	14.3	0.0	17.9	0.0	21.4
伊王野地区 (n=22)	18.2	4.5	4.5	0.0	4.5	4.5	36.4
	相談先がわからない	その他	無回答				
高原地区 (n=57)	10.5	1.8	19.3				
那須地区 (n=169)	11.2	0.0	15.4				
芦野地区 (n=28)	14.3	0.0	10.7				
伊王野地区 (n=22)	9.1	4.5	13.6				

問 21 あなたは生活困窮に陥った時にどんなサービスがあったら良いと思いますか。あてはまるものを2つ選んで○で囲んで下さい。(1つでもかまいません)

生活困窮に陥った時にあったら良いと思うサービスについては、「相談機関」が35.9%で最も高く、次いで「住む場所の確保」が31.4%、「食料の配布」が26.9%となっています。

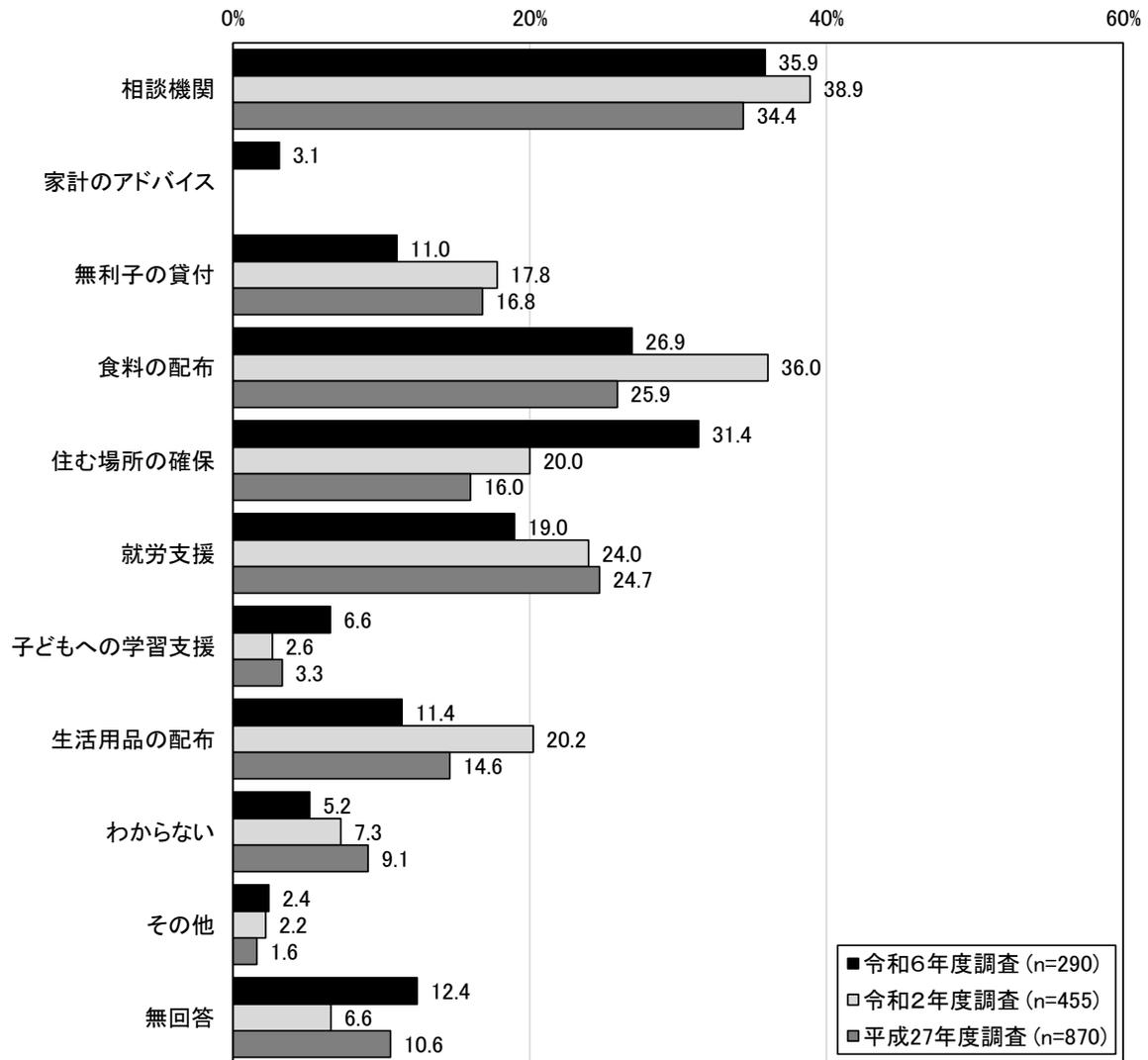
経年比較では、前回調査と比較して「相談機関」が3.0ポイント減少、「住む場所の確保」が11.4ポイント増加、「食料の配布」が9.1ポイント減少しています。

年齢別では、「就労支援」が20歳代は42.1%で最も高く、「住む場所の確保」が30歳代は46.4%、40歳代は38.1%、50歳代は42.9%で最も高くなっています。また、「相談機関」が60歳代は52.9%、70歳代は41.5%で最も高くなっています。

地区別では、高原地区は「相談機関」が45.6%、那須地区は「住む場所の確保」が34.9%、芦野地区は「相談機関」「食料の配布」がともに35.7%、伊王野地区は「食料の配布」が31.8%で最も高くなっています。

孤立感別では、孤立感が「全くない」と回答した人は「住む場所の確保」が39.8%、「ほとんどない」と回答した人は「相談機関」が46.7%、「時々ある」と回答した人は「相談機関」が38.6%、「常にある」と回答した人は「生活用品の配布」が58.3%で最も高くなっています。

【全体（経年比較）】



## 【年齢別】

	相談機関	家計のアドバイス	無利子の貸付	食料の配布	住む場所の確保	就労支援	子どもへの学習支援
20歳代 (n=19)	31.6	0.0	10.5	21.1	26.3	42.1	10.5
30歳代 (n=28)	25.0	0.0	10.7	28.6	46.4	25.0	10.7
40歳代 (n=42)	21.4	2.4	19.0	31.0	38.1	28.6	19.0
50歳代 (n=49)	22.4	2.0	12.2	38.8	42.9	16.3	4.1
60歳代 (n=70)	52.9	4.3	7.1	27.1	27.1	18.6	5.7
70歳代 (n=82)	41.5	4.9	9.8	18.3	20.7	8.5	0.0
	生活用品の配布	わからない	その他	無回答			
20歳代 (n=19)	5.3	10.5	5.3	10.5			
30歳代 (n=28)	14.3	3.6	3.6	7.1			
40歳代 (n=42)	9.5	4.8	4.8	2.4			
50歳代 (n=49)	18.4	6.1	2.0	14.3			
60歳代 (n=70)	5.7	1.4	2.9	8.6			
70歳代 (n=82)	13.4	7.3	0.0	22.0			

## 【地区別】

	相談機関	家計のアドバイス	無利子の貸付	食料の配布	住む場所の確保	就労支援	子どもへの学習支援
高原地区 (n=57)	45.6	5.3	12.3	24.6	28.1	21.1	0.0
那須地区 (n=169)	33.7	3.6	10.7	27.2	34.9	18.9	8.3
芦野地区 (n=28)	35.7	0.0	3.6	35.7	32.1	21.4	10.7
伊王野地区 (n=22)	27.3	0.0	9.1	31.8	22.7	9.1	9.1
	生活用品の配布	わからない	その他	無回答			
高原地区 (n=57)	8.8	3.5	1.8	12.3			
那須地区 (n=169)	11.8	3.6	3.6	11.8			
芦野地区 (n=28)	10.7	7.1	0.0	10.7			
伊王野地区 (n=22)	18.2	13.6	0.0	18.2			

## 【孤立感別 (問 11)】

	相談機関	家計のアドバイス	無利子の貸付	食料の配布	住む場所の確保	就労支援	子どもへの学習支援
全くない (n=93)	36.6	2.2	11.8	32.3	39.8	18.3	9.7
ほとんどない (n=107)	46.7	4.7	14.0	31.8	36.4	19.6	5.6
時々ある (n=44)	38.6	4.5	6.8	27.3	22.7	29.5	9.1
常にある (n=12)	25.0	0.0	25.0	16.7	41.7	33.3	0.0
	生活用品の配布	わからない	その他	無回答			
全くない (n=93)	11.8	5.4	3.2	0.0			
ほとんどない (n=107)	10.3	3.7	0.9	1.9			
時々ある (n=44)	9.1	13.6	6.8	0.0			
常にある (n=12)	58.3	0.0	0.0	0.0			

## 7. 災害時の対応について

問 22 あなたは災害時に避難する場所を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

災害時に避難する場所の認知度については、「知っている」が72.4%、「知らない」が26.2%となっています。

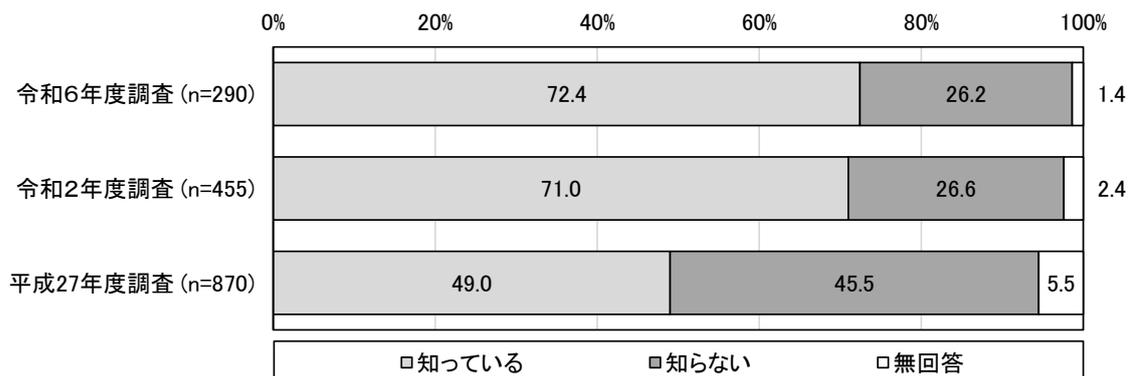
経年比較では、前回調査と比較して「知っている」が1.4ポイント増加、「知らない」が0.4ポイント減少しています。

年齢別では、「知っている」は、70歳代が79.3%で最も高く、次いで60歳代が77.1%、20歳代が68.4%となっています。

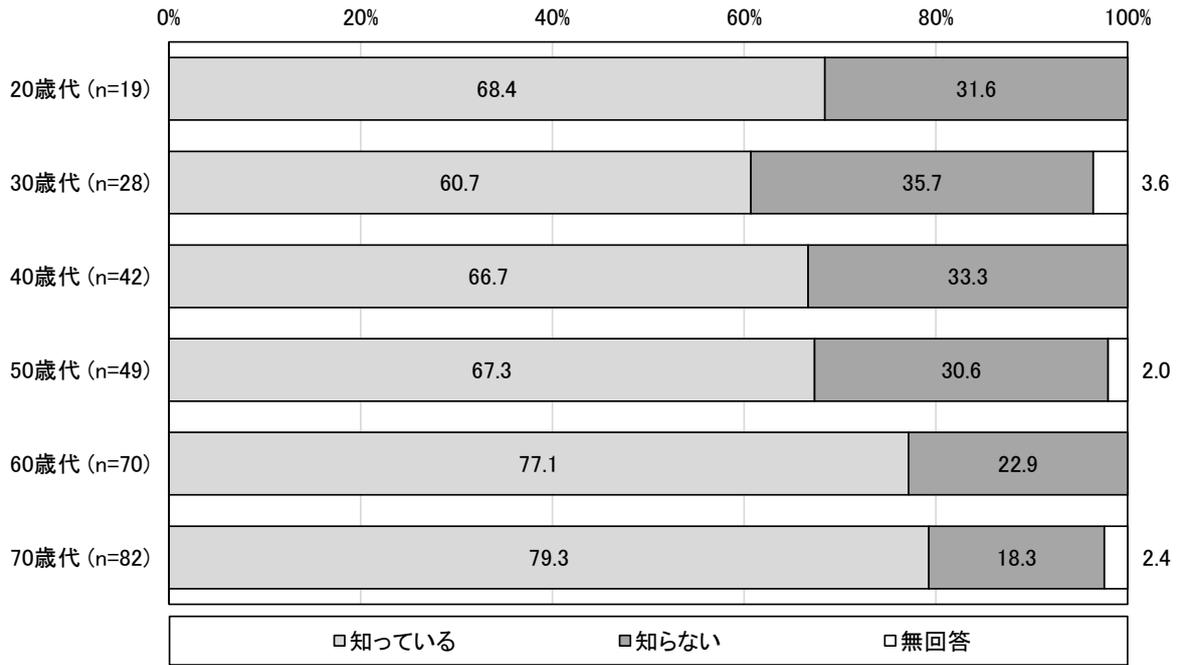
地区別では、「知っている」は、伊王野地区が86.4%で最も高く、次いで高原地区が84.2%、芦野地区が78.6%となっています。

孤立感別では、「知っている」は、孤立感が「全くない」が78.5%で最も高く、次いで「ほとんどない」が75.7%、「時々ある」が61.4%となっています。

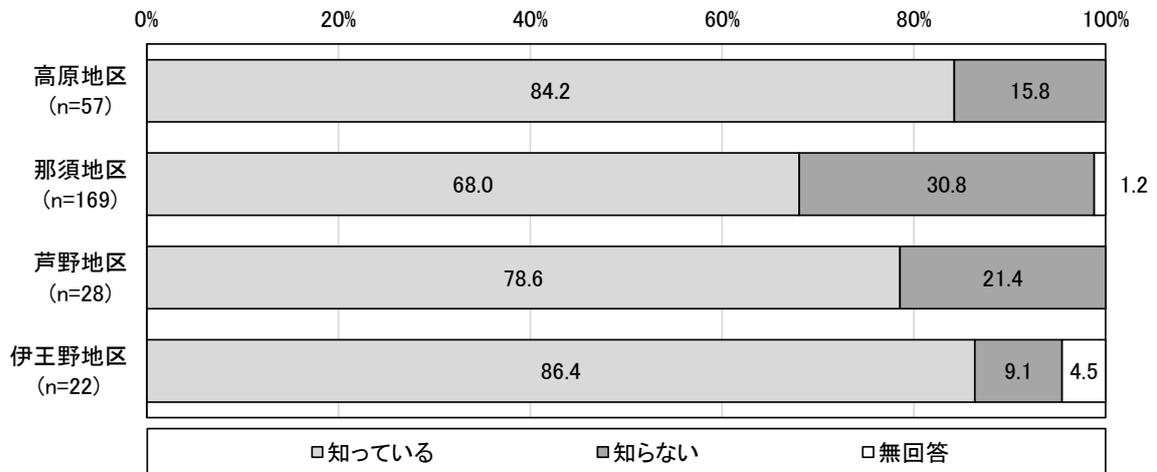
【全体（経年比較）】



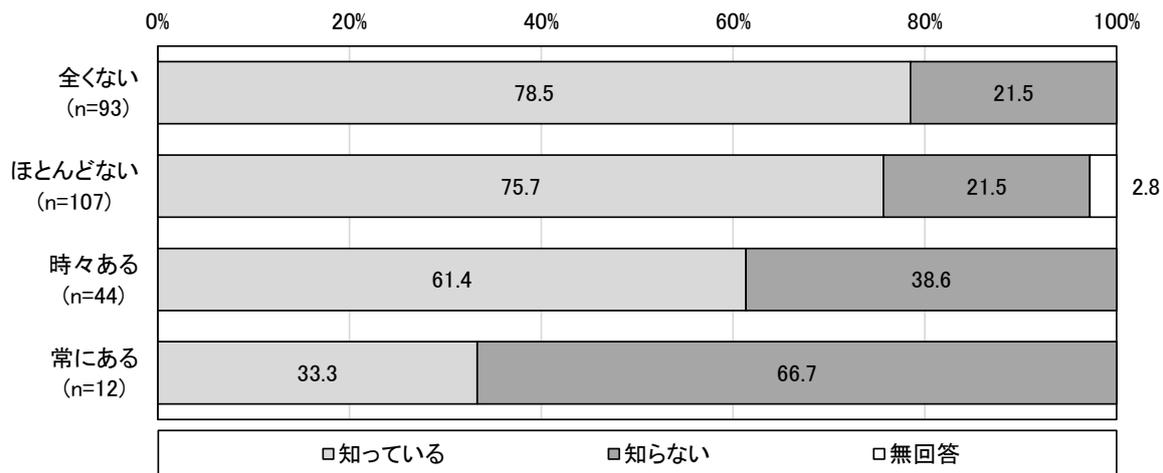
【年齢別】



【地区別】



【孤立感別（問 11）】



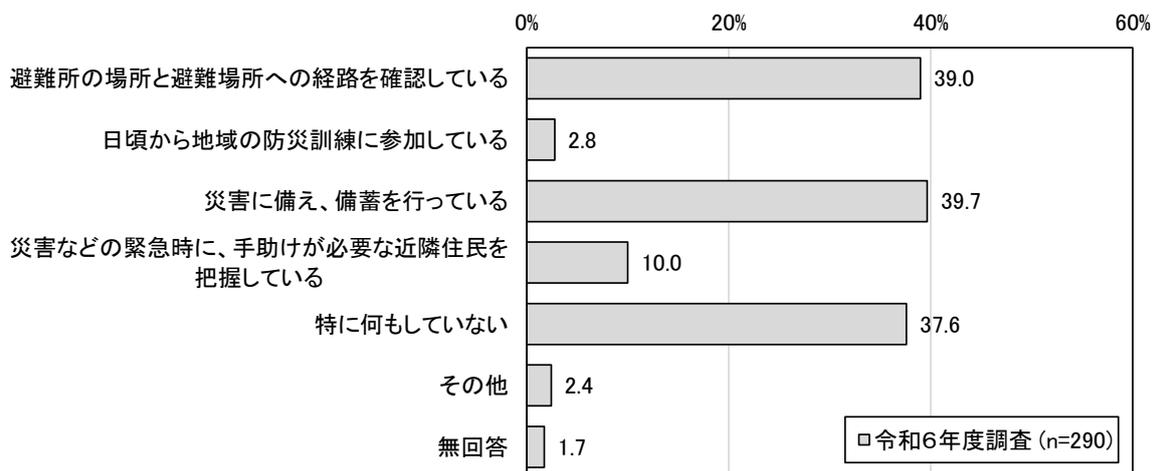
問 23 あなたは災害時に備えて、どのような取組みをしていますか。あてはまるものをすべて○で囲んで下さい。

災害時に備えて、どのような取組みをしているかについては、「災害に備え、備蓄を行っている」が39.7%で最も高く、次いで「避難所の場所と避難場所への経路を確認している」が39.0%、「特に何もしていない」が37.6%となっています。

年齢別では、20歳代は「災害に備え、備蓄を行っている」「特に何もしていない」がともに42.1%で最も高く、30歳代は「災害に備え、備蓄を行っている」が53.6%、40歳代は「災害に備え、備蓄を行っている」が47.6%、50歳代は「特に何もしていない」が49.0%、60歳代は「避難所の場所と避難場所への経路を確認している」が44.3%、70歳代は「避難所の場所と避難場所への経路を確認している」が40.2%で最も高くなっています。

地区別では、那須地区を除いたすべての地区は「避難所の場所と避難場所への経路を確認している」が最も高く、那須地区は「特に何もしていない」が最も高くなっています。

【全体】



【年齢別】

	避難所の場所と避難場所への経路を確認している	日頃から地域の防災訓練に参加している	災害に備え、備蓄を行っている	災害などの緊急時に、手助けが必要な近隣住民を把握している	特に何もしていない	その他	無回答
20歳代 (n=19)	26.3	5.3	42.1	0.0	42.1	0.0	0.0
30歳代 (n=28)	42.9	0.0	53.6	0.0	21.4	7.1	3.6
40歳代 (n=42)	40.5	7.1	47.6	7.1	28.6	7.1	2.4
50歳代 (n=49)	30.6	0.0	32.7	10.2	49.0	0.0	2.0
60歳代 (n=70)	44.3	2.9	34.3	11.4	38.6	1.4	0.0
70歳代 (n=82)	40.2	2.4	39.0	15.9	39.0	1.2	2.4

【地区別】

	避難所の場所と避難場所への経路を確認している	日頃から地域の防災訓練に参加している	災害に備え、備蓄を行っている	災害などの緊急時に、手助けが必要な近隣住民を把握している	特に何もしていない	その他	無回答
高原地区 (n=57)	50.9	1.8	47.4	12.3	29.8	1.8	0.0
那須地区 (n=169)	33.1	4.1	39.1	8.3	39.6	3.0	2.4
芦野地区 (n=28)	50.0	0.0	39.3	17.9	32.1	3.6	0.0
伊王野地区 (n=22)	59.1	0.0	40.9	13.6	27.3	0.0	0.0

## 8. 那須町の将来について

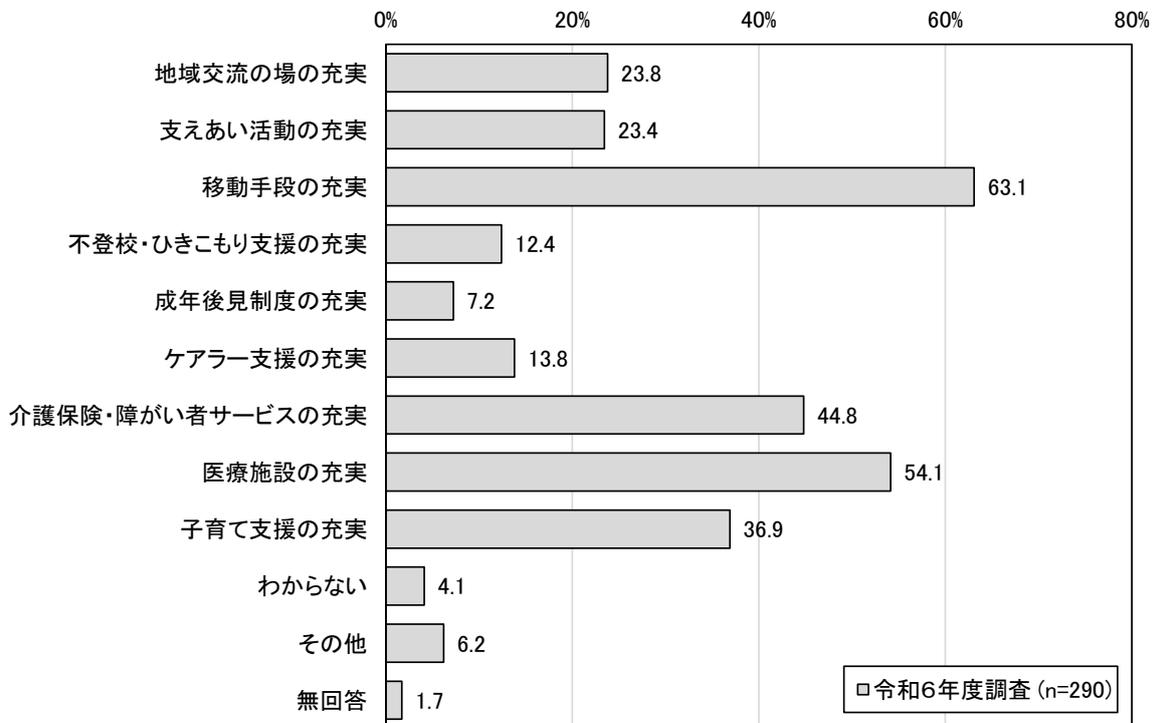
問 24 あなたは那須町が暮らしやすくなるためには、何が充実すればいいと思いますか。あてはまるものをすべて○で囲んで下さい。

那須町が暮らしやすくなるためには、何が充実すればいいと思うかについては、「移動手段の充実」が63.1%で最も高く、次いで「医療施設の充実」が54.1%、「介護保険・障がい者サービスの充実」が44.8%となっています。

年齢別では、「移動手段の充実」が20歳代は73.7%、40歳代は61.9%、50歳代は63.3%、60歳代は67.1%、70歳代は59.8%で最も高く、「子育て支援の充実」が30歳代は75.0%で最も高くなっています。

地区別では、「移動手段の充実」がすべての地区で最も高くなっています。

【全体】



【年齢別】

	地域交流の場の充実	支えあい活動の充実	移動手段の充実	不登校・ひきこもり支援の充実	成年後見制度の充実	ケアラー支援の充実	介護保険・障がい者サービスの充実
20歳代 (n=19)	26.3	36.8	73.7	26.3	15.8	26.3	52.6
30歳代 (n=28)	17.9	14.3	57.1	17.9	3.6	10.7	17.9
40歳代 (n=42)	14.3	19.0	61.9	16.7	4.8	14.3	45.2
50歳代 (n=49)	18.4	18.4	63.3	12.2	8.2	14.3	38.8
60歳代 (n=70)	27.1	25.7	67.1	7.1	7.1	8.6	57.1
70歳代 (n=82)	30.5	26.8	59.8	9.8	7.3	15.9	45.1
	医療施設の充実	子育て支援の充実	わからない	その他	無回答		
20歳代 (n=19)	57.9	47.4	0.0	5.3	0.0		
30歳代 (n=28)	46.4	75.0	3.6	7.1	3.6		
40歳代 (n=42)	54.8	45.2	2.4	11.9	0.0		
50歳代 (n=49)	61.2	32.7	8.2	6.1	2.0		
60歳代 (n=70)	52.9	32.9	4.3	4.3	1.4		
70歳代 (n=82)	52.4	23.2	3.7	4.9	2.4		

【地区別】

	地域交流の場の充実	支えあい活動の充実	移動手段の充実	不登校・ひきこもり支援の充実	成年後見制度の充実	ケアラー支援の充実	介護保険・障がい者サービスの充実
高原地区 (n=57)	33.3	26.3	75.4	8.8	10.5	8.8	47.4
那須地区 (n=169)	22.5	23.1	58.6	16.6	6.5	16.0	46.2
芦野地区 (n=28)	17.9	25.0	71.4	7.1	10.7	17.9	46.4
伊王野地区 (n=22)	22.7	13.6	68.2	4.5	4.5	13.6	40.9
	医療施設の充実	子育て支援の充実	わからない	その他	無回答		
高原地区 (n=57)	50.9	28.1	3.5	3.5	0.0		
那須地区 (n=169)	54.4	40.8	4.1	5.3	2.4		
芦野地区 (n=28)	60.7	39.3	3.6	7.1	0.0		
伊王野地区 (n=22)	63.6	36.4	0.0	9.1	0.0		

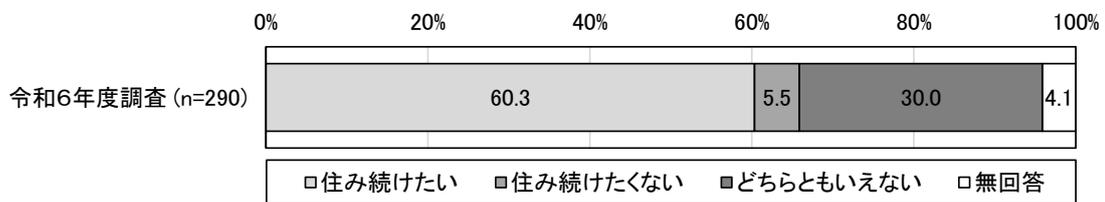
問 25 あなたは将来も那須町に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。また、その理由をお聞かせ下さい。

将来も那須町に住み続けたいと思うかについては、「住み続けたい」が60.3%、「住み続けたくない」が5.5%、「どちらともいえない」が30.0%となっています。

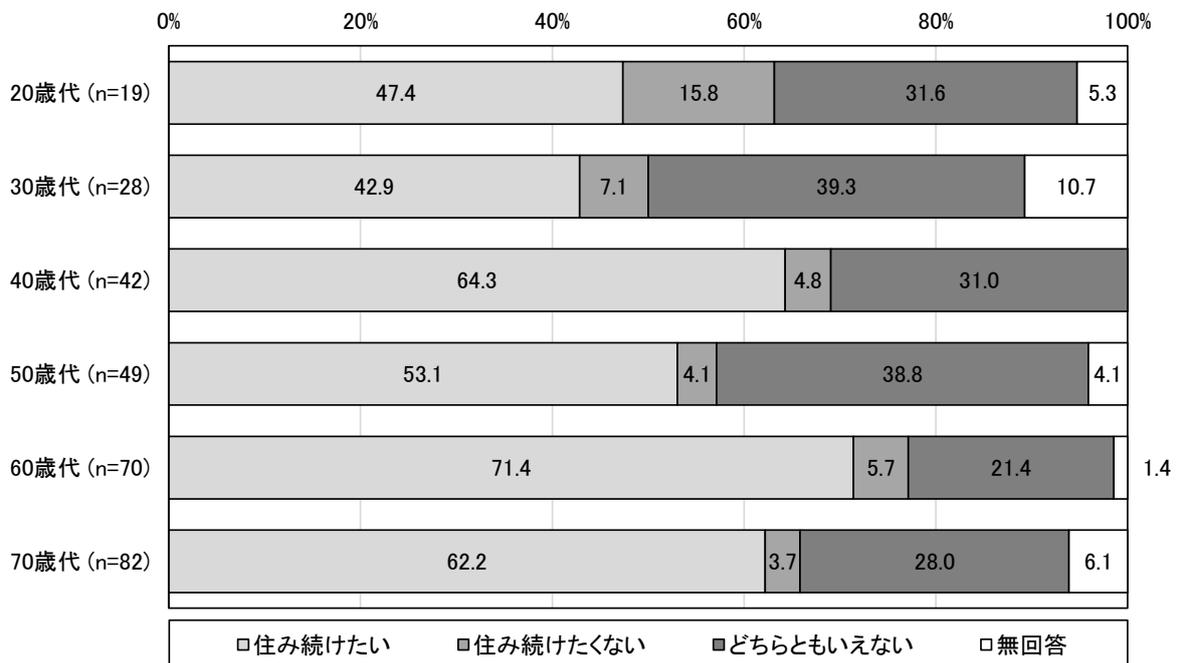
年齢別では、「住み続けたい」は、60歳代が71.4%で最も高く、次いで40歳代が64.3%、70歳代が62.2%となっています。

地区別では、「住み続けたい」は、伊王野地区が68.2%で最も高く、次いで高原地区が66.7%、那須地区が59.8%となっています。

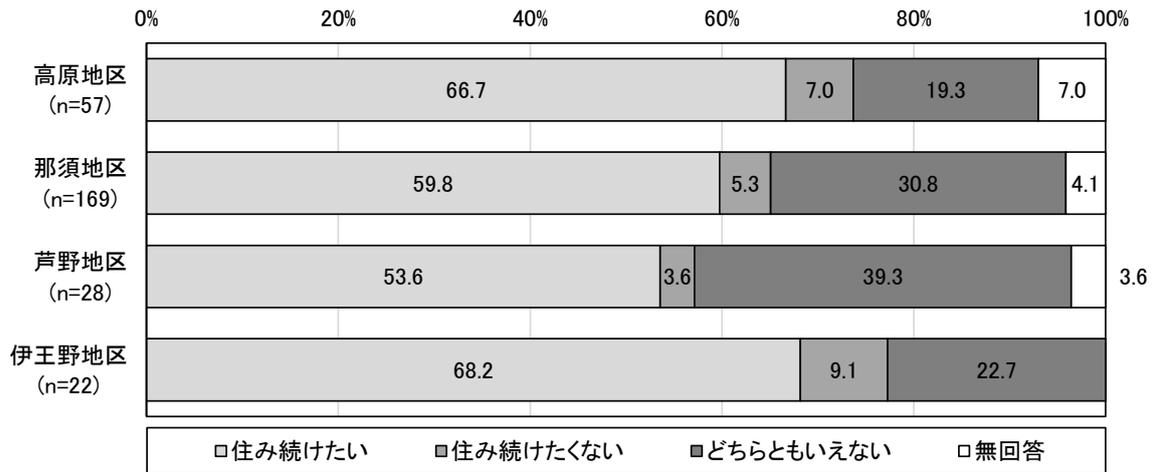
#### 【全体】



#### 【年齢別】



【地区別】



住み続けたいと思う理由については、全体で 133 件の意見があり、「自然環境を気に入っている・愛着がある」が 44 件で最も多く、次いで「生まれ故郷・家族・友人がいる」が 25 件、「住民との交流・土地柄を気に入っている」が 10 件となっています。

住み続けたいと思う理由	件数
自然環境を気に入っている・愛着がある	44
生まれ故郷・家族・友人がいる	25
住民との交流・土地柄を気に入っている	10
土地・持家があるため	9
生活しやすい	9
移住してきたため長く住み続けたい	7
治安が良い・災害が少ない	6
高齢のため他地域へは行けない	5
仕事がある	4
移住は面倒・余裕がない	4
(住み続けたいと思うが) 公共交通、商業施設等の整備が遅れている	4
(住み続けたいと思うが) 地域の間人関係や活動が負担である	2
家族や自分のライフスタイルの変化による	1
町政への要望	1
(住み続けたいと思うが) 免許返納後の移動手段や生活に不安を感じるため	1
特になし	1
合計	133

住み続けたくないと思う理由については、全体で 14 件の意見があり、「公共交通、商業施設等の整備が遅れている」が 6 件で最も多く、次いで「地域の間人関係や活動が負担である」が 3 件、「免許返納後の移動手段や生活に不安を感じるため」が 2 件となっています。

住み続けたくないと思う理由	件数
公共交通、商業施設等の整備が遅れている	6
地域の間人関係や活動が負担である	3
免許返納後の移動手段や生活に不安を感じるため	2
町政への要望	1
町の活性化・魅力が欲しい	1
医療機関が少ない	1
合計	14



## V 調査結果 福祉サービス利用者の意識調査

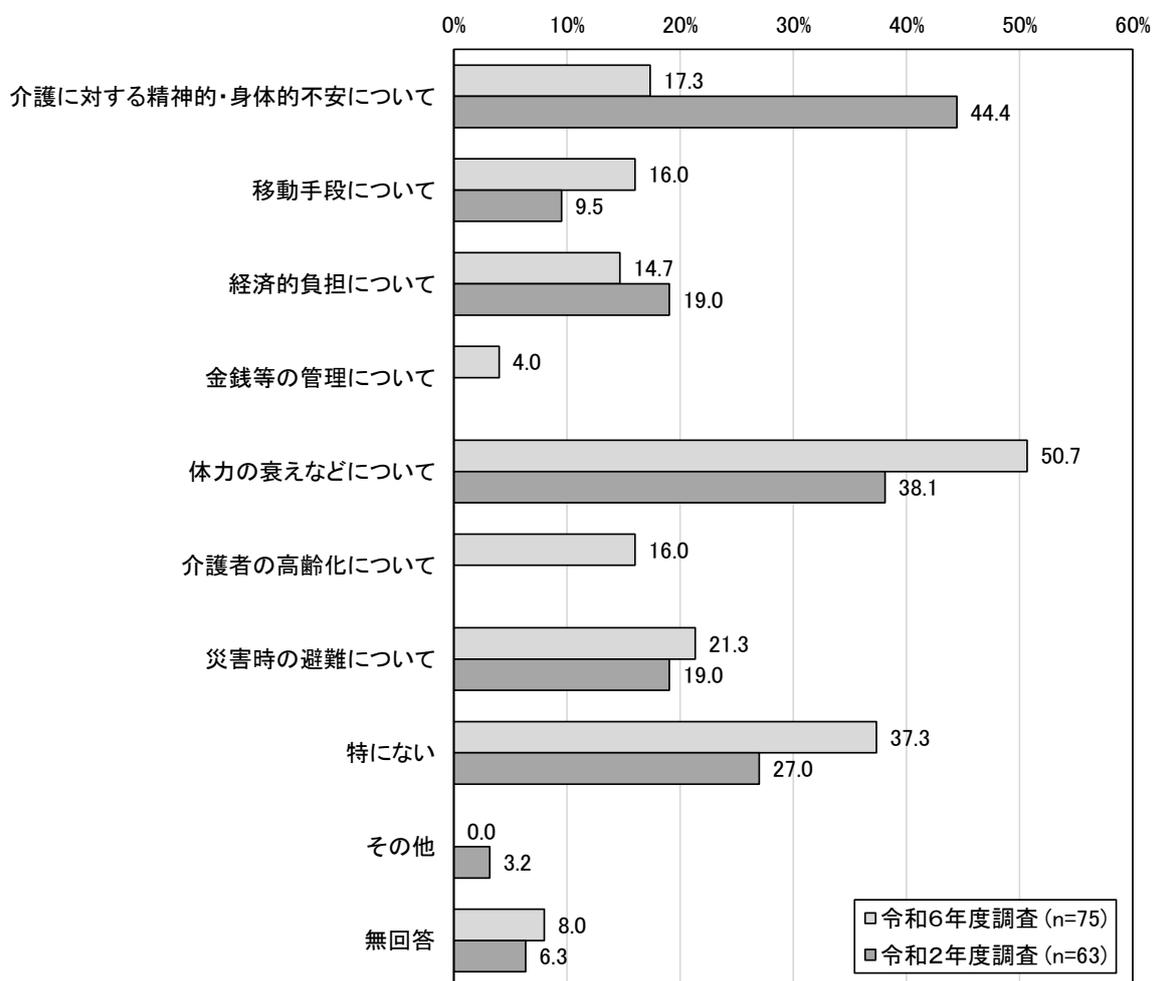


## V 調査結果 福祉サービス利用者の意識調査

問1 毎日の生活の中で、困っていること、不便に感じることはありませんか。あてはまるものすべてを選び番号を○で囲んでください。

毎日の生活の中で、困っていること、不便に感じることについては、「体力の衰えなどについて」が50.7%で最も高く、次いで「特にない」が37.3%、「災害時の避難について」が21.3%となっています。

経年比較では、前回調査と比較して「体力の衰えなどについて」が12.6ポイント増加、「特にない」が10.3ポイント増加、「災害時の避難について」が2.3ポイント増加しています。



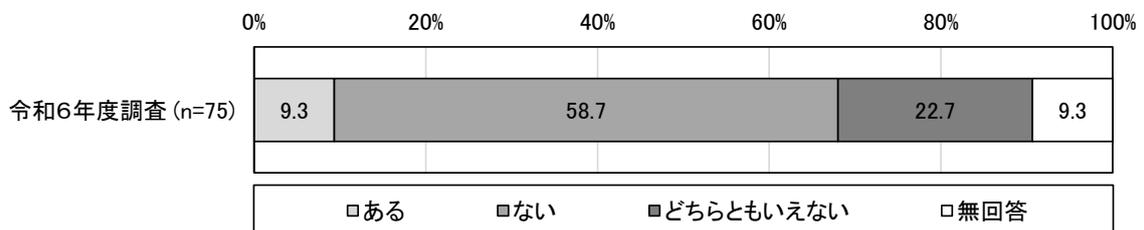
**問2 それらを解決するためには、どのような支援やサービスがあれば良いと思いますか。**

毎日の生活の中で、困っていること、不便に感じることを解決するためには、どのような支援やサービスがあれば良いと思うかについては、全体で26件の意見があり、「施設・介護サービスの充実」が6件で最も多く、次いで「リハビリ等サービスの提供」「医療費・介護費用等の経済的支援」が4件、「移動支援」が3件となっています。

意見	件数
施設・介護サービスの充実	6
リハビリ等サービスの提供	4
医療費・介護費用等の経済的支援	4
移動支援	3
医療機関の充実	2
相談窓口の充実	1
定期的な見守り	1
災害時の避難支援	1
その他	2
特になし	2
合計	26

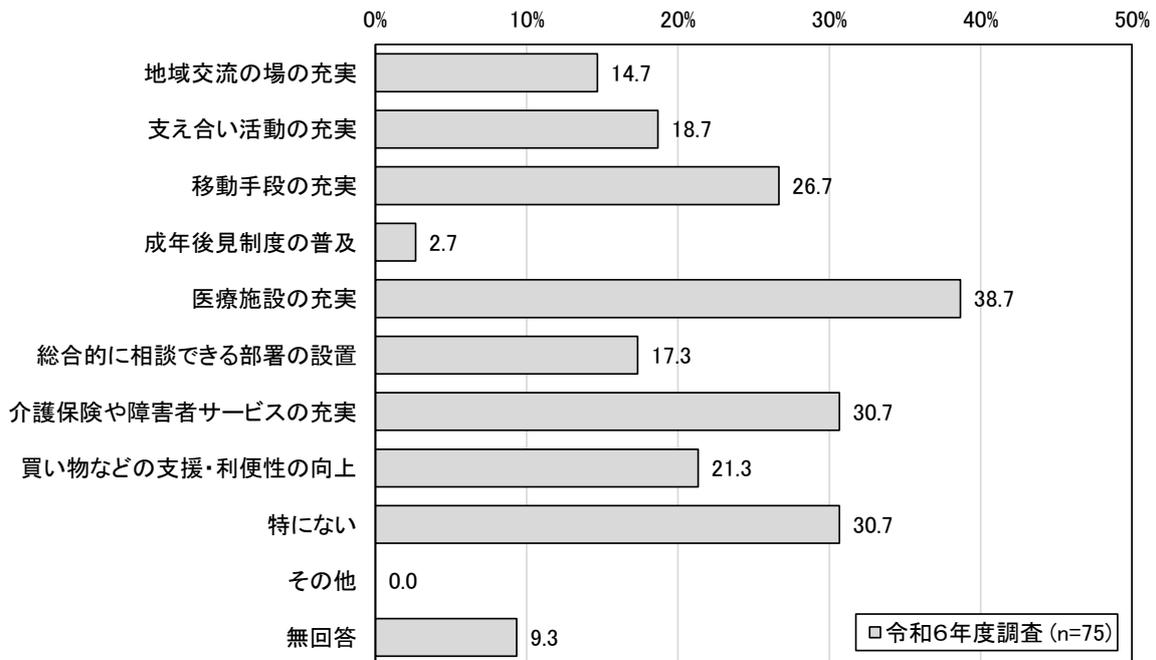
**問3 今後、財産管理や契約等が難しくなる心配や不安はありますか。あてはまるものを1つ選び番号を○で囲んでください。**

今後、財産管理や契約等が難しくなる心配や不安はあるかについては、「ある」が9.3%、「ない」が58.7%、「どちらともいえない」が22.7%となっています。



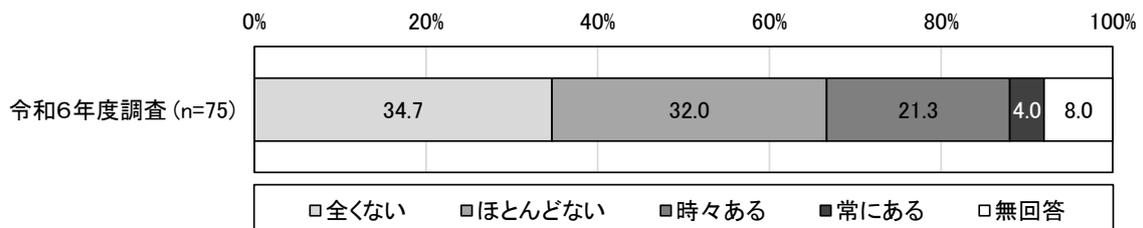
問4 那須町を暮らしやすく、住んでいて楽しい町にするためにはどうすれば良いと思いますか。あてはまるものをすべて選び番号を○で囲んでください。

那須町を暮らしやすく、住んでいて楽しい町にするためにはどうすれば良いと思うかについては、「医療施設の充実」が38.7%で最も高く、次いで「介護保険や障害者サービスの充実」「特にない」がともに30.7%、「移動手段の充実」が26.7%となっています。



問5 あなたは、孤立していると感じることがありますか。あてはまるものを1つ選び番号を○で囲んでください。

孤立していると感じることがあるかについては、「全くない」「ほとんどない」を合算した『感じることがない』は66.7%、「時々ある」「常にある」を合算した『感じることがある』は25.3%と『感じることがない』が41.4ポイント高くなっています。





## VI 調査結果 障がい者の意識調査

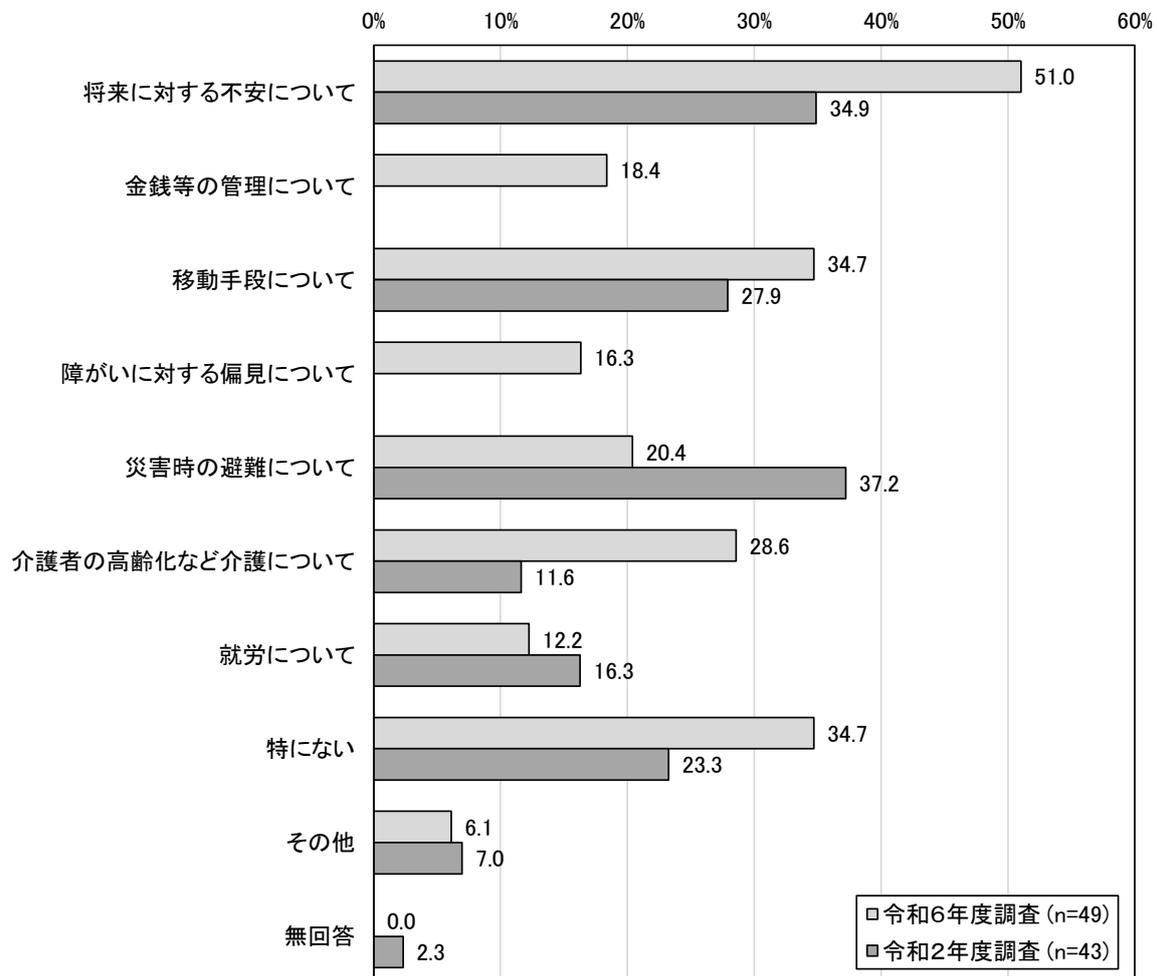


## VI 調査結果 障がい者の意識調査

問1 毎日の生活の中で、困っていること、不便に感じることはありませんか。あてはまるものすべてを選び番号を○で囲んでください。

毎日の生活の中で、困っていること、不便に感じることについては、「将来に対する不安について」が51.0%で最も高く、次いで「移動手段について」「特にない」がともに34.7%、「介護者の高齢化など介護について」が28.6%となっています。

経年比較では、前回調査と比較して「将来に対する不安について」が16.1ポイント増加、「移動手段について」が6.8ポイント増加、「特にない」が11.4ポイント増加、「介護者の高齢化など介護について」が17.0ポイント増加しています。



問2 それらを解決するためには、どのような支援やサービスがあれば良いと思いますか。
---

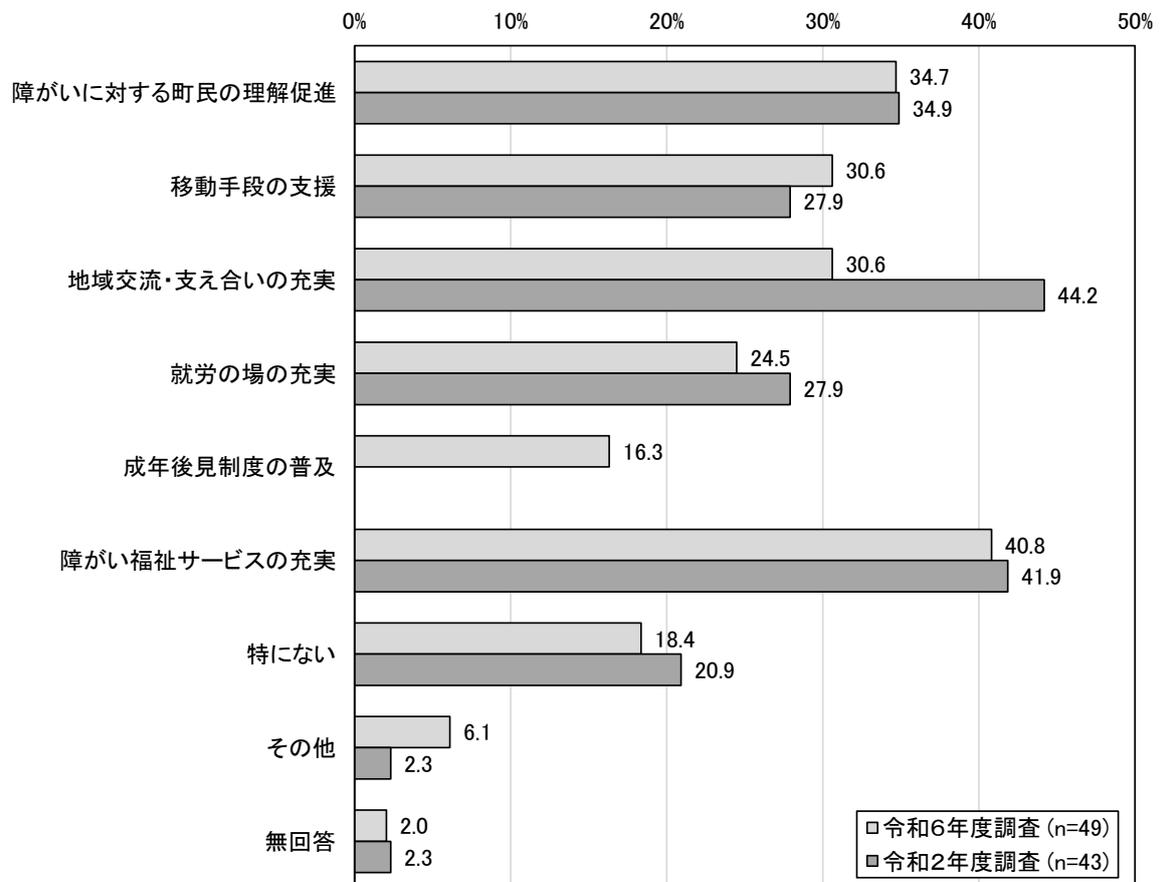
毎日の生活の中で、困っていること、不便に感じることを解決するためには、どのような支援やサービスがあれば良いと思うかについては、全体で33件の意見があり、「交通手段の充実」が5件で最も多く、次いで「サービスの充実・切れ目のない支援」「雇用の充実」「入所施設の充実」が4件、「経済的支援」「相談支援体制の充実」が3件となっています。

意見	件数
交通手段の充実	5
サービスの充実・切れ目のない支援	4
雇用の充実	4
入所施設の充実	4
経済的支援	3
相談支援体制の充実	3
地域住民との交流の機会	2
住宅のリフォーム	2
災害時の障がい者への対応	1
医療体制の充実	1
自立支援について	1
わからない	2
特になし	1
合計	33

問3 那須町を暮らしやすく、住んでいて楽しい町にするためにはどうすれば良いと思いますか。あてはまるものをすべて選び番号を○で囲んでください。

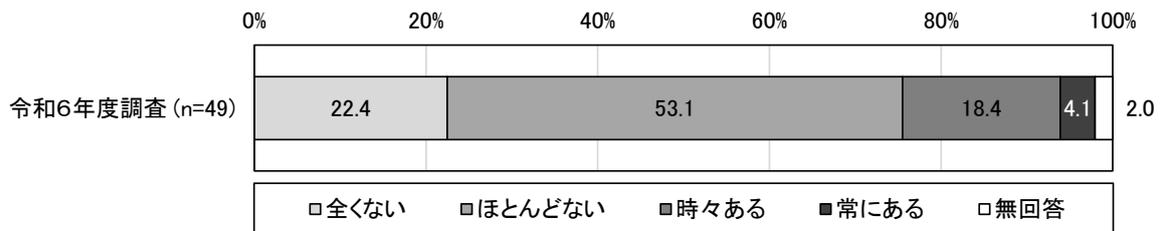
那須町を暮らしやすく、住んでいて楽しい町にするためにはどうすれば良いと思うかについては、「障がい福祉サービスの充実」が40.8%で最も高く、次いで「障がいに対する町民の理解促進」が34.7%、「移動手段の支援」「地域交流・支え合いの充実」がともに30.6%となっています。

経年比較では、前回調査と比較して「障がい福祉サービスの充実」が1.1ポイント減少、「障がいに対する町民の理解促進」が0.2ポイント減少、「移動手段の支援」が2.7ポイント増加、「地域交流・支え合いの充実」が13.6ポイント減少しています。



問4 あなたは、孤立していると感じることがありますか。あてはまるものを1つ選び番号を○で囲んでください。

孤立していると感じることがあるかについては、「全くない」「ほとんどない」を合算した『感じることはない』は75.5%、「時々ある」「常にある」を合算した『感じるがある』は22.5%と『感じることはない』が53.0ポイント高くなっています。



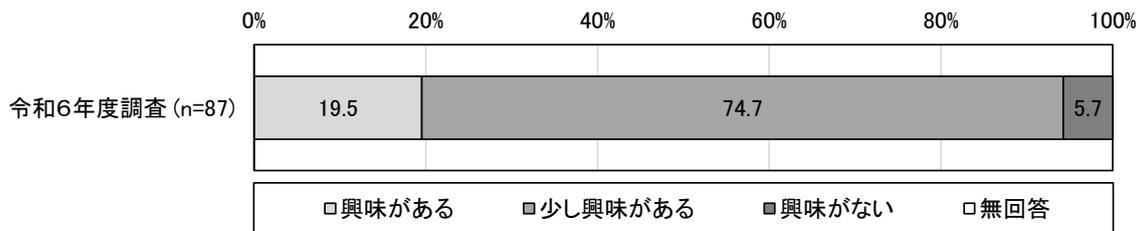
## Ⅶ 調査結果 中学生の意識調査



## VII 調査結果 中学生の意識調査

問1 あなたは地域の行事に興味がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

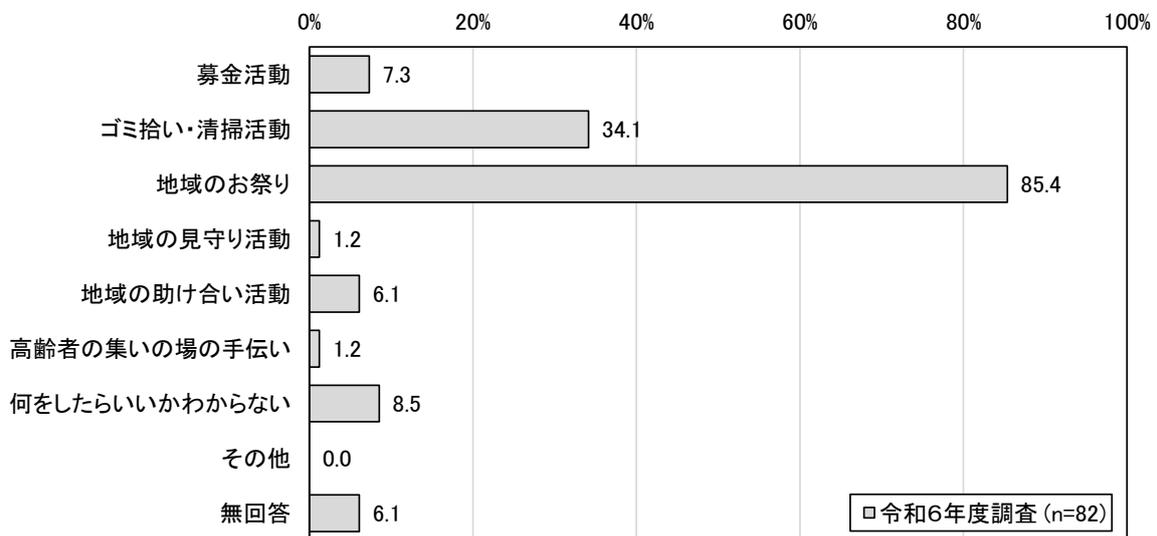
地域の行事に興味があるかについては、「興味がある」が19.5%、「少し興味がある」が74.7%、「興味がない」が5.7%となっています。



問1で「興味がある」「少し興味がある」とお答えになった方におたずねします。

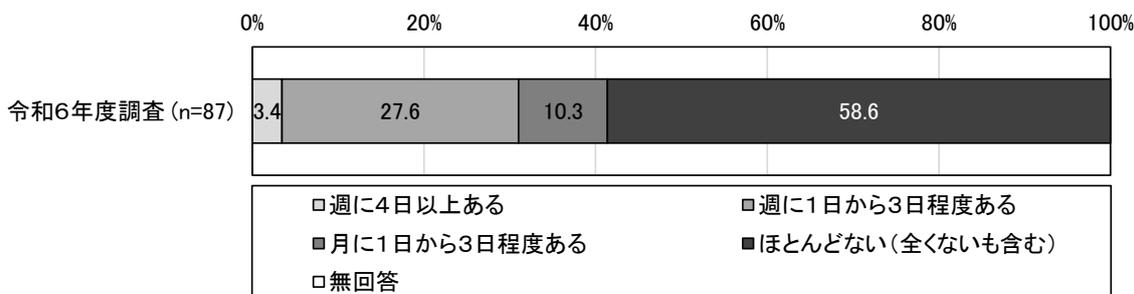
問2 どんな地域活動に参加したいですか。あてはまるものをすべて選んでください。

どんな地域活動に参加したいかについては、「地域のお祭り」が85.4%で最も高く、次いで「ゴミ拾い・清掃活動」が34.1%、「何をしたらいいかわからない」が8.5%となっています。



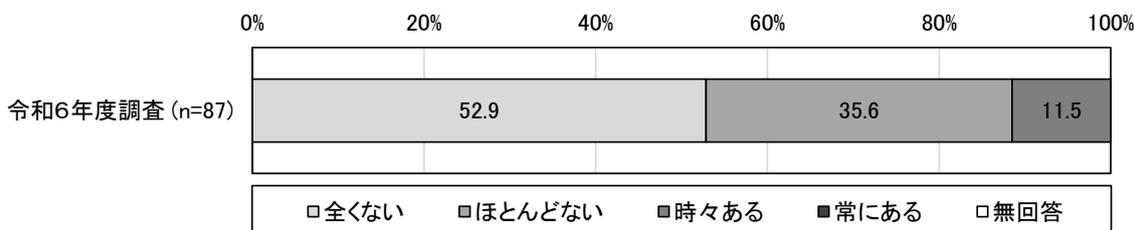
**問3 あなたは、家族の代わりに家の掃除やご飯の支度、兄弟等の世話のため自分の時間がなくなる  
ことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。**

家族の代わりに家の掃除やご飯の支度、兄弟等の世話のため自分の時間がなくなることがあるかについては、「ほとんどない（全くないも含む）」が58.6%で最も高く、次いで「週に1日から3日程度ある」が27.6%、「月に1日から3日程度ある」が10.3%となっています。



**問4 あなたは、孤立していると感じることがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。**

孤立していると感じることがあるかについては、「全くない」「ほとんどない」を合算した『感じることがない』は88.5%、「時々ある」「常にある」を合算した『感じることがある』は11.5%と『感じることがない』が77.0ポイント高くなっています。



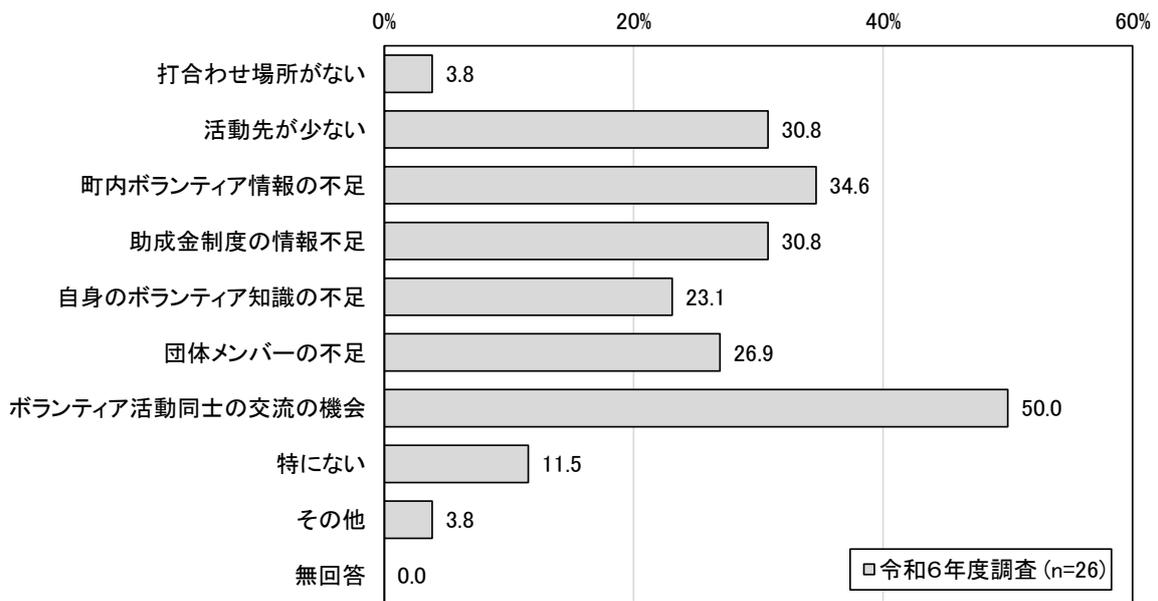
## VIII 調査結果 ボランティアの意識調査



## VIII 調査結果 ボランティアの意識調査

問1 あなたがボランティア活動をするにあたり、課題だと感じていることはありますか。あてはまるものを選び番号を○で囲んでください（いくつ選んでも構いません）。

ボランティア活動をするにあたり、課題だと感じていることについては、「ボランティア活動同士の交流の機会」が50.0%で最も高く、次いで「町内ボランティア情報の不足」が34.6%、「活動先が少ない」「助成金制度の情報不足」がともに30.8%となっています。



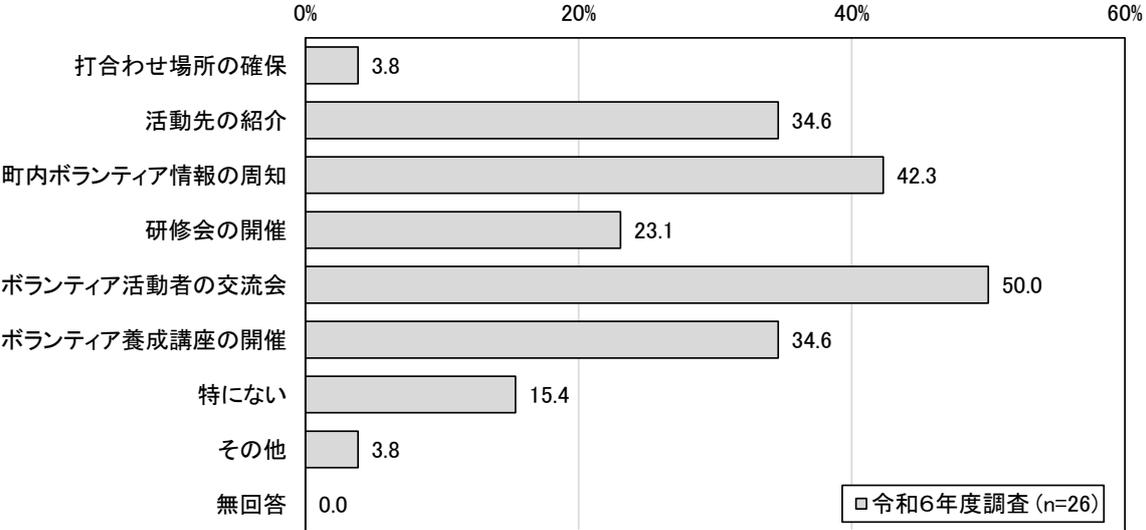
**問2 それらを解決するためには、どのような支援やサービスがあれば良いと思いますか。**

ボランティア活動をするにあたり、課題だと感じていることを解決するために、どのような支援やサービスがあれば良いと思うかについては、全体で 23 件の意見があり、「ボランティア活動周知のための広報・メンバー募集」が 10 件で最も多く、次いで「行政が主となり活動を進める」「助成金等の活動資金支援」が 3 件、「ボランティア活動同士の協力、情報提供」が 2 件となっています。

意見	件数
ボランティア活動周知のための広報・メンバー募集	10
行政が主となり活動を進める	3
助成金等の活動資金支援	3
ボランティア活動同士の協力、情報提供	2
地域資源の活用	1
ボランティア活動時の送迎	1
支援相手との意思疎通	1
活動の事前打ち合わせや振り返りの時間の確保	1
特になし	1
合計	23

**問3 那須町ボランティアセンターに期待することは何ですか。あてはまるものを選び番号を○で囲んでください（いくつ選んでも構いません）。**

那須町ボランティアセンターに期待することについては、「ボランティア活動者の交流会」が 50.0%で最も高く、次いで「町内ボランティア情報の周知」が 42.3%、「活動先の紹介」「ボランティア養成講座の開催」がともに 34.6%となっています。



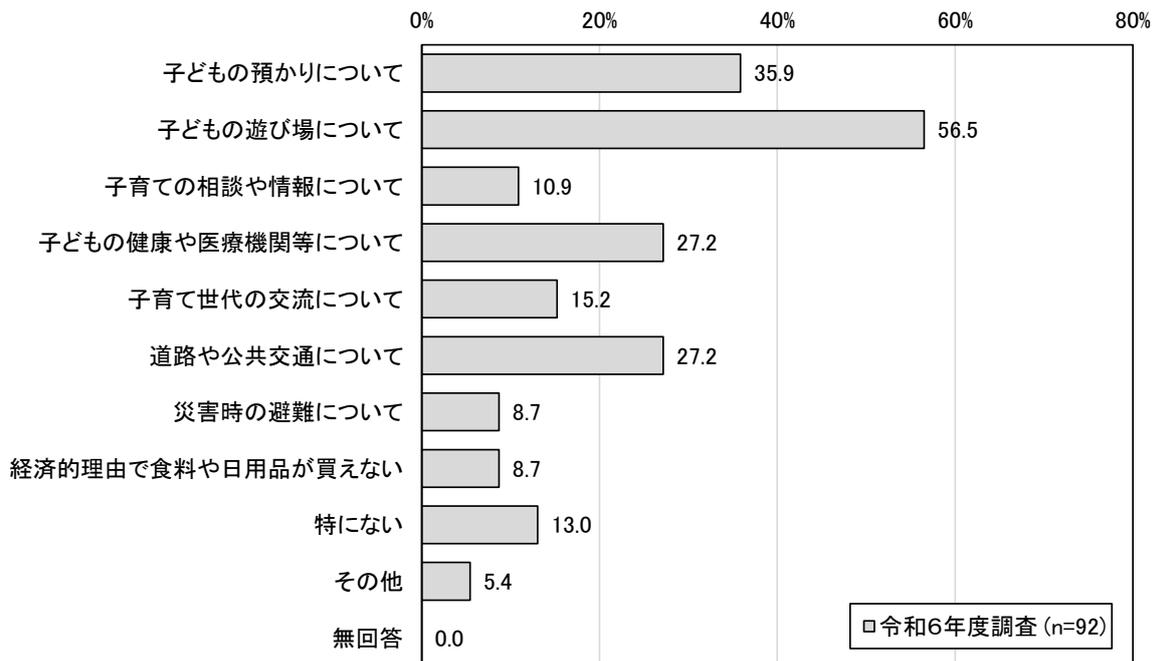
## Ⅸ 調査結果 子育て中の方の意識調査



## IX 調査結果 子育て中の方の意識調査

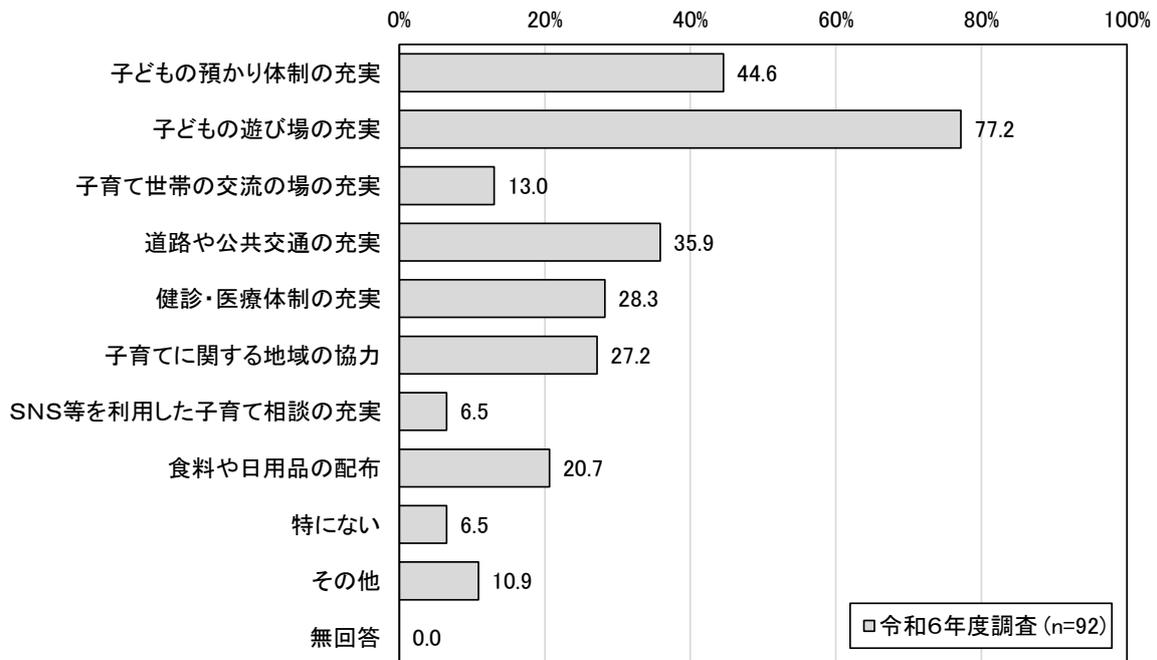
問1 毎日の生活の中で、困っていること、不便に感じることはありませんか。あてはまるものすべてを選んでください。

毎日の生活の中で、困っていること、不便に感じることについては、「子どもの遊び場について」が56.5%で最も高く、次いで「子どもの預かりについて」が35.9%、「子どもの健康や医療機関等について」「道路や公共交通について」がともに27.2%となっています。



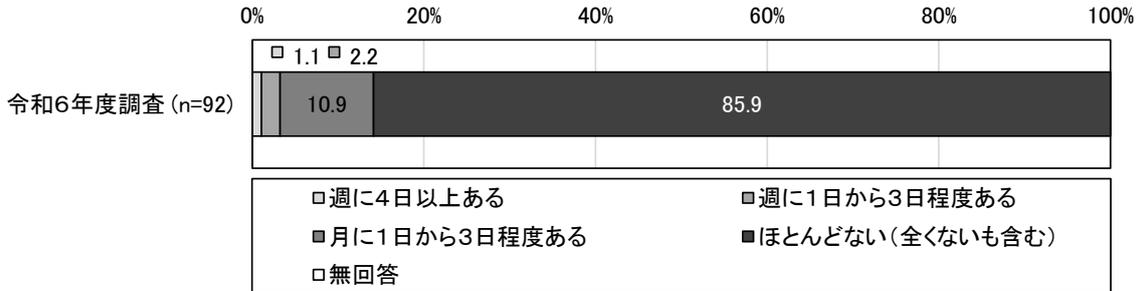
問2 那須町を暮らしやすく、住んでいて楽しい町にするためにはどうすれば良いと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

那須町を暮らしやすく、住んでいて楽しい町にするためにはどうすれば良いと思うかについては、「子どもの遊び場の充実」が77.2%で最も高く、次いで「子どもの預かり体制の充実」が44.6%、「道路や公共交通の充実」が35.9%となっています。



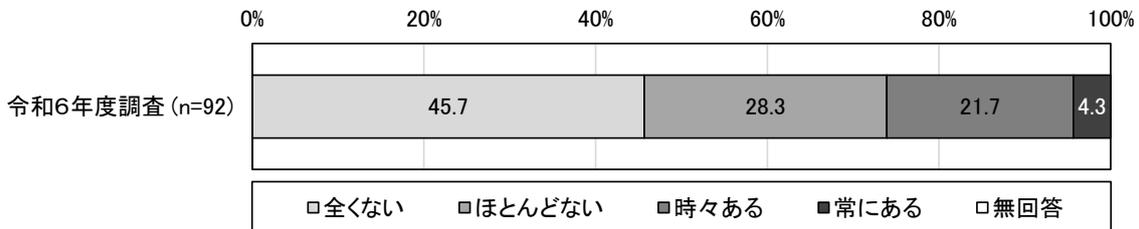
問3 あなたは、家族等の介護のため子育てに支障をきたすことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

家族等の介護のため子育てに支障をきたすことがあるかについては、「ほとんどない（全くないも含む）」が85.9%で最も高く、次いで「月に1日から3日程度ある」が10.9%、「週に1日から3日程度ある」が2.2%となっています。



問4 あなたは、孤立していると感じることがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

孤立していると感じることがあるかについては、「全くない」「ほとんどない」を合算した『感じることがない』は74.0%、「時々ある」「常にある」を合算した『感じることがある』は26.0%と『感じることがない』が48.0ポイント高くなっています。





## X 調査結果 民生委員・児童委員の意識調査

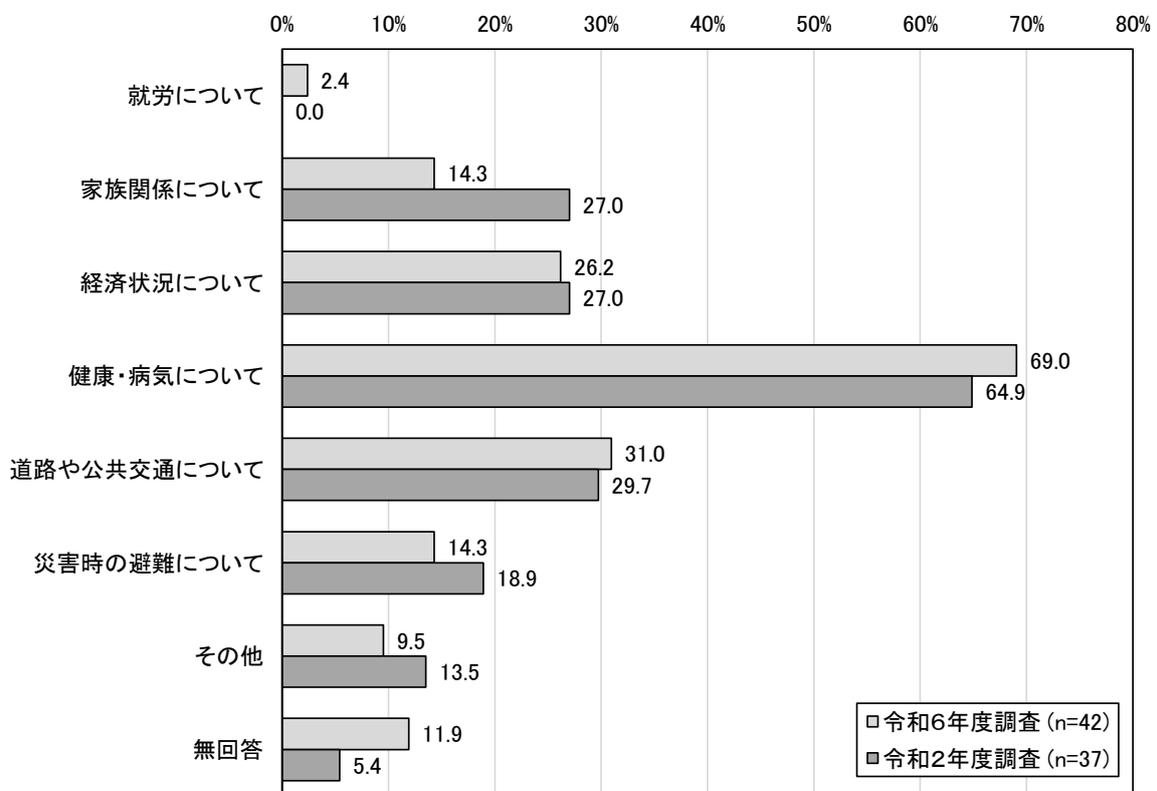


## X 調査結果 民生委員・児童委員の意識調査

問1 民生委員・児童委員活動の中で、どのような相談が多いですか。あてはまるものを選び番号を○で囲んでください（いくつ選んでも構いません）。また、その内容についてご記入ください。

民生委員・児童委員活動の中で、どのような相談が多いかについては、「健康・病気について」が69.0%で最も高く、次いで「道路や公共交通について」が31.0%、「経済状況について」が26.2%となっています。

経年比較では、前回調査と比較して「健康・病気について」が4.1ポイント増加、「道路や公共交通について」が1.3ポイント増加、「経済状況について」が0.8ポイント減少しています。

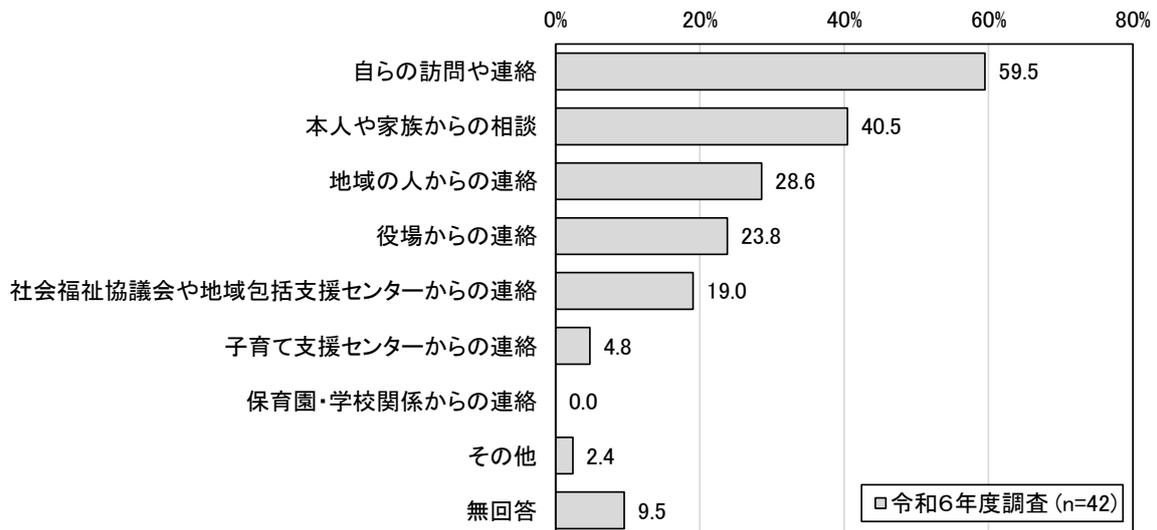


具体的な相談内容については、全体で34件の意見があり、「移動手段が無い」が9件で最も多く、次いで「病気・健康の不安」が7件、「高齢化に伴う生活や経済的不安」「助成金やサービス申請について」が4件となっています。

具体的な内容	件数
移動手段が無い	9
病気・健康の不安	7
高齢化に伴う生活や経済的不安	4
助成金やサービス申請について	4
独居による困難や不安	3
公共料金等の支払い手続き	2
災害対策について	1
相談は受けていない	4
合計	34

問2 相談を受ける主なきっかけは何ですか。あてはまるものを選び番号を○で囲んでください（いくつ選んでも構いません）。

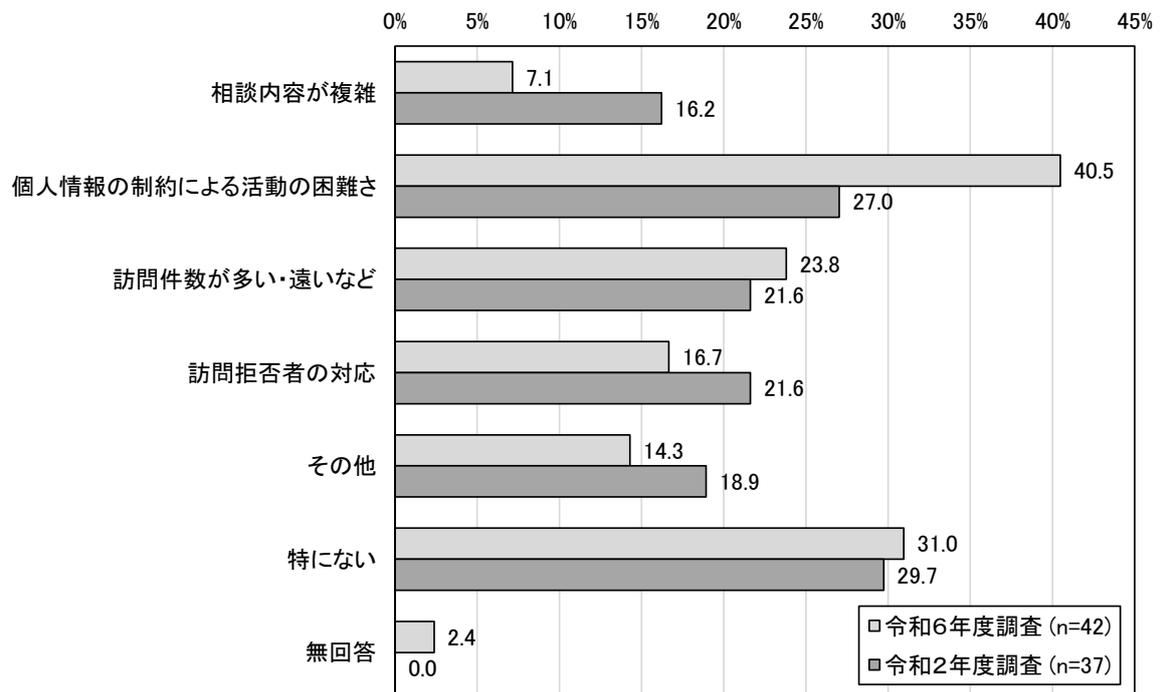
相談を受ける主なきっかけについては、「自らの訪問や連絡」が59.5%で最も高く、次いで「本人や家族からの相談」が40.5%、「地域の人からの連絡」が28.6%となっています。



問3 あなたが民生委員・児童委員活動の中で一番大変に思うことは何ですか。あてはまるものを選び番号を○で囲んでください(いくつ選んでも構いません)。また、その内容についてご記入ください。

民生委員・児童委員活動の中で一番大変に思うことについては、「個人情報の制約による活動の困難さ」が40.5%で最も高く、次いで「特にない」が31.0%、「訪問件数が多い・遠いなど」が23.8%となっています。

経年比較では、前回調査と比較して「個人情報の制約による活動の困難さ」が13.5ポイント増加、「特にない」が1.3ポイント増加、「訪問件数が多い・遠いなど」が2.2ポイント増加となっています。



具体的に大変だと思う内容については、全体で 19 件の意見があり、「担当地域が広い・家を見つけるのが大変」「プライバシー保護により得られる情報や介入が限られる」が 4 件で最も多く、次いで「相談内容への対応」が 3 件、「不在宅が多い」「クレームを受けたり、訪問を拒否される」が 2 件となっています。

具体的な内容	件数
担当地域が広い・家を見つけるのが大変	4
プライバシー保護により得られる情報や介入が限られる	4
相談内容への対応	3
不在宅が多い	2
クレームを受けたり、訪問を拒否される	2
書類配布・回収等にかかる時間が多い	1
交流が楽しい	1
相談されない	1
訪問の機会が少ない	1
合計	19

**問4 それらを解決するためには、どのような支援（手段）があれば良いと思いますか。**

民生委員・児童委員活動の中で大変だと思うことを解決するためには、どのような支援（手段）があれば良いと思うかについては、全体で 16 件の意見があり、「地域包括支援センター・自治会等の協力・連携」が 6 件で最も多く、次いで「訪問拒否者への理解を促す」が 3 件、「支援のネットワーク体制」「別荘管理事務所等の協力」「訪問時の事前連絡等」が 2 件となっています。

解決方法	件数
地域包括支援センター・自治会等の協力・連携	6
訪問拒否者への理解を促す	3
支援のネットワーク体制	2
別荘管理事務所等の協力	2
訪問時の事前連絡等	2
活動の協力者の存在	1
合計	16

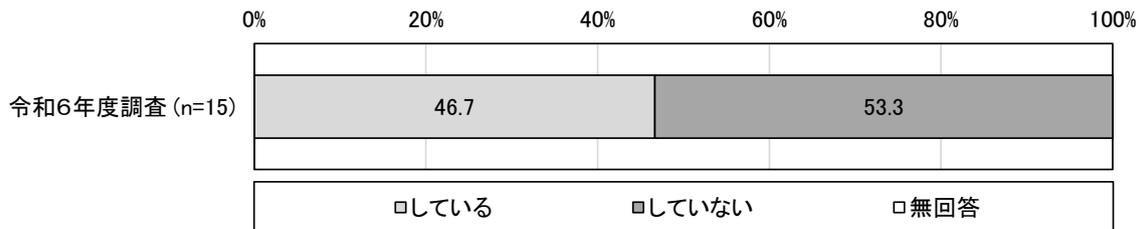
## XI 調査結果 シニアクラブの意識調査



## XI 調査結果 シニアクラブの意識調査

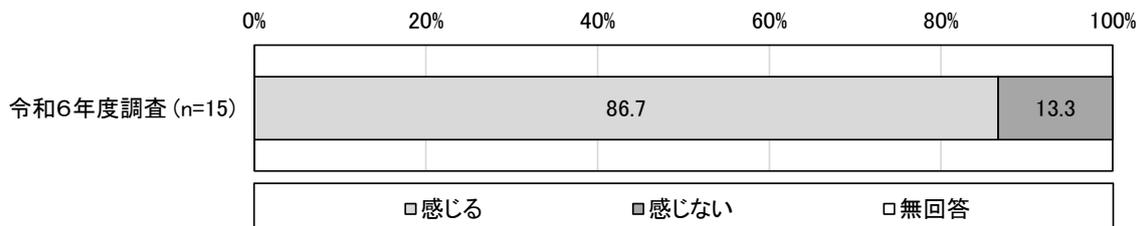
問1 現在、あなたのシニアクラブでは、助け合い活動をしていますか。あてはまるものを1つ選び番号を○で囲んでください。

現在、所属しているシニアクラブでは、助け合い活動をしているかについては、「している」が46.7%、「していない」が53.3%となっています。



問2 あなたのシニアクラブで助け合い活動は必要だと感じますか。あてはまるものを1つ選び番号を○で囲んでください。また、そう思う理由をご記入ください。

所属しているシニアクラブで助け合い活動は必要だと感じるかについては、「感じる」が86.7%、「感じない」が13.3%となっています。



必要だと感じる理由については、全体で 13 件の意見があり、「交流の場で相談などできると良い」が 5 件で最も多く、次いで「買い物等の生活支援が必要な高齢者がいる」が 3 件、「家事や庭仕事等の手伝いが必要な高齢者がいる」が 2 件となっています。

理由	件数
交流の場で相談などできると良い	5
買い物等の生活支援が必要な高齢者がいる	3
家事や庭仕事等の手伝いが必要な高齢者がいる	2
活動に参加する人が限られている	1
健康状態や生活状況把握が必要な高齢者がいる	1
現時点では必要ない	1
合計	13

必要だと感じない理由については、全体で 2 件の意見があり、「助け合いは必要ない」が 2 件となっています。

理由	件数
助け合いは必要ない	2
合計	2

**問3 地域みんなが安心して暮らし続けていくために、あなたのシニアクラブではどのような活動ができると思われますか。**

地域みんなが安心して暮らし続けていくために、所属しているシニアクラブではどのような活動内容ができると思うかについては、全体で 13 件の意見があり、「居場所づくりの運営」が 7 件で最も多く、次いで「必要性を感じるが活動はできない」が 2 件となっています。

活動内容	件数
居場所づくりの運営	7
必要性を感じるが活動はできない	2
イベント開催	1
スポーツ	1
送迎支援	1
清掃活動等を通じた交流	1
合計	13

## XII 資料編（使用した調査票）



## XII 資料編（使用した調査票）

### 1. 福祉に関する認知度調査

#### 福祉に関する認知度調査

～地域福祉計画・地域福祉活動計画策定にあたって～

回答方法は、①または②のいずれかでお願いいたします。

- ① この調査票に記入し同封の返信用封筒で回答  
② 右のQRコードから回答



調査票2

調査票2 QRコード

- 問1 那須町地域福祉計画・地域福祉活動計画を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。
1. よく知っている      2. 聞いたことはあるが詳しく知らない      3. 知らない
- 問2 小地域福祉活動計画を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。
1. よく知っている      2. 聞いたことはあるが詳しく知らない      3. 知らない
- 問3 那須町社会福祉協議会を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。
1. よく知っている      2. 聞いたことはあるが詳しく知らない      3. 知らない
- 問4 那須町ボランティアセンターを知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。
1. よく知っている      2. 聞いたことはあるが詳しく知らない      3. 知らない
- 問5 那須町の地域包括支援センターを知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。
1. よく知っている      2. 聞いたことはあるが詳しく知らない      3. 知らない
- 問6 那須町子育て支援センターを知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。
1. よく知っている      2. 聞いたことはあるが詳しく知らない      3. 知らない
- 問7 民生委員・児童委員を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。
1. よく知っている      2. 聞いたことはあるが詳しく知らない      3. 知らない
- 問8 フードドライブBOXを知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。
1. よく知っている      2. 聞いたことはあるが詳しく知らない      3. 知らない
- 問9 ミニフードバンク事業を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。
1. よく知っている      2. 聞いたことはあるが詳しく知らない      3. 知らない
- 問10 ケアラーという言葉を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。
1. よく知っている      2. 聞いたことはあるが詳しく知らない      3. 知らない
- 問11 成年後見制度を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。
1. よく知っている      2. 聞いたことはあるが詳しく知らない      3. 知らない
- 問12 市民後見人という言葉を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。
1. よく知っている      2. 聞いたことはあるが詳しく知らない      3. 知らない

ご協力ありがとうございました。

- ・この調査票で回答する方は、同封している返信用封筒に、この調査票を入れて10月11日までにポストにお入れください。
- ・QRコードで回答する方は、10月11日までに回答ください。

## 2. 福祉に関する住民意識調査

### 那須町の福祉に関する住民意識調査

～地域福祉計画・地域福祉活動計画策定にあたって～

回答方法は、①または②のいずれかをお願いいたします。

- ① この調査票に記入し同封の返信用封筒で回答
- ② 右のQRコードから回答



調査票1

調査票1 QRコード

お答えになる方についておたずねします。

問1 あなたの年齢について、あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

- 1. 20歳代      2. 30歳代      3. 40歳代      4. 50歳代
- 5. 60歳代      6. 70歳代

問2 あなたのお住まいの地区について、あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

- 1. 高原地区      2. 那須地区      3. 芦野地区      4. 伊王野地区      5. 不明

福祉に関することがらについておたずねします。

問3 あなたは「福祉」に関心がありますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

- 1. とても関心がある      2. 関心がある      3. あまり関心がない      4. まったく関心がない

問4 あなたは「福祉」と聞いて何を連想しますか。特にあてはまるものを3つまで○で囲んで下さい。(1つでもかまいません)

- 1. 高齢者      2. 児童      3. 障がい者      4. ボランティア
- 5. 民生委員・児童委員      6. 生活困窮(※1)      7. ひきこもり
- 8. 何も思い浮かばない
- 9. その他(具体的に )

問5 あなたは「福祉」に関してどのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで○で囲んで下さい。

- 1. 自分の努力や親戚縁者の協力により解決すること
- 2. 自己の努力や公の制度だけでなく、住民が協力して支えあうこと
- 3. すべて国や地方自治体(市町村)の責任で行うこと
- 4. その他(具体的に )

地域に関することがらについておたずねします。

問6 あなたは継続的に助け合いの活動ができる「地域」とはどこまでを指すと思われますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

- 1. となり近所      2. 班(行政の回覧が回る地区)      3. 自治会
- 4. 地区社協(※2)区域(17地区)      5. 小学校区(6区)      6. 中学校区(2区)      7. 町全体
- 8. その他(具体的に )

問7 あなたは「地域」との関わりについて、どのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで○で囲んで下さい。

- 1. 地域のさまざまな活動に、積極的に参加したい
- 2. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい
- 3. 地域の活動は、古くからのしきたりや習慣のみ参加したい
- 4. 地域の活動には参加したくない(理由を具体的に )

問8 あなたは、地域の人たちが協力して取り組んでいくことが必要な課題は何だと思いますか。  
 (例:高齢者への支援、災害や防災への支援等)

人々のつながりについておたずねします。

問9 あなたと家族や友人たちとのコミュニケーション（直接会って会話するほかに、電話やビデオ通話、電子メールでのやりとりを含みます）頻度について、あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。  
 1. 週4回以上      2. 週2～3回程度      3. 週1回程度      4. 2週間に1回程度  
 5. 月に1回程度      6. 月に1回未満      7. 年に数回程度      8. ほぼない

問10 あなたは、人との付き合いがないと感じることがありますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。  
 1. 全くない      2. ほとんどない      3. 時々ある      4. 常にある

問11 あなたは、他の人たちから孤立していると感じることがありますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。  
 1. 全くない      2. ほとんどない      3. 時々ある      4. 常にある

ボランティア活動についておたずねします。

問12 あなたはボランティア活動についてどう思いますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。  
 1. 活動している  
 2. 継続的に活動していたがやめてしまった（理由 \_\_\_\_\_）  
 3. 過去に行ったことがある  
 4. 活動していないが興味がある  
 5. 興味がない  
 6. その他（具体的に \_\_\_\_\_）

問13 あなたは那須町におけるボランティア活動の活性化を図るためには何が必要だと思いますか。あてはまるものをすべて○で囲んで下さい。  
 1. ボランティア講座の実施      2. ボランティア活動への理解  
 3. 企業や事業所のボランティア活動への参加      4. 広報・啓発活動の充実  
 5. 福祉教育の充実（学校での福祉教育を含む）      6. 活動拠点の確保  
 7. 活動資金の支援      8. コーディネーター（※3）の増員  
 9. 指導者の育成      10. SNS（※4）等を用いた情報提供      11. わからない  
 12. その他（具体的に \_\_\_\_\_）

福祉サービスについておたずねします。

問14 あなたが那須町における施策・サービスで、今後充実させたいものは何ですか。  
 (例:高齢者が集える居場所づくり、子育てサークル活動等)

問 15-1 あなたは生活の中で困ったことがありますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

1. ある（何に困っていますか： ）  
 2. ない 3. どちらともいえない

問 15-2 問 15-1 で「ある」と回答した方にお聞きします。あなたは生活の中で困ったことについて、どこに相談しますか。あてはまるものをすべて○で囲んで下さい。

1. 家族や親せき 2. 知人・友人 3. 近所の人 4. 職場の人  
 5. 警察 6. 民生委員・児童委員 7. 福祉職員(ケアマネジャーやヘルパー等)  
 8. 生活困窮者自立支援員(※5) 9. 学校(教育相談室) 10. 保育園・幼稚園  
 11. 町役場 12. 町社会福祉協議会 13. 保健センター(保健師等)  
 14. 子育て支援センター 15. 地域包括支援センター 16. ボランティアセンター  
 17. 心配ごと相談所 18. 福祉事務所 19. 消費生活センター  
 20. SNS(※4) 21. 相談するところがない 22. 相談するところがない  
 23. その他(具体的に )

問 16 あなたは介護で困っている人がいた場合、どのような支援等ができると思いますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

1. 様子を気にかけてながら見守る  
 2. 話を聞く  
 3. 必要な支援等のアドバイス(相談・支援機関の情報提供を含む)  
 4. 相談・支援機関等に連絡する  
 5. どのような支援ができるかわからない

問 17 あなたの家族に介護が必要になった方がいた場合、どうすると思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで○で囲んで下さい。

1. 家族だけで介護する 2. できるだけ家族で介護し、必要に応じてサービスを利用したい  
 3. できるだけサービスを利用し、家族の負担を少なくしたい  
 4. 施設への入所を考える 5. わからない

問 18 あなたは福祉サービス(※6)が必要となったとき、抵抗なく利用できますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで○で囲んで下さい。

1. 抵抗なく利用できる 2. 抵抗はあるが利用する  
 3. 抵抗があるのでできるだけ利用しない 4. わからない

問 19 あなたが今後、財産管理や契約等が難しくなる心配や不安はありますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

1. ある 2. ない 3. どちらともいえない

問 20 あなたの周りで財産管理や契約等が自分ひとりで判断することが難しくなった方がいた場合、どこに相談すると思いますか。あてはまるものを1つ選んで○で囲んで下さい。

1. 町役場 2. 町社会福祉協議会  
 3. 地域包括支援センター 4. 家庭裁判所  
 5. 弁護士や司法書士 6. 民生委員・児童委員  
 7. 家族 8. 相談先がわからない  
 9. その他(具体的に )

問 21 あなたは生活困窮(※1)に陥った時にどんなサービスがあったら良いと思いますか。あてはまるものを2つ選んで○で囲んで下さい。(1つでもかまいません)

1. 相談機関 2. 家計のアドバイス 3. 無利子の貸付  
 4. 食料の配布 5. 住む場所の確保 6. 就労支援  
 7. 子どもへの学習支援 8. 生活用品の配布 9. わからない  
 10. その他(具体的に )

災害時の対応についておたずねします。

問 22 あなたは災害時に避難する場所を知っていますか。あてはまるものを 1つ 選んで○で囲んで下さい。

1. 知っている      2. 知らない

問 23 あなたは災害時に備えて、どのような取組みをしていますか。あてはまるものを すべて ○で囲んで下さい。

1. 避難所の場所と避難場所への経路を確認している  
 2. 日頃から地域の防災訓練に参加している  
 3. 災害に備え、備蓄を行っている  
 4. 災害などの緊急時に、手助けが必要な近隣住民を把握している  
 5. 特に何もしていない  
 6. その他（具体的に

那須町の将来についておたずねします。

問 24 あなたは那須町が暮らしやすくなるためには、何が充実すればいいと思いますか。あてはまるものを すべて ○で囲んで下さい。

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. 地域交流の場の充実        | 2. 支えあい活動の充実      |
| 3. 移動手段の充実          | 4. 不登校・ひきこもり支援の充実 |
| 5. 成年後見制度の充実        | 6. ケアラー支援の充実      |
| 7. 介護保険・障がい者サービスの充実 | 8. 医療施設の充実        |
| 9. 子育て支援の充実         | 10. わからない         |
| 11. その他（具体的に        |                   |

問 25 あなたは将来も那須町に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを 1つ 選んで○で囲んで下さい。また、その理由をお聞かせ下さい。

1. 住み続けたい      2. 住み続けたくない      3. どちらともいえない

その理由を具体的にお聞かせください

\*ご協力ありがとうございました。この調査票で回答する方は、同封している返信用封筒に、

**この調査票を入れて 10月11日までにポストにお入れください。**

QRコードで回答する方は、**10月11日までに回答ください。**

### 3. 福祉サービス利用者の意識調査

#### ◇福祉サービス利用者（代筆でも結構です）

問1 毎日の生活の中で、困っていること、不便に感じることはありますか。あてはまるものをすべて選び番号を○で囲んでください。

- |                        |                |
|------------------------|----------------|
| 1. 介護に対する精神的・身体的不安について | 2. 移動手段について    |
| 3. 経済的負担について           | 4. 金銭等の管理について  |
| 5. 体力の衰えなどについて         | 6. 介護者の高齢化について |
| 7. 災害時の避難について          | 8. 特にない        |
| 9. その他( )              |                |

問2 それらを解決するためには、どのような支援やサービスがあれば良いと思いますか。

内容を具体的にご記入ください。

問3 今後、財産管理や契約等が難しくなる心配や不安はありますか。あてはまるものを1つ選び番号を○で囲んでください。

1. ある      2. ない      3. どちらともいえない

問4 那須町を暮らしやすく、住んでいて楽しい町にするためにはどうすれば良いと思いますか。あてはまるものをすべて選び番号を○で囲んでください。

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1. 地域交流の場の充実       | 2. 支え合い活動の充実       |
| 3. 移動手段の充実         | 4. 成年後見制度の普及       |
| 5. 医療施設の充実         | 6. 総合的に相談できる部署の設置  |
| 7. 介護保険や障害者サービスの充実 | 8. 買い物などの支援・利便性の向上 |
| 9. 特にない            |                    |
| 10. その他( )         |                    |

問5 あなたは、孤立していると感じることがありますか。あてはまるものを1つ選び番号を○で囲んでください。

1. 全くない    2. ほとんどない    3. 時々ある    4. 常にある

ご協力ありがとうございました  
提出期限：令和6年10月18日(金)

## 4. 障がい者の意識調査

### ◇障がいをお持ちの方（代筆でも結構です）

問1 毎日の生活の中で、困っていること、不便に感じることはありますか。あてはまるものをすべて選び番号を○で囲んでください。

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 将来に対する不安について | 2. 金銭等の管理について      |
| 3. 移動手段について     | 4. 障がいに対する偏見について   |
| 5. 災害時の避難について   | 6. 介護者の高齢化など介護について |
| 7. 就労について       | 8. 特にない            |
| 9. その他( )       |                    |

問2 それらを解決するためには、どのような支援やサービスがあれば良いと思いますか。

内容を具体的にご記入ください。

問3 那須町を暮らしやすく、住んでいて楽しい町にするためにはどうすれば良いと思いますか。あてはまるものをすべて選び番号を○で囲んでください。

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| 1. 障がいに対する町民の理解促進 | 2. 移動手段の支援 |
| 3. 地域交流・支え合いの充実   | 4. 就労の場の充実 |
| 5. 成年後見制度の普及      | 7. 特にない    |
| 6. 障がい福祉サービスの充実   |            |
| 8. その他( )         |            |

問4 あなたは、孤立していると感じることがありますか。あてはまるものを1つ選び番号を○で囲んでください。

1. 全くない   2. ほとんどない   3. 時々ある   4. 常にある

ご協力ありがとうございました  
提出期限：令和6年10月18日(金)



## 6. ボランティアの意識調査

### ◇ボランティアの皆さま

問1 あなたがボランティア活動をするにあたり、課題だと感じていることはありますか。あてはまるものを選び番号を○で囲んでください（いくつ選んでも構いません）。

- |                     |               |
|---------------------|---------------|
| 1. 打合わせ場所がない        | 2. 活動先が少ない    |
| 3. 町内ボランティア情報の不足    | 4. 助成金制度の情報不足 |
| 5. 自身のボランティア知識の不足   | 6. 団体メンバーの不足  |
| 7. ボランティア活動同士の交流の機会 | 8. 特にない       |
| 9. その他( )           |               |

問2 それらを解決するためには、どのような支援やサービスがあれば良いと思いますか。

内容を具体的にご記入ください。

問3 那須町ボランティアセンターに期待することは何ですか。あてはまるものを選び番号を○で囲んでください（いくつ選んでも構いません）。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 打合わせ場所の確保     | 2. 活動先の紹介        |
| 3. 町内ボランティア情報の周知 | 4. 研修会の開催        |
| 5. ボランティア活動者の交流会 | 6. ボランティア養成講座の開催 |
| 7. 特にない          |                  |
| 8. その他( )        |                  |

ご協力ありがとうございました  
提出期限：令和6年10月18日(金)

## 7. 子育て中の方の意識調査

### 子育て中の皆さま

問1 毎日の生活の中で、困っていること、不便に感じることはありませんか。あてはまるものをすべて選んでください。

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1. 子どもの預かりについて   | 2. 子どもの遊び場について       |
| 3. 子育ての相談や情報について | 4. 子どもの健康や医療機関等について  |
| 5. 子育て世代の交流について  | 6. 道路や公共交通について       |
| 7. 災害時の避難について    | 8. 経済的理由で食料や日用品が買えない |
| 9. 特にない          |                      |
| 10. その他( )       |                      |

問2 那須町を暮らしやすく、住んでいて楽しい町にするためにはどうすれば良いと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 子どもの預かり体制の充実      | 2. 子どもの遊び場の充実   |
| 3. 子育て世帯の交流の場の充実     | 4. 道路や公共交通の充実   |
| 5. 健診・医療体制の充実        | 6. 子育てに関する地域の協力 |
| 7. SNS等を利用した子育て相談の充実 | 8. 食料や日用品の配布    |
| 9. 特にない              |                 |
| 10. その他( )           |                 |

問3 あなたは、家族等の介護のため子育てに支障をきたすことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 週に4日以上ある     | 2. 週に1日から3日程度ある    |
| 3. 月に1日から3日程度ある | 4. ほとんどない（全くないも含む） |

問4 あなたは、孤立していると感じることがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. 全くない 2. ほとんどない 3. 時々ある 4. 常にある

回答期限：令和6年10月18日(金)



## 8. 民生委員・児童委員の意識調査

### ◇民生委員・児童委員の皆さま

問1 民生委員・児童委員活動の中で、どのような相談が多いですか。あてはまるものを選び番号を○で囲んでください（いくつ選んでも構いません）。また、その内容についてご記入ください。

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1. 就労について      | 2. 家族関係について   |
| 3. 経済状況について    | 4. 健康・病気について  |
| 5. 道路や公共交通について | 6. 災害時の避難について |
| 7. その他( )      |               |

内容を具体的に記入ください。

問2 相談を受ける主なきっかけは何ですか。あてはまるものを選び番号を○で囲んでください（いくつ選んでも構いません）。

- |                            |                  |
|----------------------------|------------------|
| 1. 自らの訪問や連絡                | 2. 本人や家族からの相談    |
| 3. 地域の人からの連絡               | 4. 役場からの連絡       |
| 5. 社会福祉協議会や地域包括支援センターからの連絡 |                  |
| 6. 子育て支援センターからの連絡          | 7. 保育園・学校関係からの連絡 |
| 8. その他( )                  |                  |

問3 あなたが民生委員・児童委員活動の中で一番大変に思うことは何ですか。あてはまるものを選び番号を○で囲んでください（いくつ選んでも構いません）。また、その内容についてご記入ください。

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1. 相談内容が複雑      | 2. 個人情報の制約による活動の困難さ |
| 3. 訪問件数が多い・遠いなど | 4. 訪問拒否者の対応         |
| 5. その他          | 6. 特にない             |

内容を具体的に記入ください。

問4 それらを解決するためには、どのような支援（手段）があれば良いと思いますか。

内容を具体的に記入ください。

ご協力ありがとうございました  
提出期限：令和6年10月18日(金)

## 9. シニアクラブの意識調査

### ◇シニアクラブの皆さま

問1 現在、あなたのシニアクラブでは、助け合い活動をしていますか。あてはまるものを1つ選び番号を○で囲んでください。

1. している                      2. していない

問2 あなたのシニアクラブで助け合い活動は必要だと感じますか。あてはまるものを1つ選び番号を○で囲んでください。また、そう思う理由をご記入ください。

1. 感じる                      2. 感じない

1.感じる又は2.感じないと思う理由をご記入ください。

問3 地域みんなが安心して暮らし続けていくために、あなたのシニアクラブではどのような活動ができるとお思いますか。

例) 見守り活動、ゴミ出し、居場所づくりの運営等

内容を具体的にご記入ください。

ご協力ありがとうございました  
提出期限：令和6年10月18日(金)



**令和6年度  
那須町の福祉に関するアンケート調査  
【結果報告書】**

**令和7年3月発行**

発行 那須町

編集 那須町 保健福祉課 福祉係

〒329-3292

栃木県那須郡那須町大字寺子丙 3-13